

市川市子ども・子育て支援事業計画 策定に係る市民ニーズ調査

中間報告

【アンケート調査 集計結果】

平成26年2月7日

■調査目的

平成27年度開始予定の新たな子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業を実施する。

この子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、調査票で住民の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するもの。

■配布対象・件数

《就学前児童のいる世帯》：4,500件を無作為抽出

(内訳) 0～2歳：2,250件

3～5歳：2,250件

《小学生のいる世帯》：2,500件を無作為抽出

■調査方法

郵送配布、郵送回収

■調査期間

平成25年11月11日（月）～12月13日（金）

■回収率

	発送数	回収数	回収率
就学前世帯 (有効回答数)	4,500	2,193 (2,176)	48.7%
小学生世帯 (有効回答数)	2,500	1,074 (1,064)	43.0%
合計	7,000	3,267	46.7%

目 次

【就学前】	ページ
1.居住地区	
問 1 居住地区	2
2.子どもと家族の状況	
問 2 子どもの生年月	2
問 3 子どものきょうだいの数	2
問 4 調査票の記入者	3
問 5 記入者の配偶関係	3
問 6 子育てを主に行っている者	3
3.子育て環境	
問 7 日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無	4
問 8 子育てをする上で相談する人・場所の有無	4
問 9 (問 8 について)相談できる先	5
4.地域の子育て支援事業の利用状況	
問 11 利用状況	5～6
問 12 認知度・利用状況・利用希望 総括	6
5.幼稚園や保育所、その他の利用状況	
問 13 利用の有無	7
問 14 利用状況(教育・保育事業別)	7
問 15 利用状況(週当たり、日あたり)、利用希望	8～9
問 16 実施場所	10
問 17 ファミリー・サポート・センターの利用の有無、利用状況	10～11
問 18 (問 13 について)利用していない理由	11～12
問 19 今後の教育・保育事業の利用希望	12～14
※分析：(問 14 について)現在の利用と希望の比較	14
問 20 ファミリー・サポート・センターの利用希望	14～15
問 21 利用したい場所	16
問 22 (問 21 について)居住地区と異なる理由	17
問 23 希望事業を利用できていない理由	17
問 24 教育・保育・子育て支援の利用の調整・案内の利用希望	18
6.土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	
問 25 利用希望	18～20
問 26 幼稚園の長期休暇期間中の利用希望	20～21

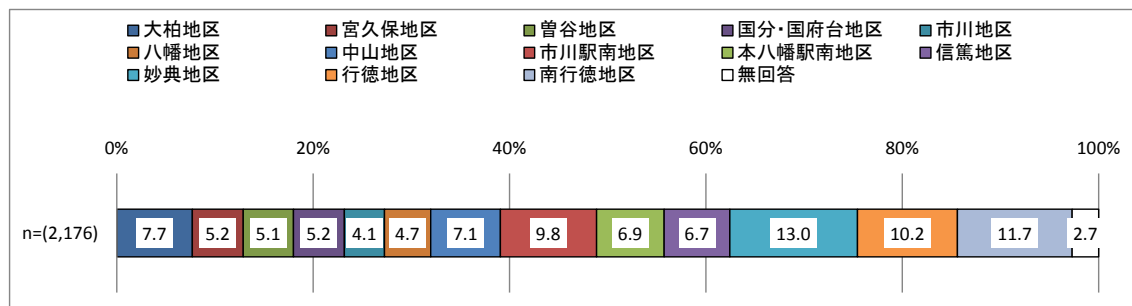
7.病気の際の対応	
問 27 通常利用が利用できなかった経験の有無	21
問 28 対処方法	22
問 29 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	22
問 30 (問 29 について)望ましい事業形態	23
問 31 (問 29 について)利用を希望しない理由	23
8.不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
問 32 希望日数	24
問 33 預ける目的	25
問 34 利用を希望しない理由	25
問 35 泊りがけでの保育の必要性の有無、対処方法	26
問 36 (問 35)について保育事業等を利用しなかった理由	27
9.小学校就学後の放課後の過ごし方	
問 37 放課後の過ごし方の希望	27～28
問 38 利用希望時刻	29～32
10.保護者の就労状況	
問 39 現在の就労状況	32～34
問 40 フルタイムへの転換希望	35
問 41 就労の希望	35～37
11.育児休業など職場の両立支援制度	
問 42 育児休業の取得	38～39
問 43 職場への復帰	40
問 44 復帰時の子どもの年齢	40～41
問 45 希望時期外に復帰した理由	41～42
問 46 1 歳になるまでの育児休業の取得希望	42
12.総合	
問 47 子育て支援施策に対する「満足度」	43

【小学生】	ページ
1.居住地区	
問 1 居住地区	45
2.子どもと家族の状況	
問 2 学年区分	45
問 3 子どものきょうだいの数	45
問 4 調査票の記入者	45
問 5 記入者の配偶関係	46
問 6 子育てを主に行っている者	46
3.子育て環境	
問 7 日頃子どもを見てもらえる親族・知人の有無	47
問 8 子育てをする上で相談する人・場所の有無	47
問 9 (問 8 について)相談できる先	48
4.病気の際の対応	
問 11 病気やケガによる欠席の有無	48
問 12 対処方法	49
問 13 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	49
問 14 (問 13 について)利用を希望しない理由	50
5.不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
問 15 一時預かりの利用状況	50～51
問 16 預ける目的と日数	51
問 17 (問 15 について)利用しない理由	52
問 18 泊りがけでの保育の必要性の有無、対処方法	53
問 19 今後の保育事業等の利用希望	54
6.放課後の過ごし方	
問 20 放課後の過ごし方、過ごさせ方の希望	55～57
問 21 小学校卒業時までの放課後保育クラブの利用希望	58
問 22 休・祝日、長期休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望	58～61
問 23 ファミリー・サポート・センターの現在の利用状況	62～63
問 24 家で一人でもしくはきょうだいだけで過ごすことへの不安	63
7.保護者の就労状況	
問 25 現在の就労状況	64～66
問 26 フルタイムへの転換希望	66
問 27 就労の希望	67～68

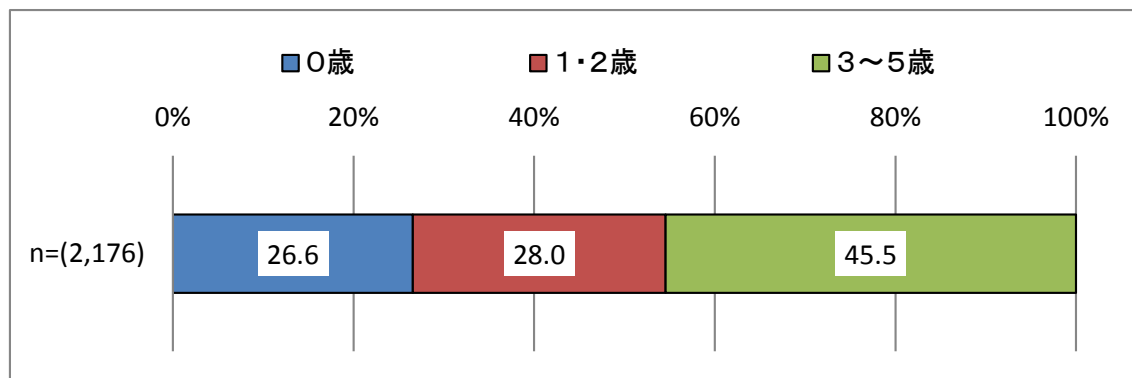
8.子ども本人へのアンケート	
問 28 放課後や休日の過ごし方	69
9.総合	
問 29 子育て支援施策に対する「満足度」	70

【就学前児童（0～5歳）】

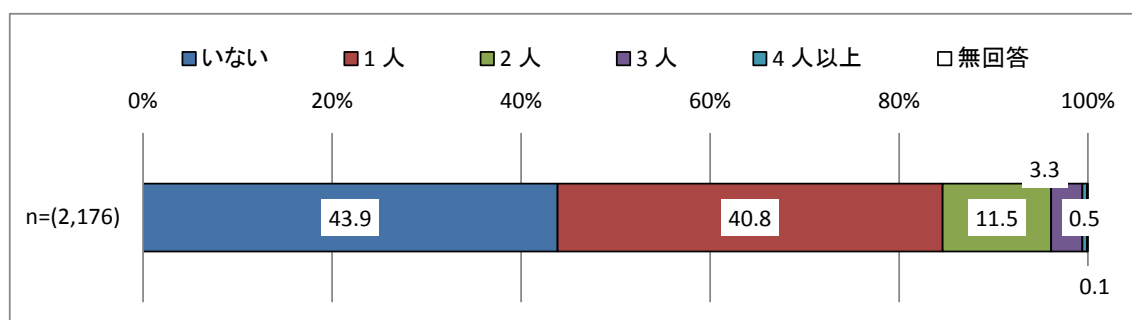
問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



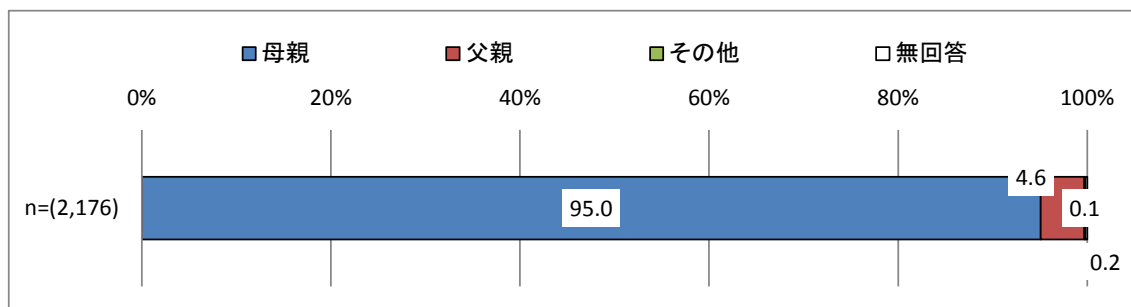
問2 お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。



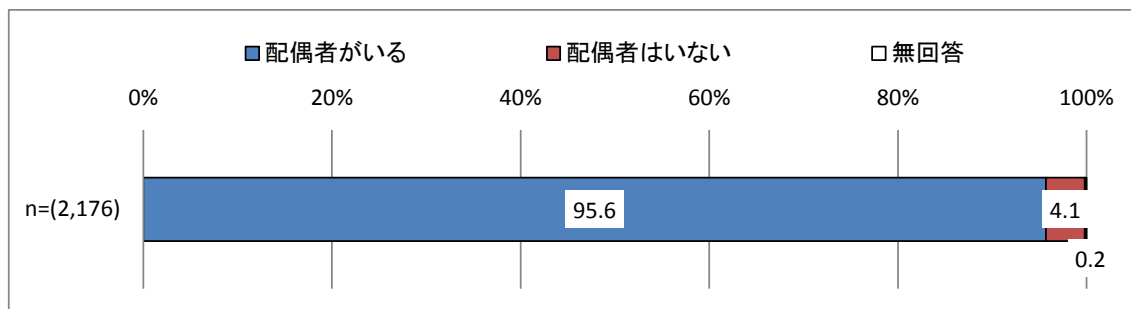
問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



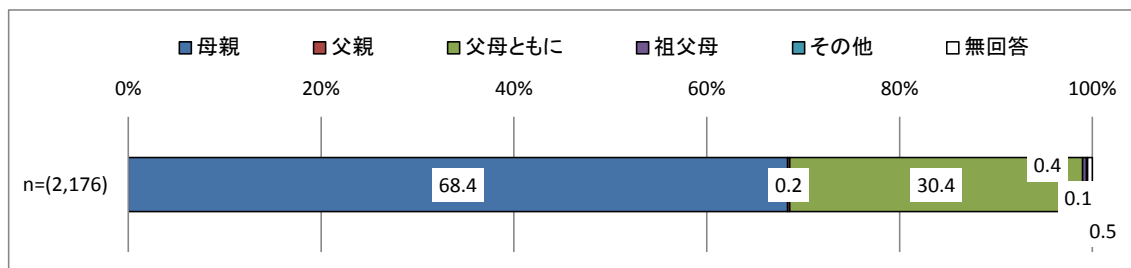
問 4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



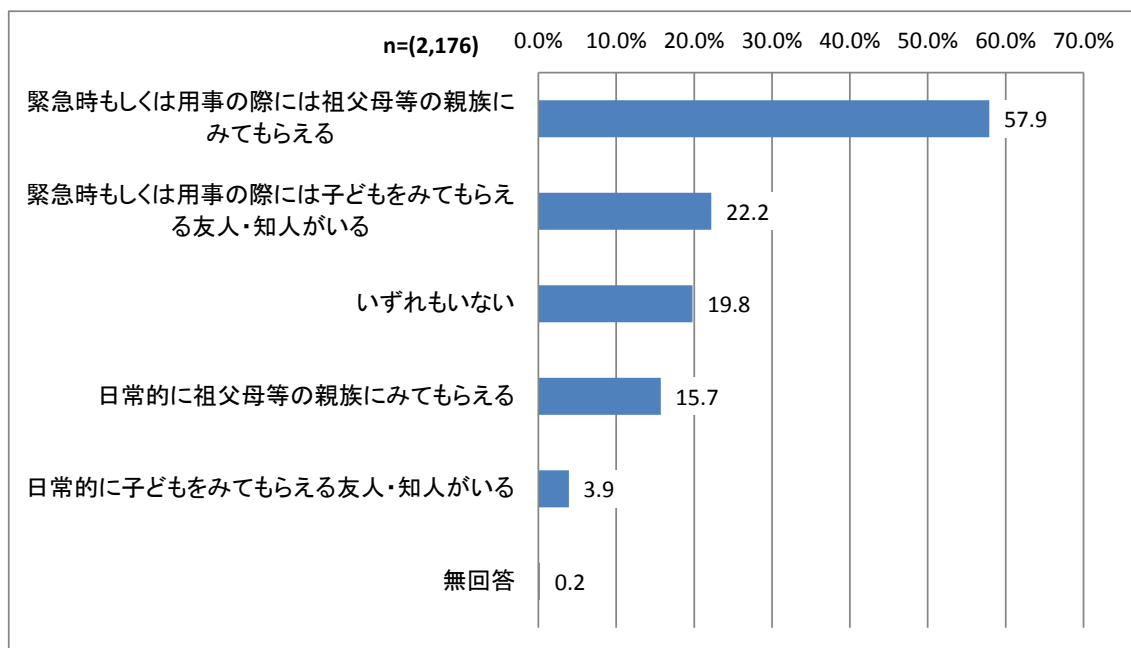
問 6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



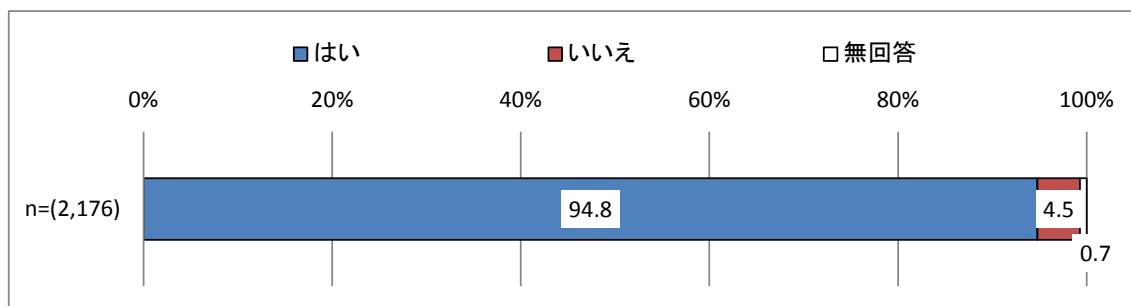
問 7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

【分析】

「祖父母等の親族にみてもらえる」が 57.9%と最も多く、次いで「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 22.2%となっている。



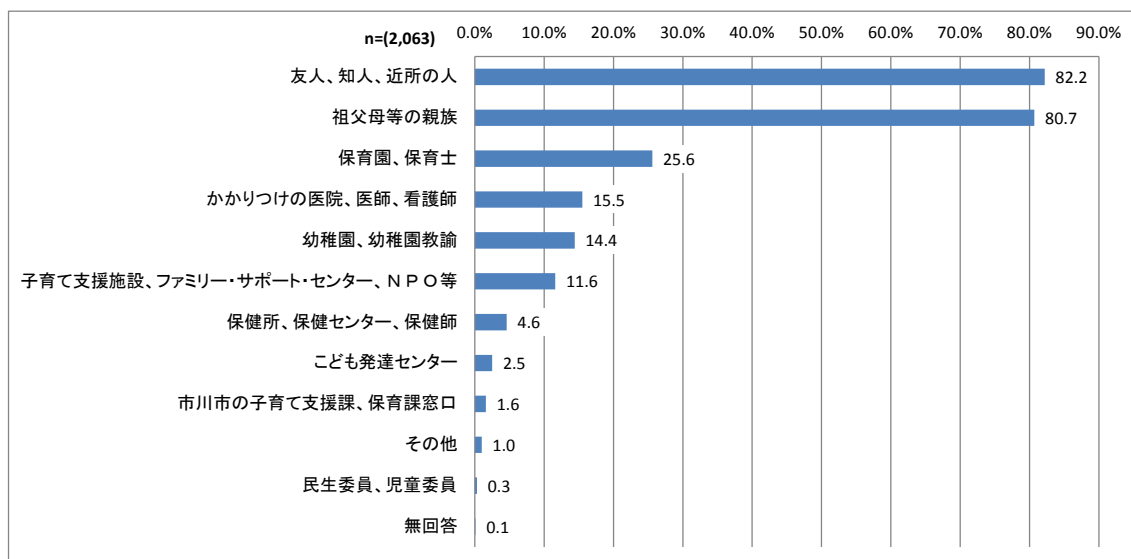
問 8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(いますか)。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 9 問 8 で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答）

【分析】

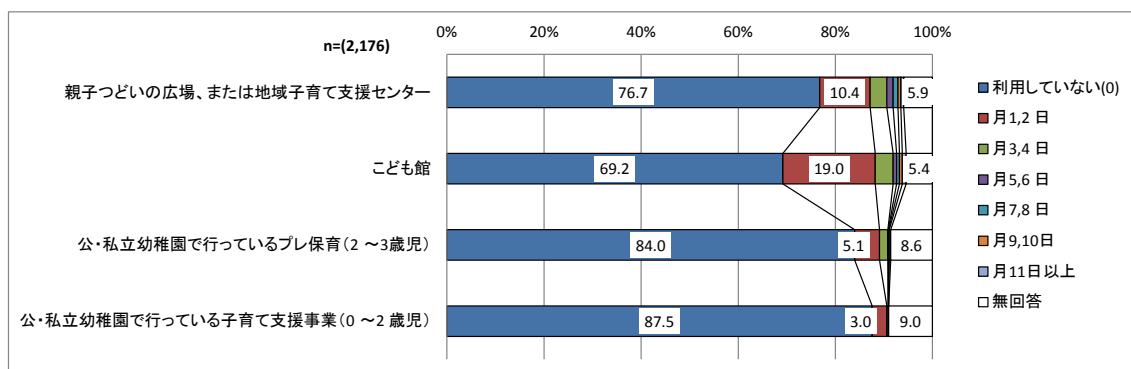
「友人、知人、近所の人」が82.2%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が80.7%となっており、他は全て30%未満であった。



問 11 子育て支援事業の利用状況 A 欄（現在の利用日数）

【分析】

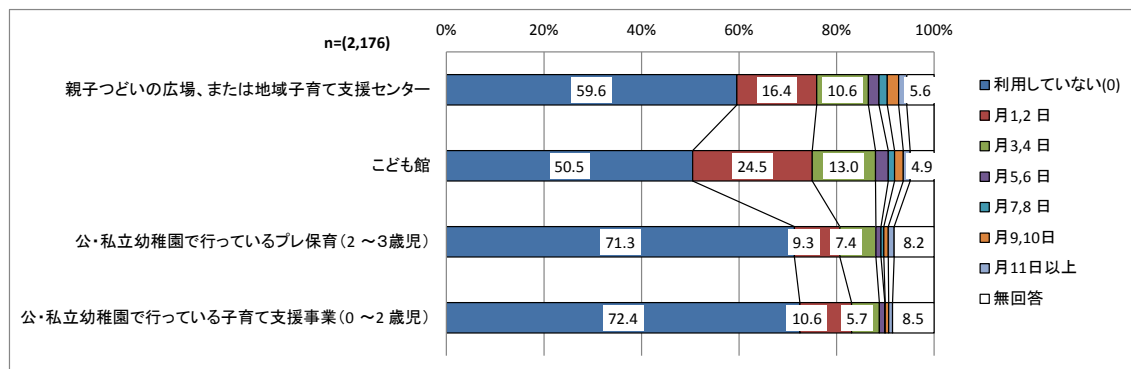
利用状況でみると「利用していない」の割合が最も多く、利用している中では、「こども館」の割合が最も多い。



問 11 子育て支援事業の利用状況 B欄（希望する利用日数）

【分析】

希望する利用日数は「利用していない」の次に「月 1,2 日」の割合が多く、希望する中では、「こども館」の割合が最も多い。



問 12 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 総括

【分析】

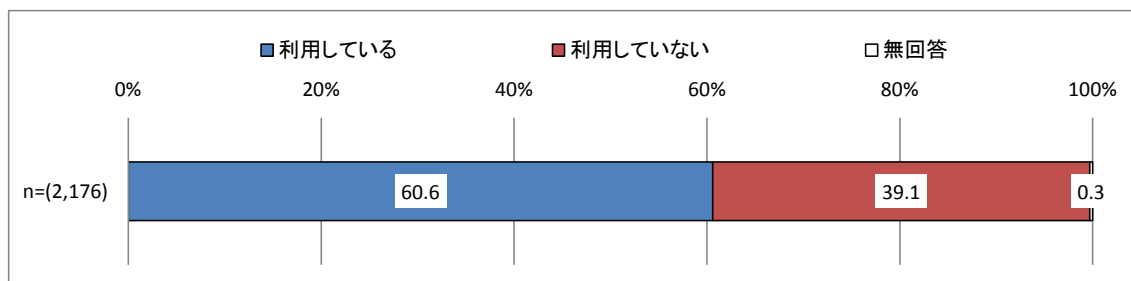
認知度では、「保健センターの育児相談・健康講座」が 87.3%で最も多く、次いで「母親学級・両親学級」が 85.8%となっている。利用状況では、「母親学級・両親学級」が 58.1%で最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」が 56.5%となっている。利用希望では、「いちかわ子育てガイドブック」が 67.7%で最も多く、次いで「いちかわっこWEB」が 57.0%となっている。

	知っている	これまで利用 したことがある	今後利用したい
①母親学級・両親学級	85.8%	58.1%	
②保健センターの育児相談・健康講座	87.3%	41.8%	49.1%
③家庭教育学級	19.5%	7.7%	34.2%
④教育センターによる教育相談	20.0%	2.0%	37.6%
⑤保育所の地域交流事業・園庭開放	74.7%	33.6%	52.8%
⑥幼稚園の育児相談・園庭開放	56.8%	23.2%	53.9%
⑦子育て家庭総合支援センター	42.9%	8.2%	47.7%
⑧児童家庭支援センター・こうのだい	8.1%	0.7%	17.6%
⑨こども発達センター	38.3%	5.1%	30.1%
⑩すこやか応援隊	42.1%	15.6%	45.1%
⑪行徳子育て総合案内	14.9%	4.1%	25.8%
⑫いちかわ子育てガイドブック	82.5%	56.5%	67.7%
⑬いちかわっこWEB	33.7%	18.7%	57.0%

問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用

【分析】

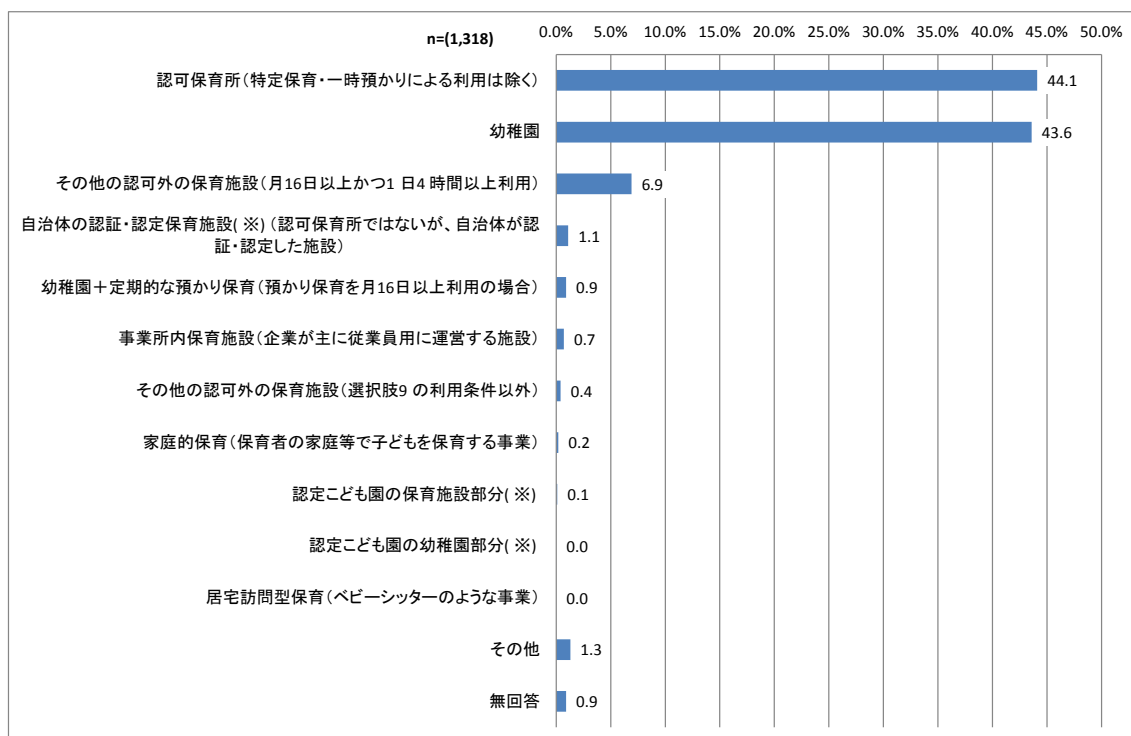
「利用している」が 60.6%、「利用していない」が 39.1%となっている。



問 14 問 14～問 17 は、問 13 で「1 . 利用している」に○をつけた方にうかがいます。お子さんは、平日主にどのような教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。(複数回答)

【分析】

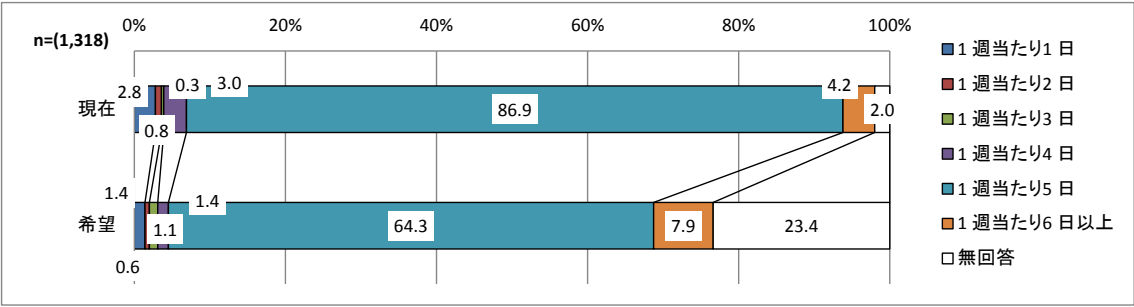
「認可保育所（特定保育・一時預かりによる利用は除く）」が 44.1%で最も多く、次いで「幼稚園」が 43.6%となおり、他は全て 10%未満であった。



問 15 教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(週)

【分析】

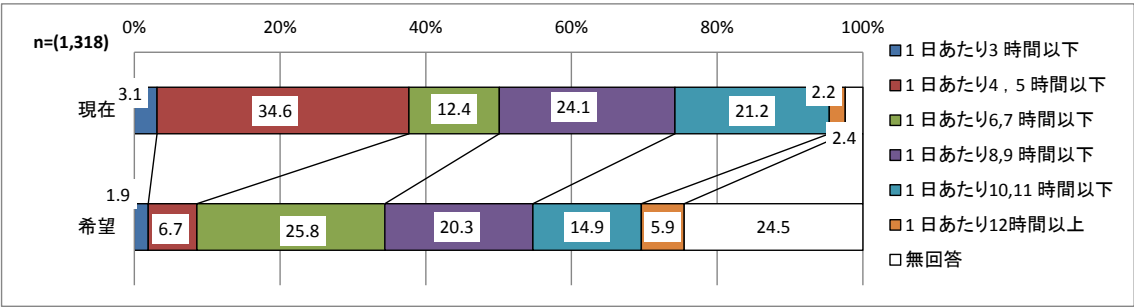
現在、希望ともに「1 週当たり 5 日」の割合が最も多い。「1 週当たり 6 日以上」が、現在では 4.2%、希望では 7.9%と 3.2 ポイント増加している。



問 15 教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(日)

【分析】

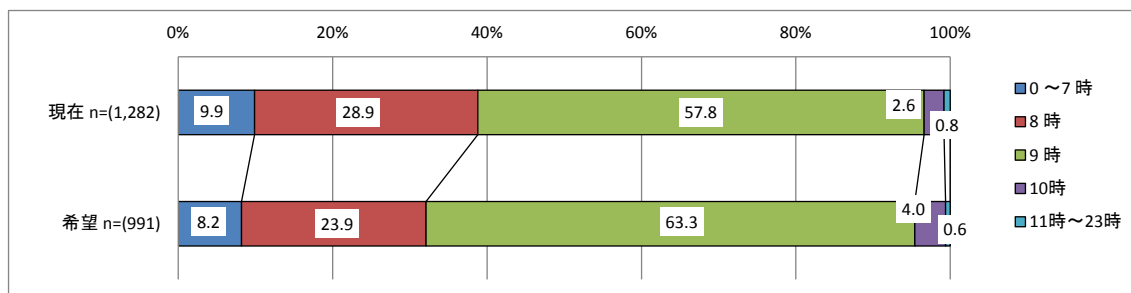
現在では、「1 日あたり 4, 5 時間以下」が 34.6%で最も多く、希望では、「1 日あたり 6, 7 時間以下」が 25.8%で最も多くなっている。



問 15 開始時刻

【分析】

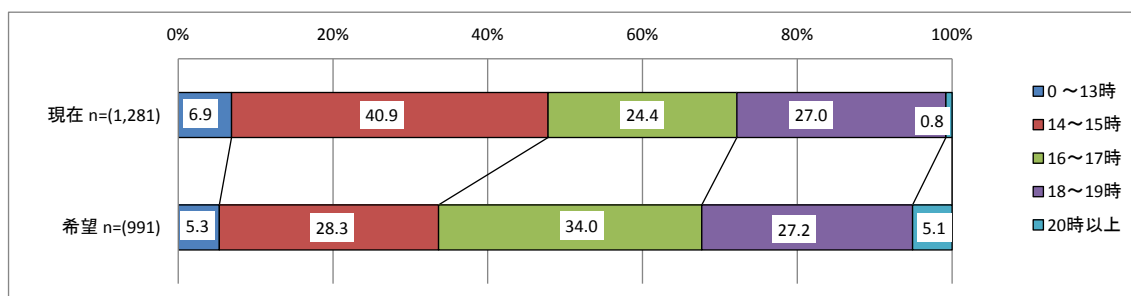
現在、希望ともに「9 時」の割合が最も多く、次いで「8 時」が多い。



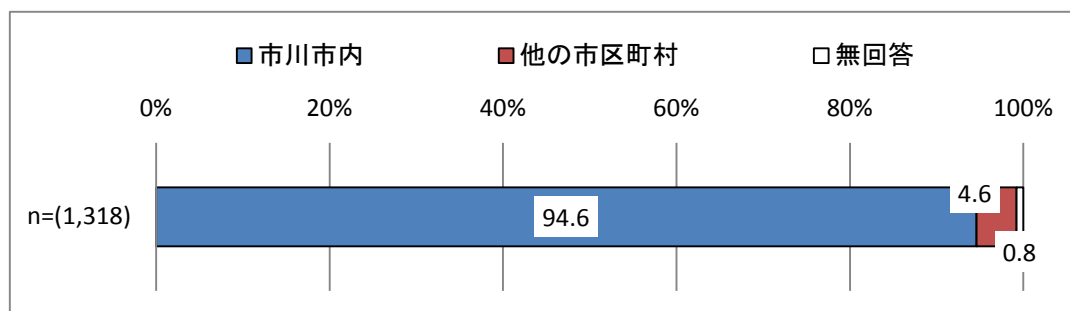
問 15 終了時刻

【分析】

現在では、「14～15 時」の割合が 40.9%で最も多く、希望では「16～17 時」の割合が 34.0%で最も多い。



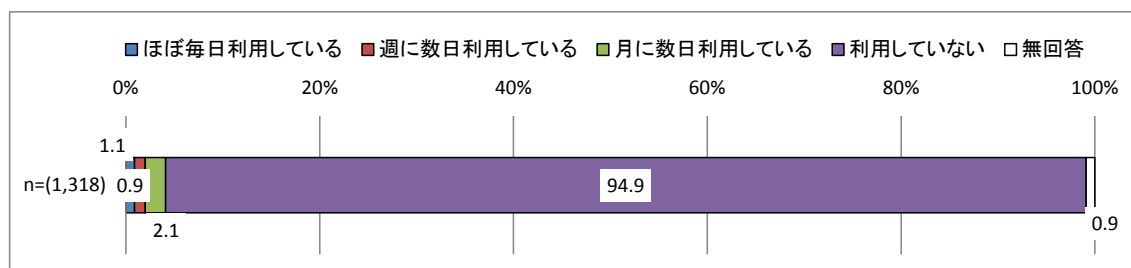
問 16 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。



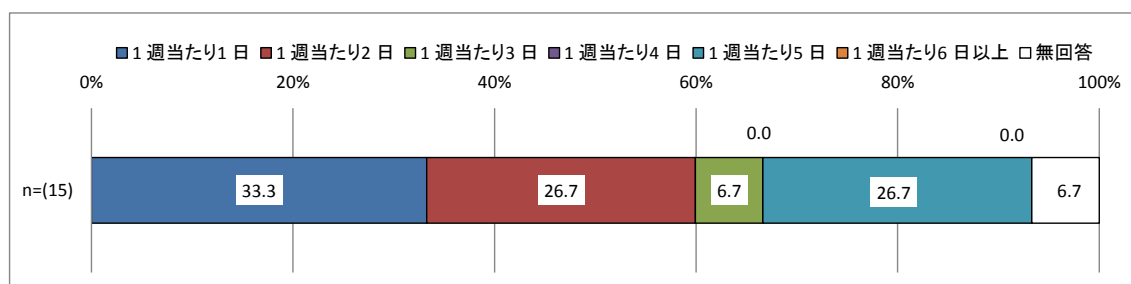
問 17 現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。（複数回答）

【分析】

利用をしている中では、「月に数日利用している」が2.1%で最も多い。



問 17 現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。1 週当たり日程度



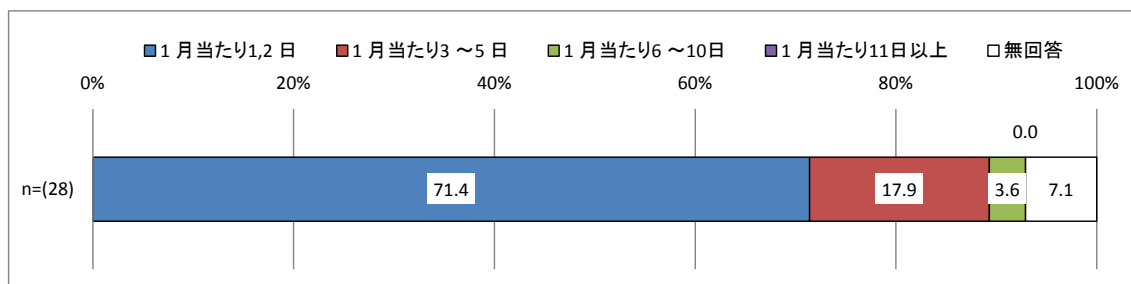
※母数が少ないので参考値

問 17 現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。

1 月当たり 日程度

【分析】

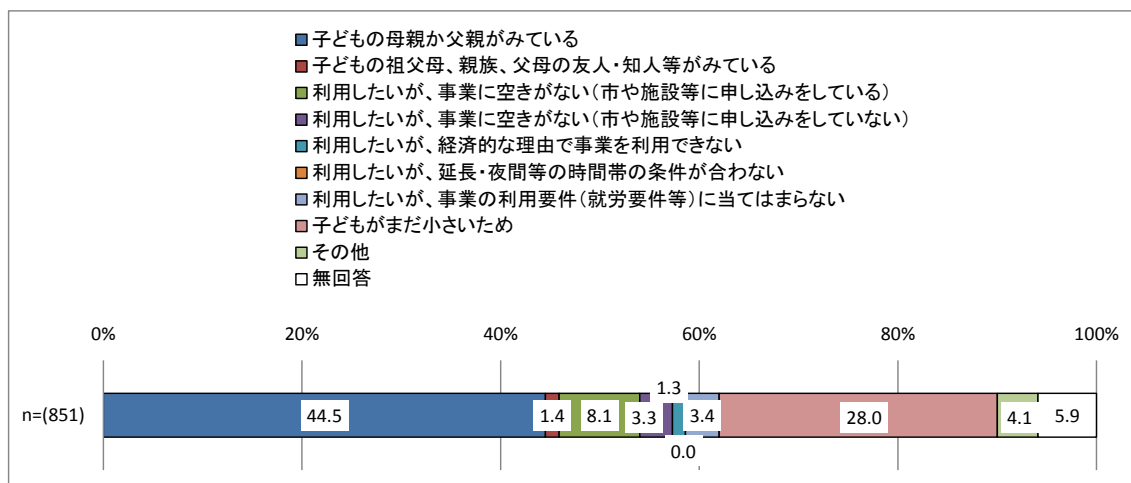
「1 月当たり 1, 2 日」が 71.4%で最も多く、次いで「1 月当たり 3 ～5 日」が 17.9%となっている。



問 18 問 13 で教育・保育事業を「2 . 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

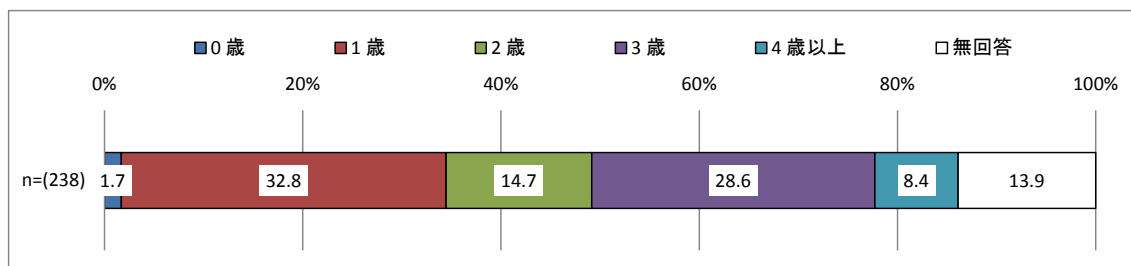
「子どもの母親か父親がみている」が 44.5%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 28.0%となっている。



問 18 8 . 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)

【分析】

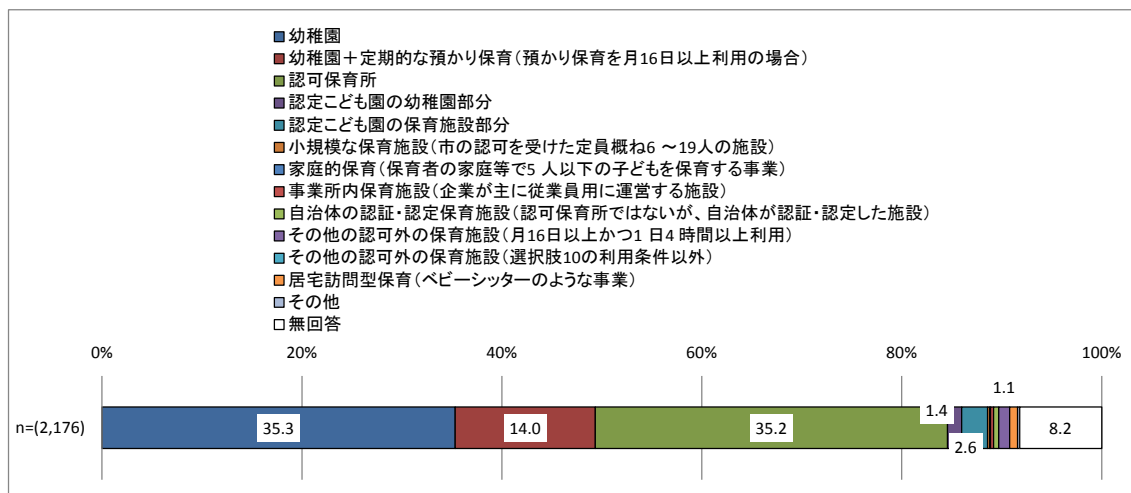
「1 歳」が 38.2%と最も多く、次いで「3 歳」が 28.6%となっている。



問 19 お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業 1 つに◎を回答してください。

【分析】

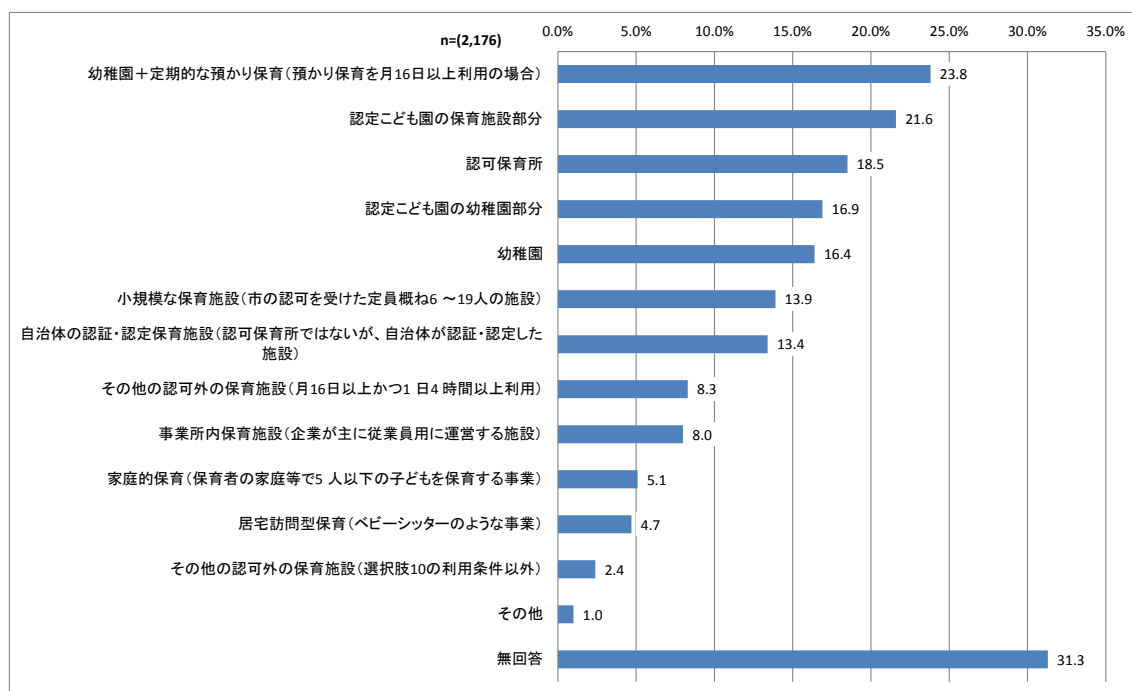
「幼稚園」が 35.3%と最も多く、次いで「認可保育所」が 35.2%となっており、合わせて半数を超えている。



問 19 お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したいに空きがない等の場合
 合利用したい事業（複数可）に○を回答してください。（複数回答）

【分析】

「無回答」を除くと、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の
 場合）」が 23.8%と最も多く、次いで「認定こども園の保育施設部分」が 21.6%、「認可保
 育所」が 18.5%と続いている

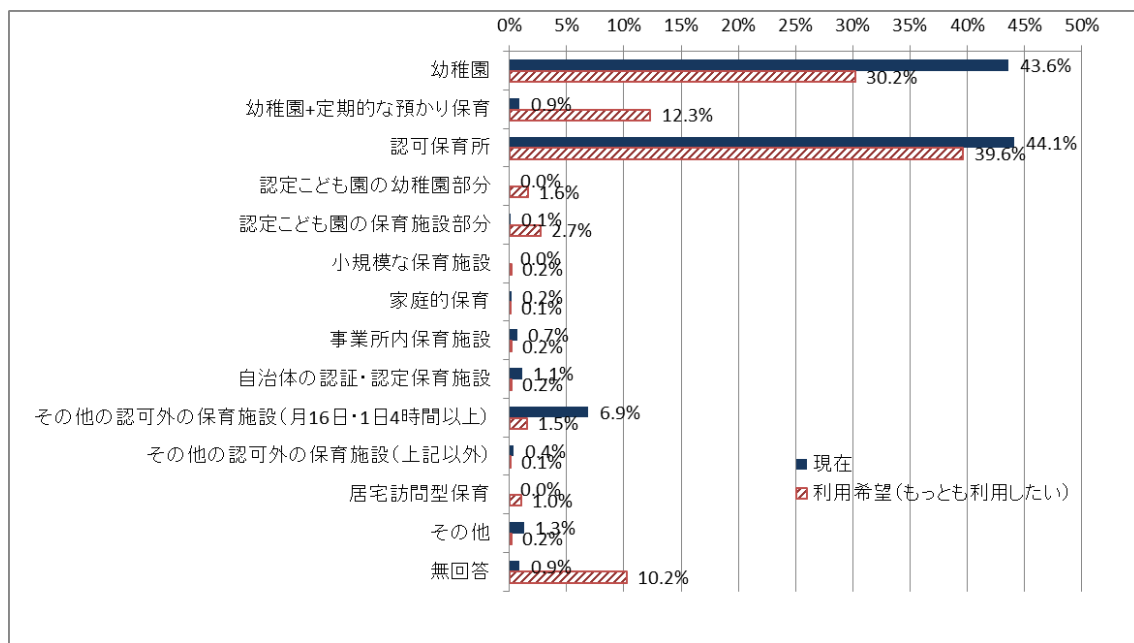


●教育保育事業を現在利用している人（問 14 回答者）の現在と利用希望の比較

【分析】

現在も利用希望も「認可保育所」が最も多い。また現在では 0.9%だった「幼稚園+定期的な預かり保育」が利用希望では 12.3%と大幅に増加している。

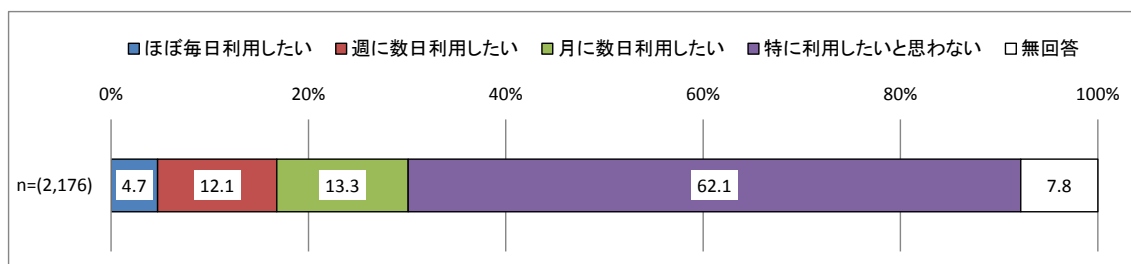
	現在	利用希望(もっとも利用したい)
幼稚園	43.6%	30.2%
幼稚園+定期的な預かり保育	0.9%	12.3%
認可保育所	44.1%	39.6%
認定こども園の幼稚園部分	0.0%	1.6%
認定こども園の保育施設部分	0.1%	2.7%
小規模な保育施設	0.0%	0.2%
家庭的保育	0.2%	0.1%
事業所内保育施設	0.7%	0.2%
自治体の認証・認定保育施設	1.1%	0.2%
その他の認可外の保育施設(月16日・1日4時間以上)	6.9%	1.5%
その他の認可外の保育施設(上記以外)	0.4%	0.1%
居宅訪問型保育	0.0%	1.0%
その他	1.3%	0.2%
無回答	0.9%	10.2%



問 20 問 19 で○をつけた教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用したいと思いますか。

【分析】

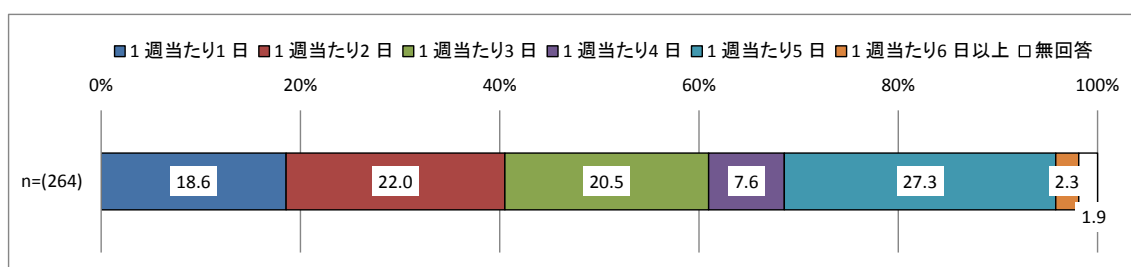
「特に利用したいと思わない」が 62.1%と最も多く、次いで「月に数日利用したい」が 13.3%となっている。



問 20 2 . 週に数日利用したい → 1 週当たり 日程度

【分析】

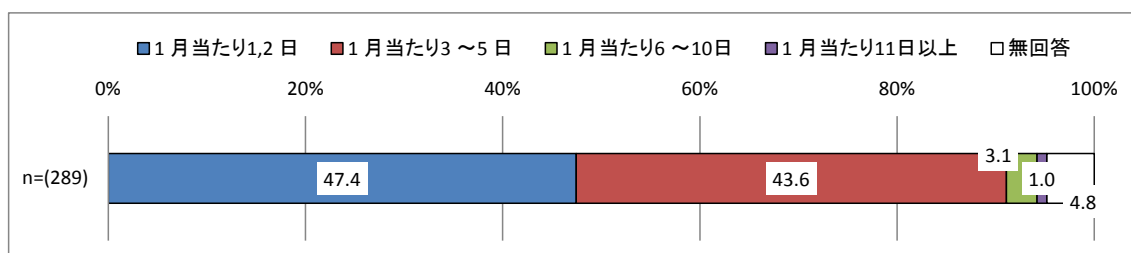
「1 週当たり 5 日」が 27.3%で最も多く、次いで「1 週当たり 2 日」が 22.0%となっている。また週に利用したい日数は「1 週当たり 1～3 日」で 60%を超えている。



問 20 3 . 月に数日利用したい → 1 月当たり 日程度

【分析】

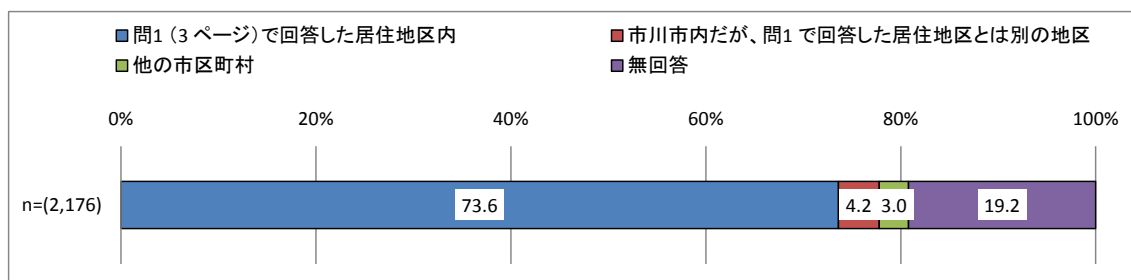
月に利用したい日数は「1 月当たり 1,2 日」と「1 月当たり 3 ～5 日」を合わせて 90%を超えている。



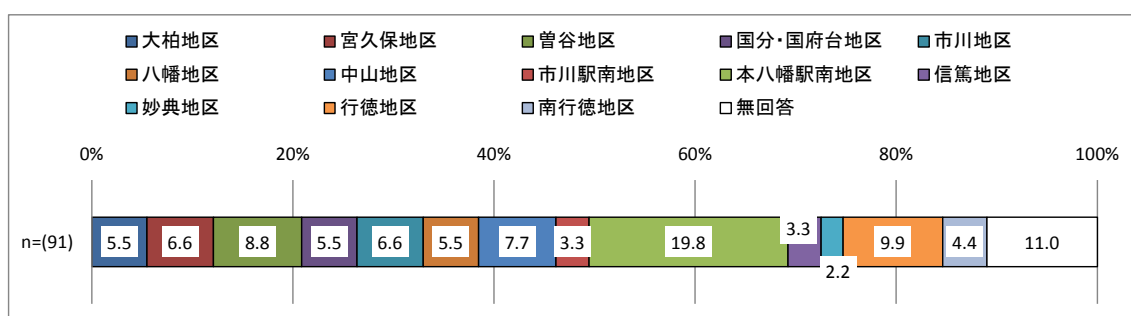
問 21 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「2 .」に○をつける場合には、□内に数字でご記入ください。

【分析】

「問 1（3 ページ）で回答した居住地区内」と回答した人は 73.6%であり、「市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区」と「他の市区町村」の割合は、合わせても 10%未満であった。



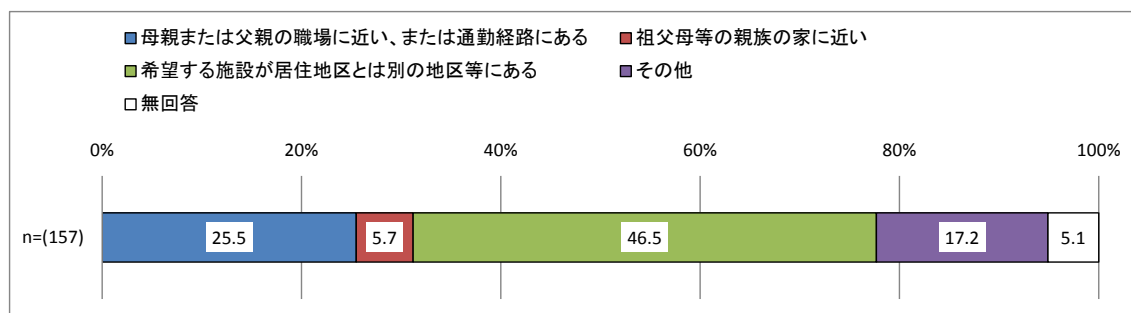
問 21 2 . 市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区→希望する地区の番号を問 1 をご参照の上ご記入ください。



問 22 問 21 で「2 .」または「3 .」に○をつけた方にうかがいます。居住地区とは別の地区または他の市区町村を希望する理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

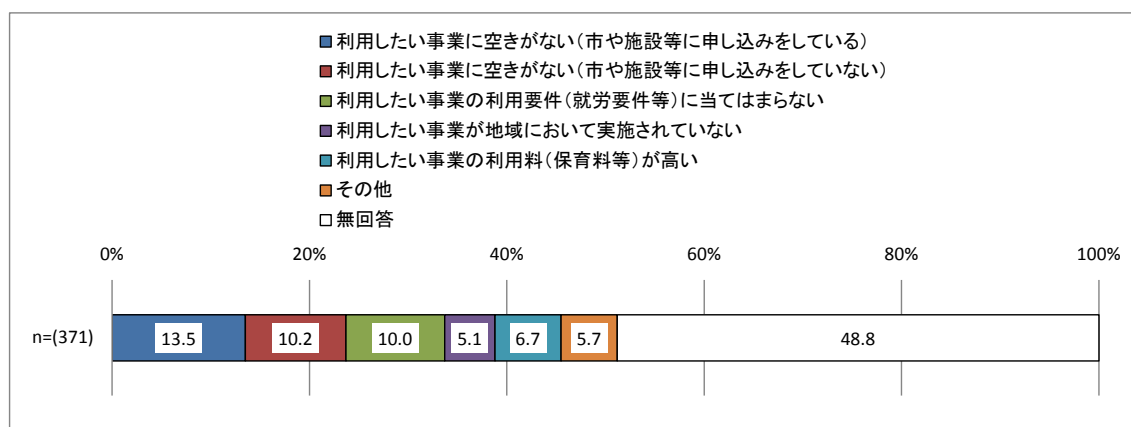
「希望する施設が居住地区とは別の地区等にある」が 46.5%で半数に近い。



問 23 希望とは異なる教育・保育事業を現在利用している方にうかがいます。希望する事業を利用できていない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

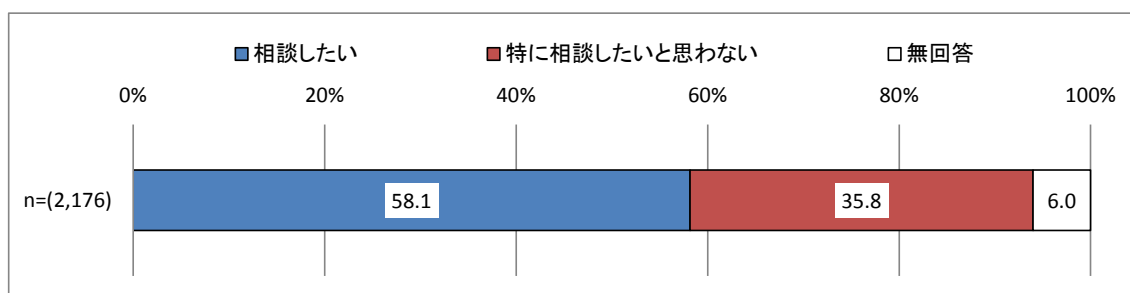
「無回答」を除くと、「利用したい事業に空きがない(市や施設等に申し込みをしている)」が 13.5%で最も多く、次いで「利用したい事業に空きがない(市や施設等に申し込みをしていない)」が 10.2%となっている。



問 24 教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。

【分析】

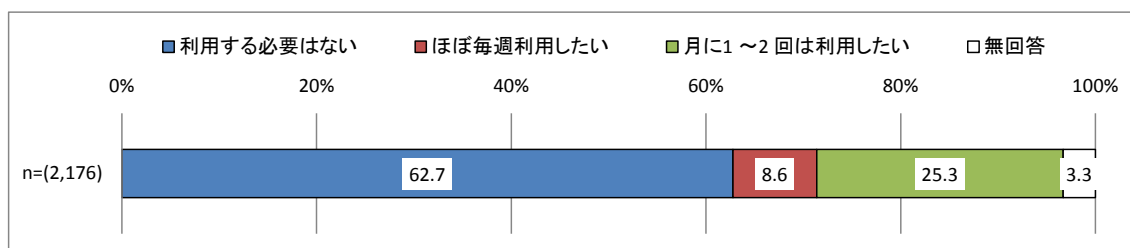
「相談したい」という回答が 58.1%と半数を超えている。



問 25 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。 （１）土曜日

【分析】

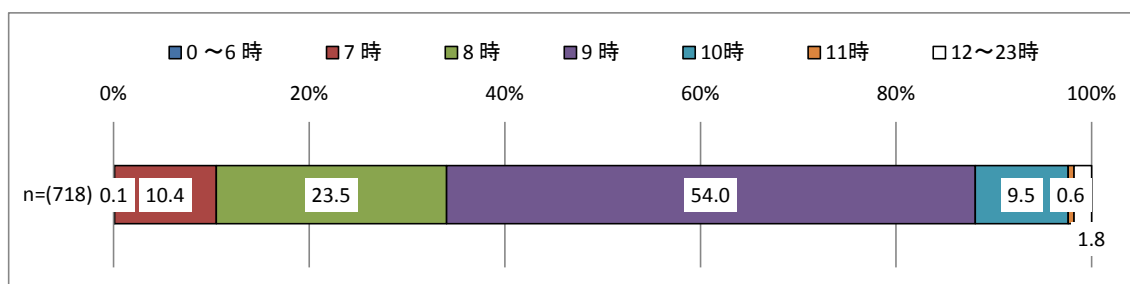
「利用する必要はない」が 62.7%、次いで「月に 1 ～2 回は利用したい」が 25.3%となっている。



問 25 （１）土曜日 開始時刻

【分析】

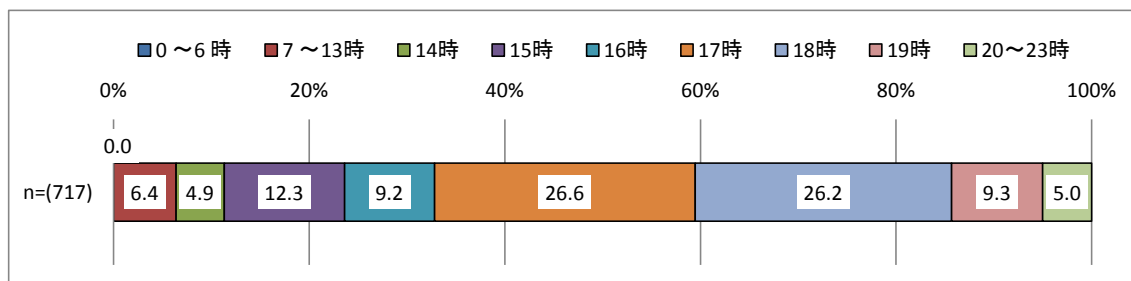
「9 時」が 54.0%と半数を超えて最も多く、次いで「8 時」が 23.5%となっている。



問 25（１）土曜日 終了時刻

【分析】

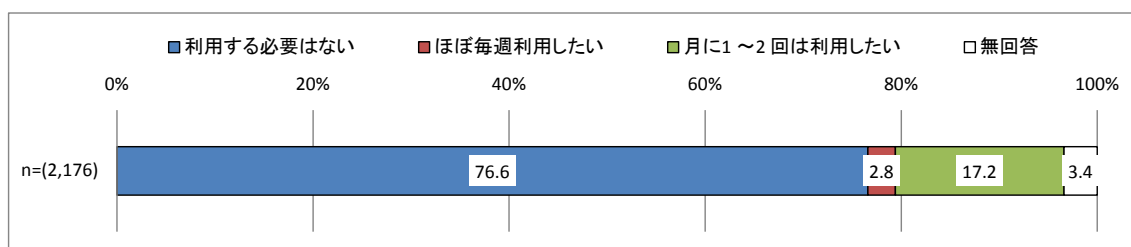
「17 時」が 26.6%と最も多く、次いで「18 時」が 26.2%となっている。



問 25 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。 （２）日曜・祝日

【分析】

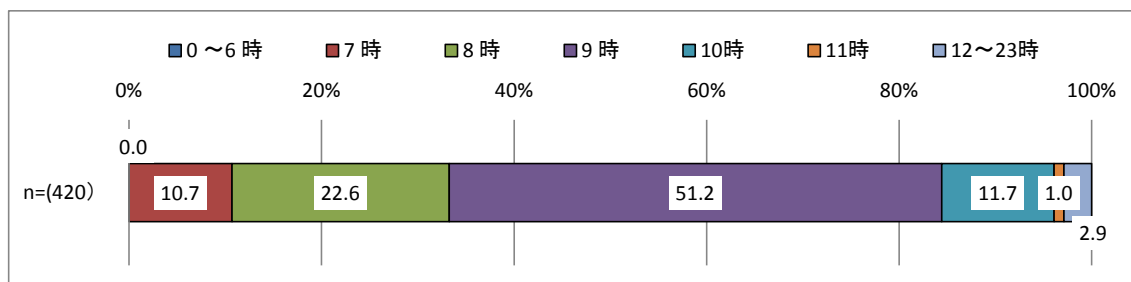
「利用する必要はない」が 76.6%、次いで「月に 1 ～2 回は利用したい」が 17.2%となっている。



問 25（２）日曜・祝日 開始時刻

【分析】

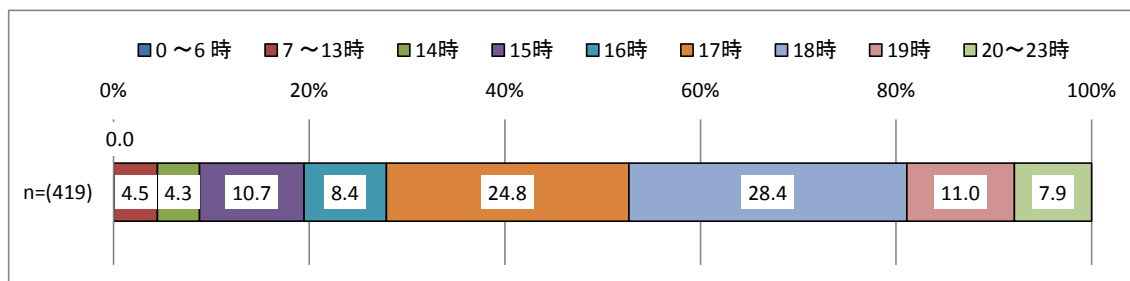
「9 時」が 51.2%と半数を超えて最も多く、次いで「8 時」が 22.6%となっている。



問 25（２）日曜・祝日 終了時刻

【分析】

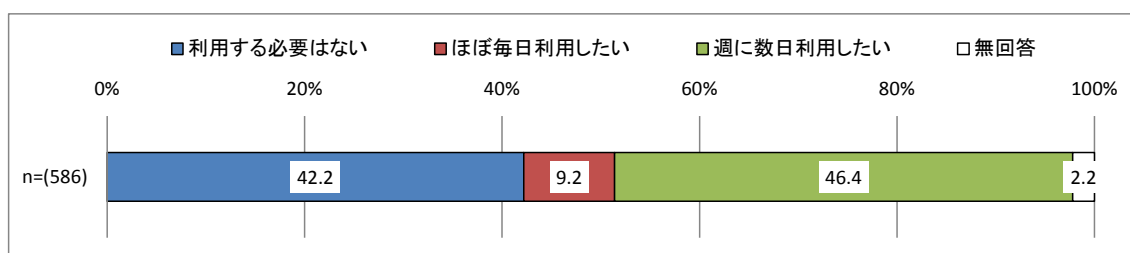
「18 時」が 28.4%と最も多く、次いで「17 時」が 24.8%となっている。



問 26 お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。

【分析】

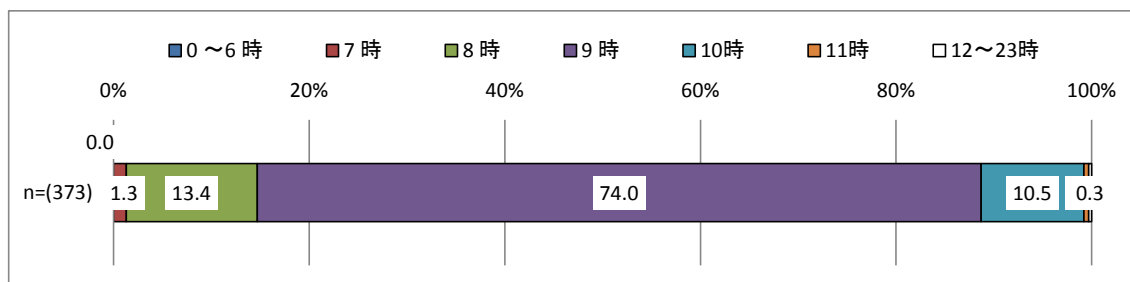
「週に数日利用したい」が 46.4%、「ほぼ毎日利用したい」が 9.2%で利用希望が半数を超えている。



問 26 長期の休暇期間中 開始時刻

【分析】

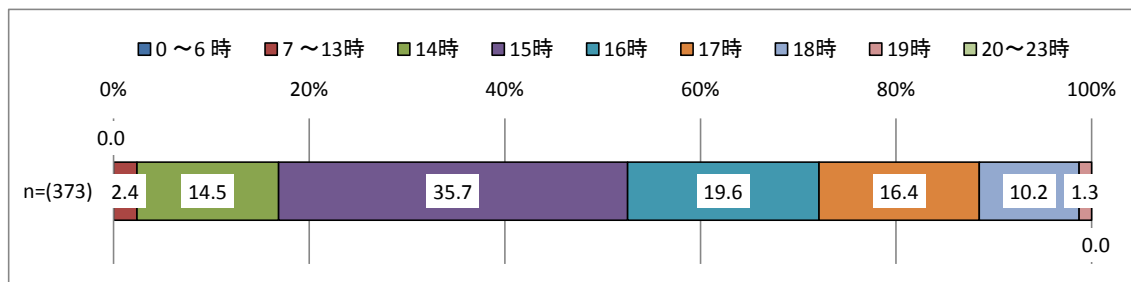
「9 時」が 74.0%と最も多い。



問 26 長期の休暇期間中 終了時刻

【分析】

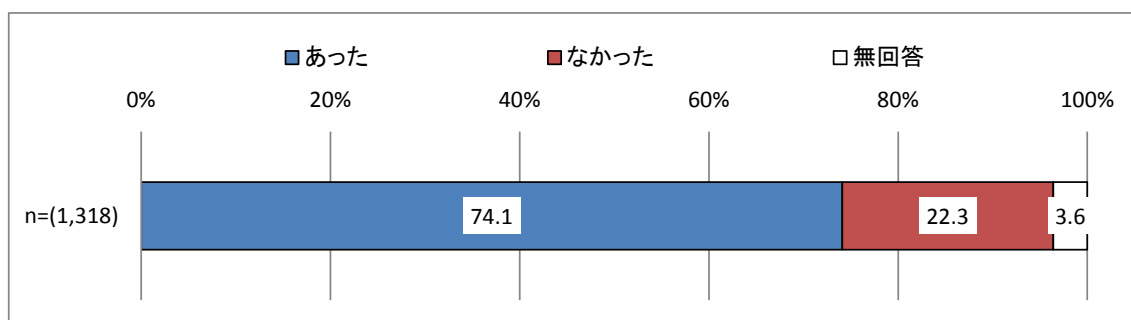
「15 時」が 35.7%と最も多く、次いで「16 時」が 19.6%となっている。



問 27 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

【分析】

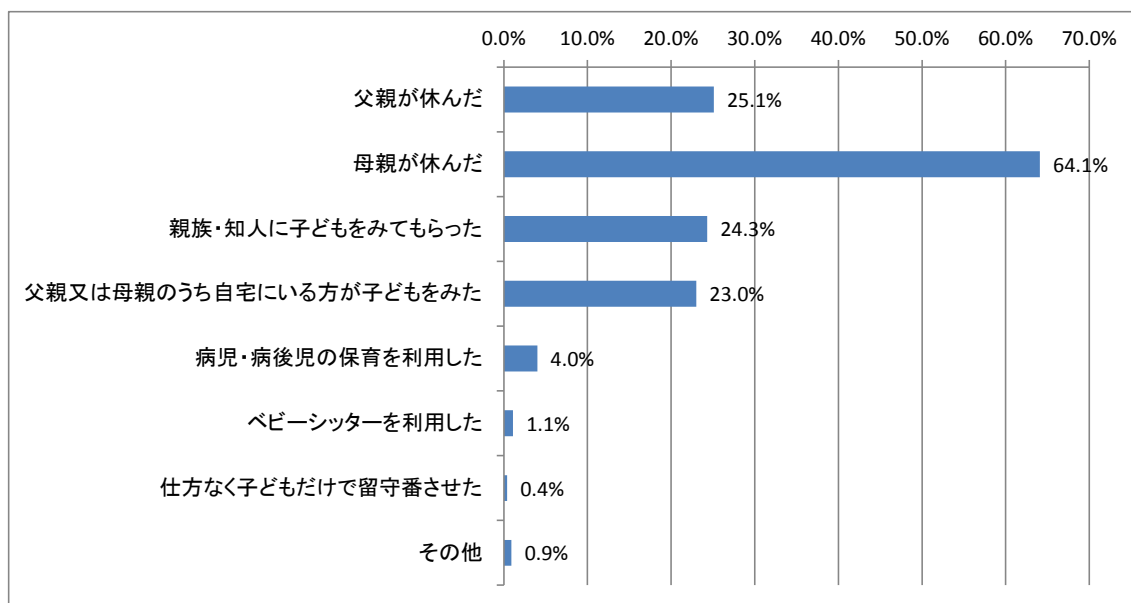
「あった」が 74.1%、「なかった」が 22.3%となっている。



問 28 病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとの日（複数回答）

【分析】

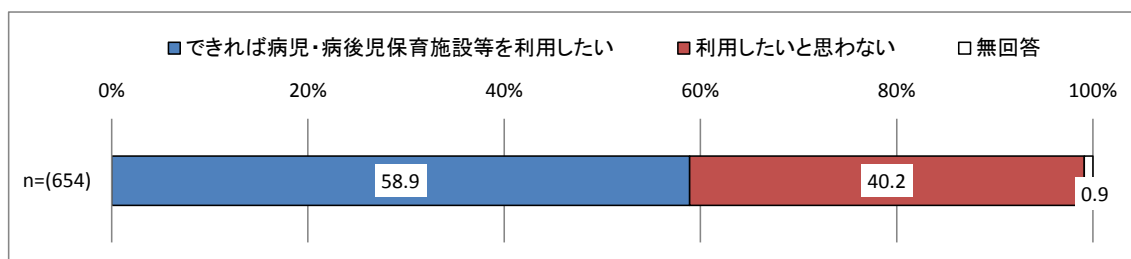
「母親が休んだ」が最も多く 60%を超えており、「病児・病後児の保育を利用した」、「ベビーシッターを利用した」は合わせても 10%に満たない。



問 29 問 28 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

【分析】

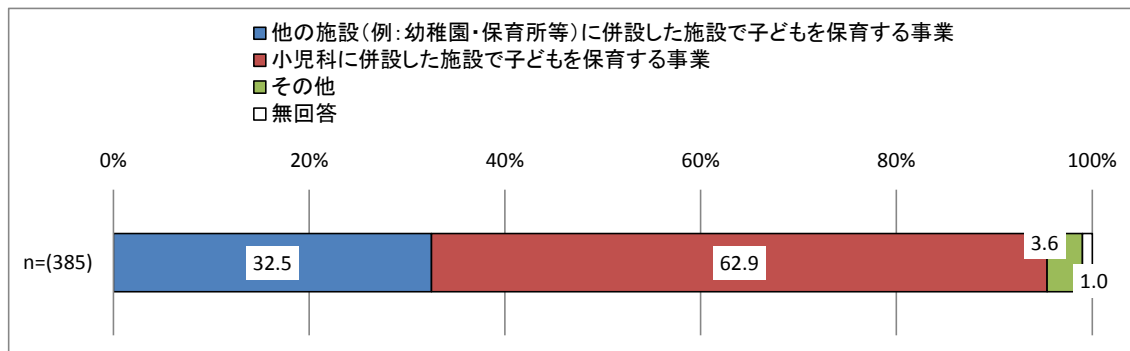
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 58.9%と半数を超えている。



問 30 問 29 で「1」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

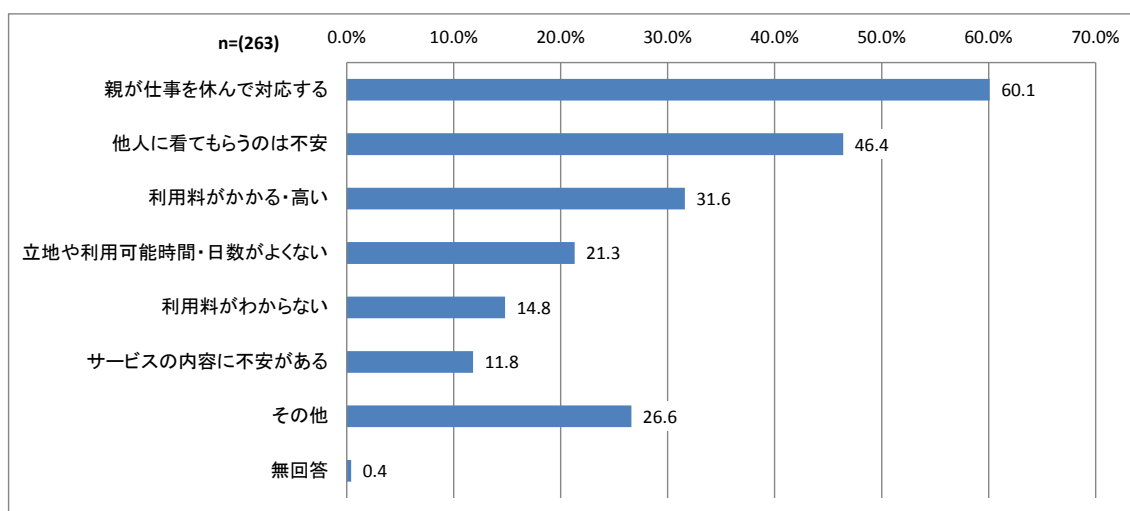
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.9%と最も多くなっている。



問 31 問 29 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

【分析】

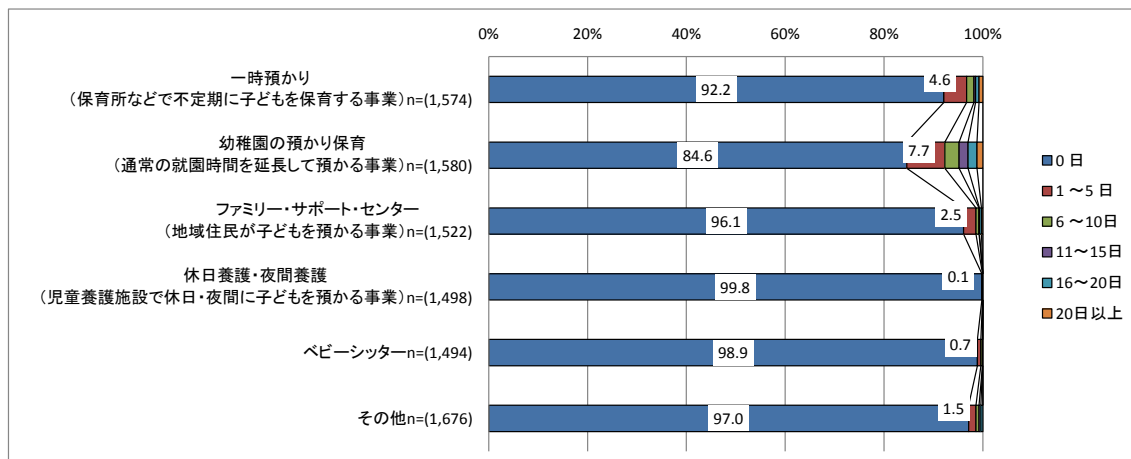
「親が仕事を休んで対応する」が 60.1%と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 46.4%、「利用料がかかる・高い」が 31.6%と続き、他は全て 30%未満である。



問 32 不定期の一時預かりについて利用している日数

【分析】

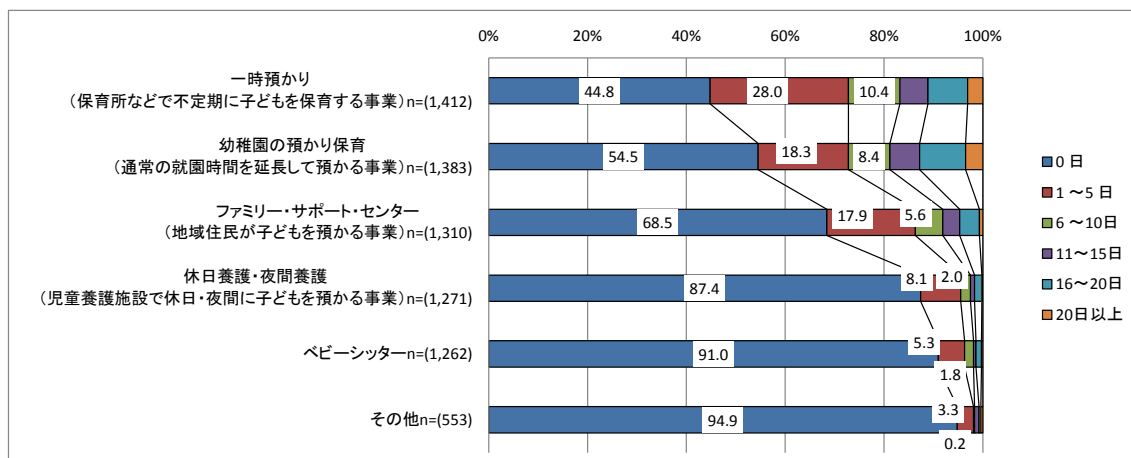
利用している日数が「0 日」という回答が全ての事業で 80%を超えており、一番利用割合の多い「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）」でも 1 日以上利用する割合は合計で 15.4%である。



問 32 不定期の一時預かりについて利用を希望する日数

【分析】

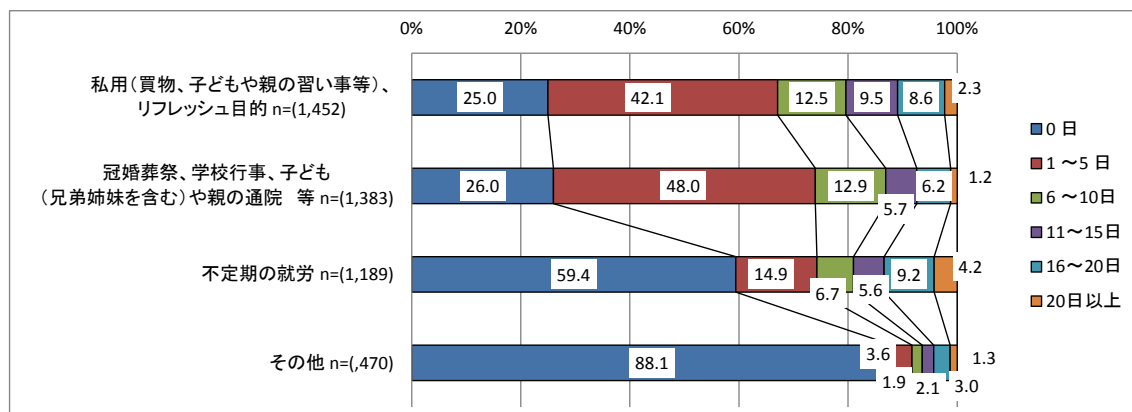
日数別では「0 日」が最も割合が多く、次いで「1～5 日」が多い。また、事業別では「一時預かり（保育所などで不定期に子どもを保育する事業）」が 1 日以上の利用を希望する日数の割合が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）」となっている。



問 33 お子さんを預ける事業についての目的

【分析】

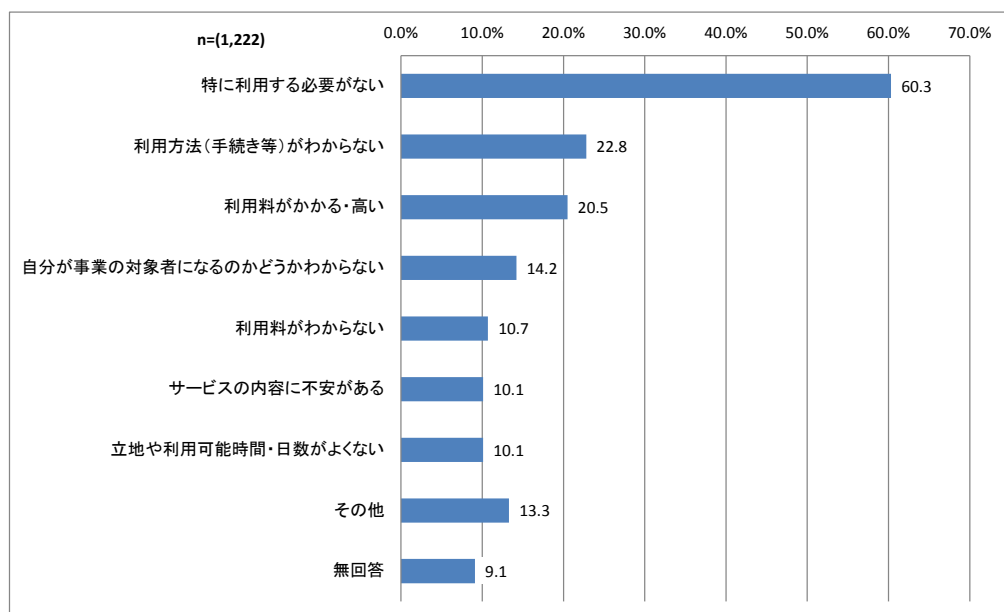
「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」では共に「1～5 日」の割合が最も多く、「不特定の就労」、「その他」では共に「0 日」の割合が最も多い。



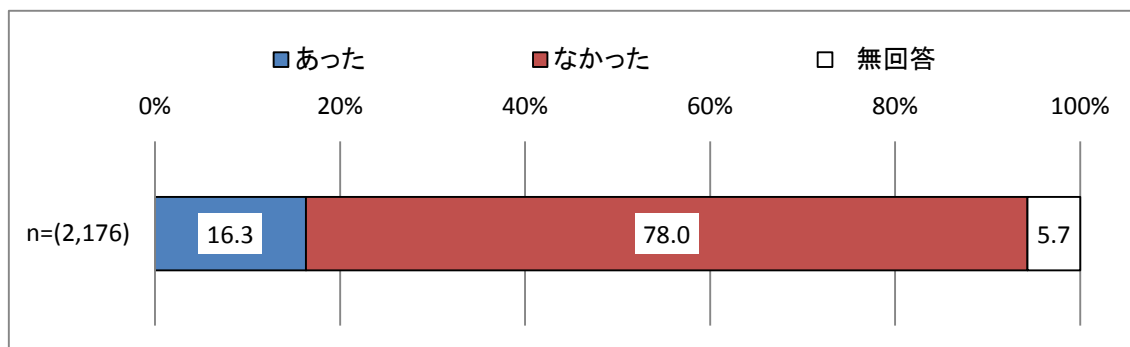
問 34 問 32 の A 欄で全ての項目について「1 .」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答）

【分析】

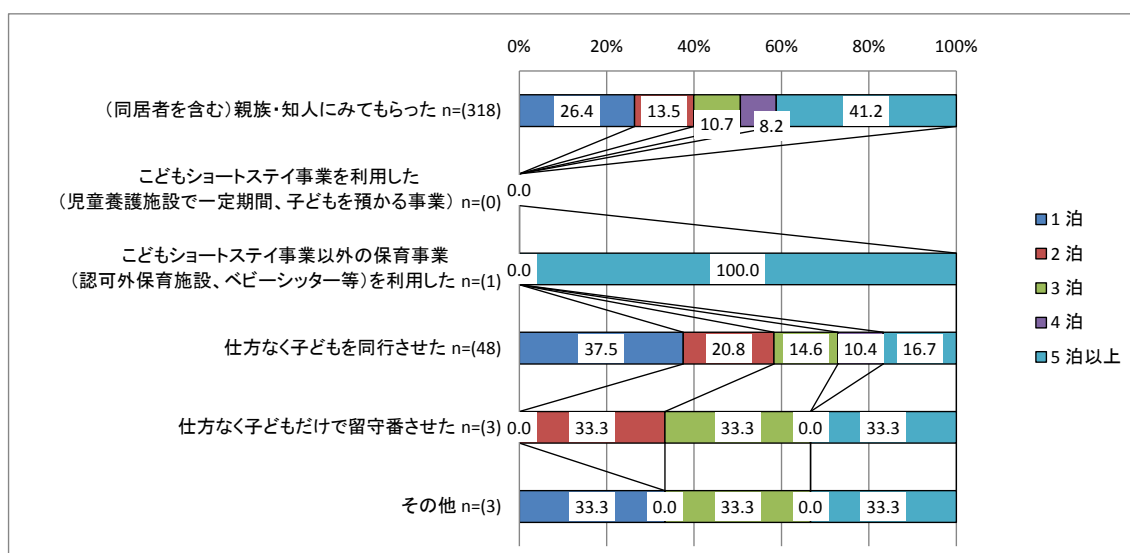
「特に利用する必要がない」が 60.3%で最も多く、他は全て 30%未満である。



問 35 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。



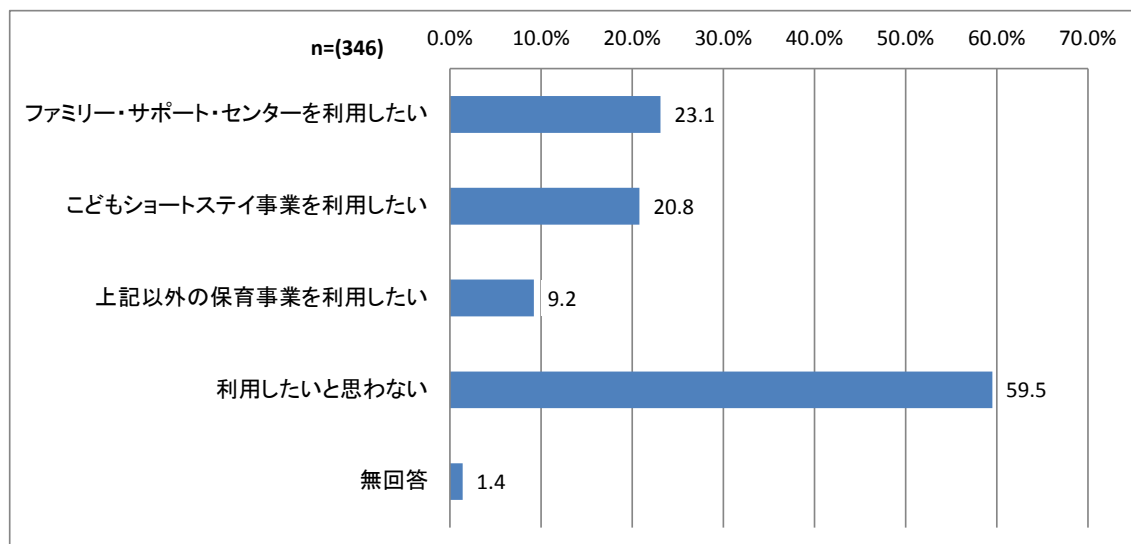
問 35 保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外に見てもらった日数



※「こどもショートステイ事業を利用した」は、該当データなし

※「こどもショートステイ事業以外を利用した」、「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」、「その他」は、母数が少ないので参考値

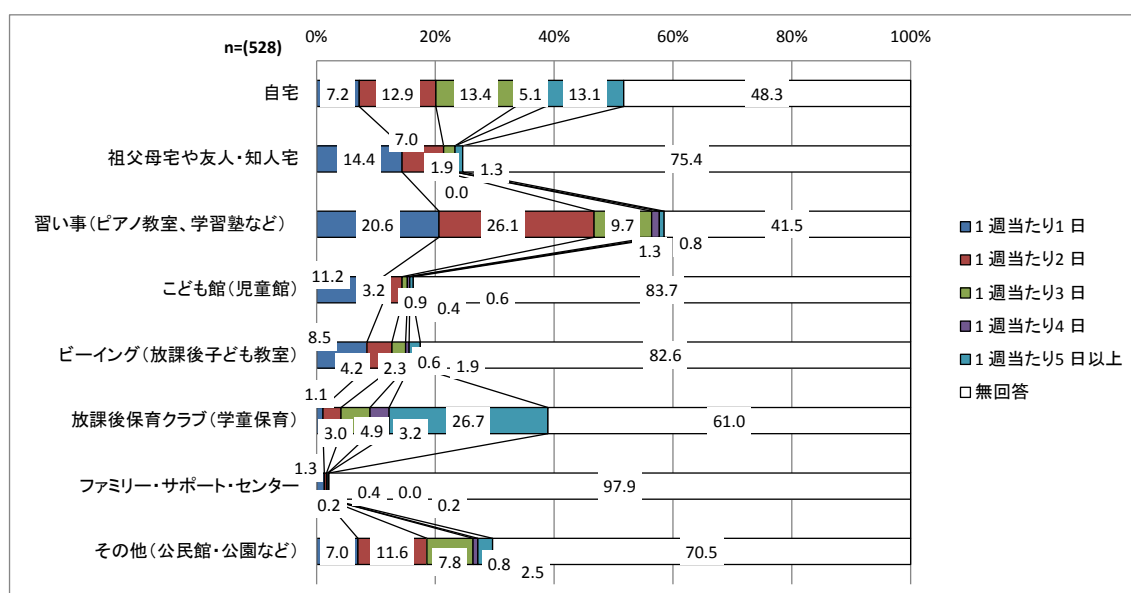
問 36 今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答）



問 37 就学後の放課後の過ごし方 小学校低学年（1～3年生）

【分析】

放課後の過ごし方について、1週当たり1日では、「習い事」が20.6%で最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が14.4%となっている。

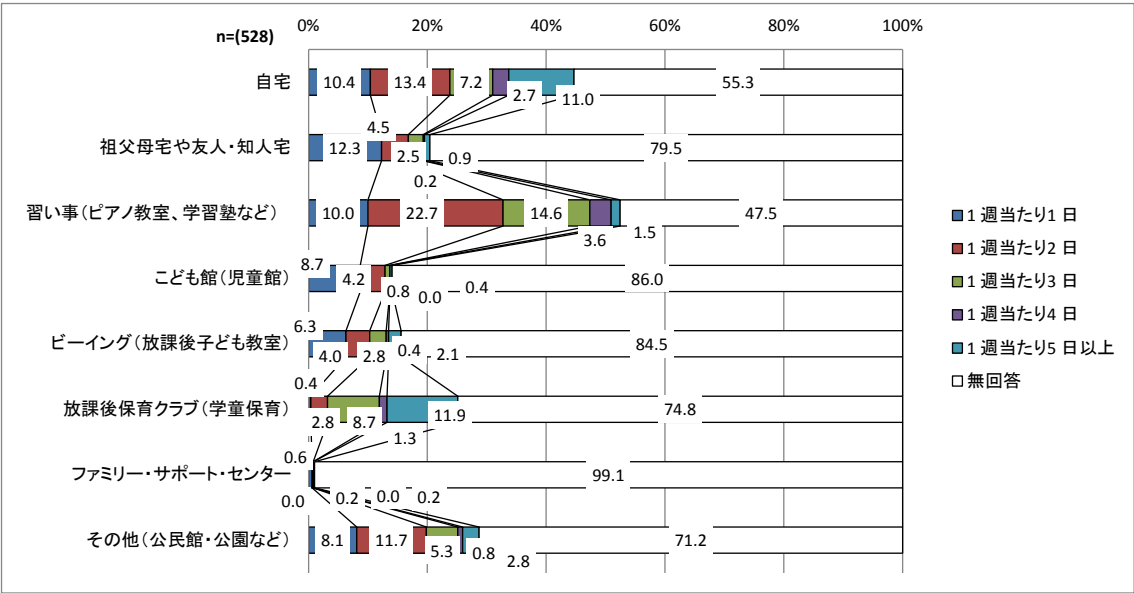


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

問 37 就学後の放課後の過ごし方 小学校高学年（4 ～6 年生）

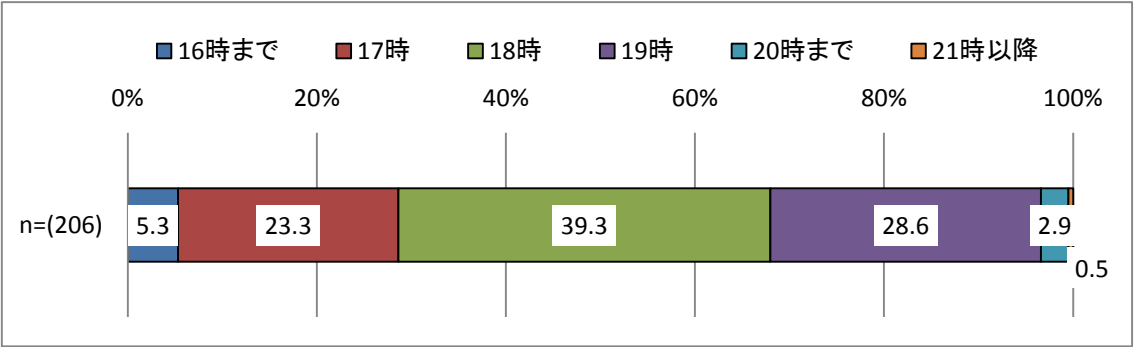
【分析】

放課後の過ごし方について、1 週当たり 1 日では、「祖父母宅や友人・知人宅」が 12.3 %で最も多く、次いで「自宅」が 10.4 %となっている。

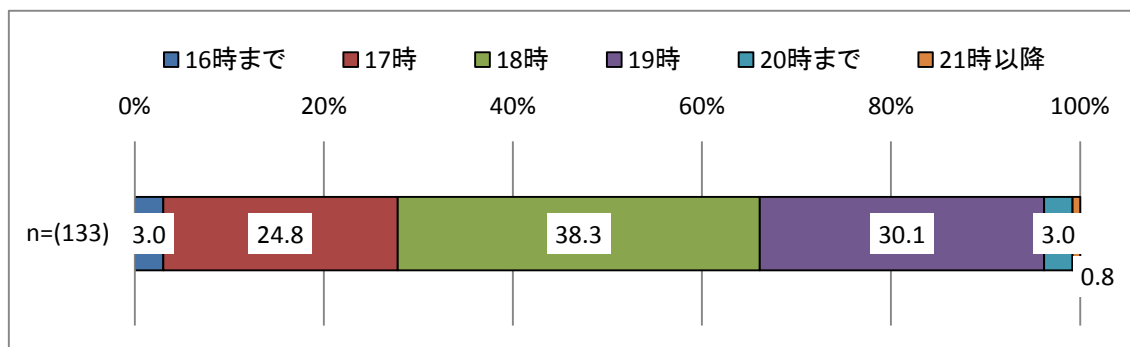


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

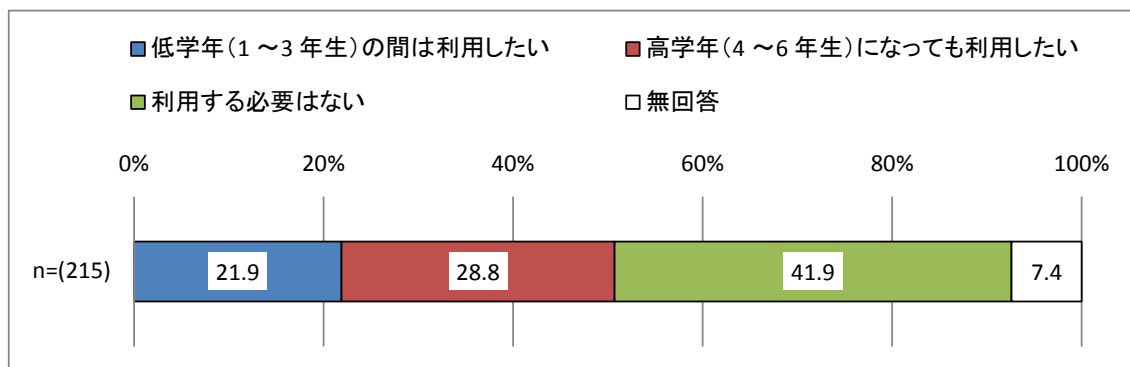
問 37 放課後クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで） 小学校低学年（1 ～3 年生）



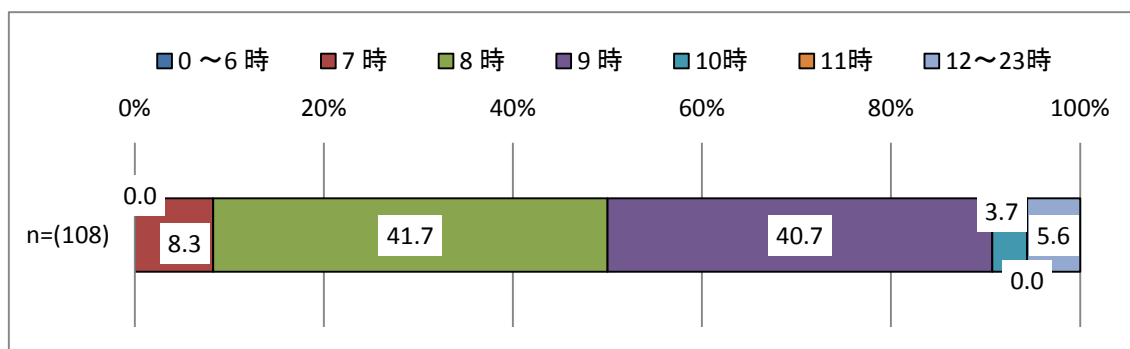
問 37 放課後クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで） 小学校高学年（4 ～6 年生）



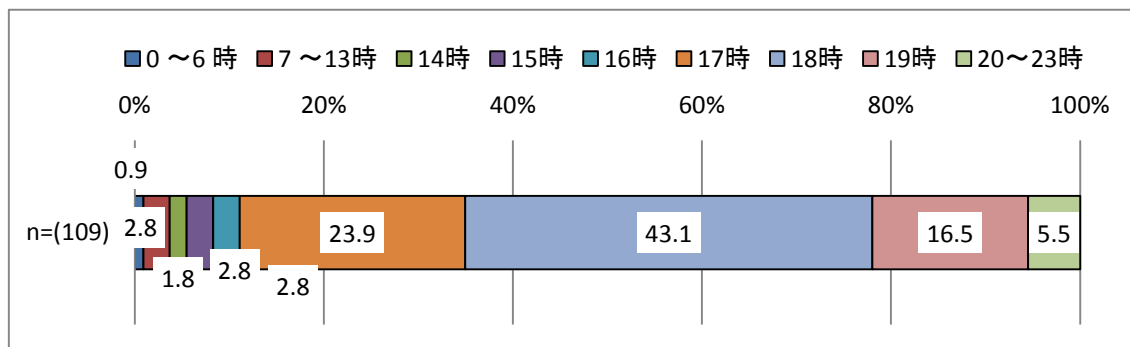
問 38 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか （１）土曜日



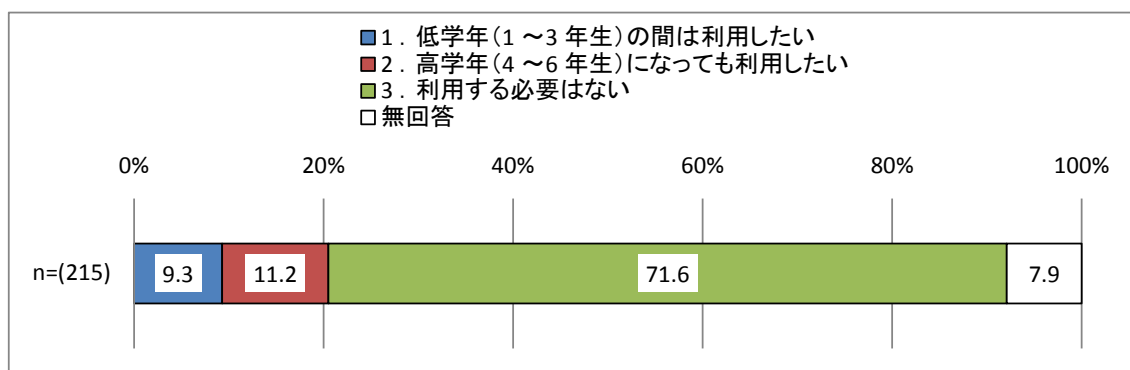
問 38（１）土曜日 開始時刻



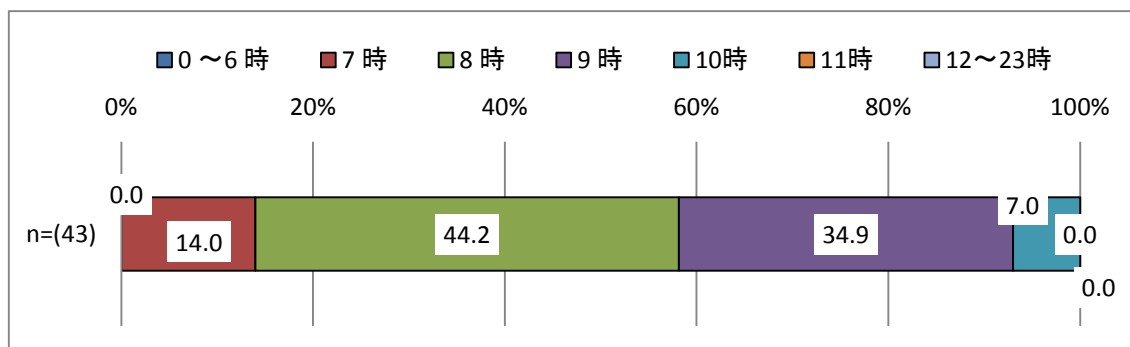
問 38 (1) 土曜日 終了時刻



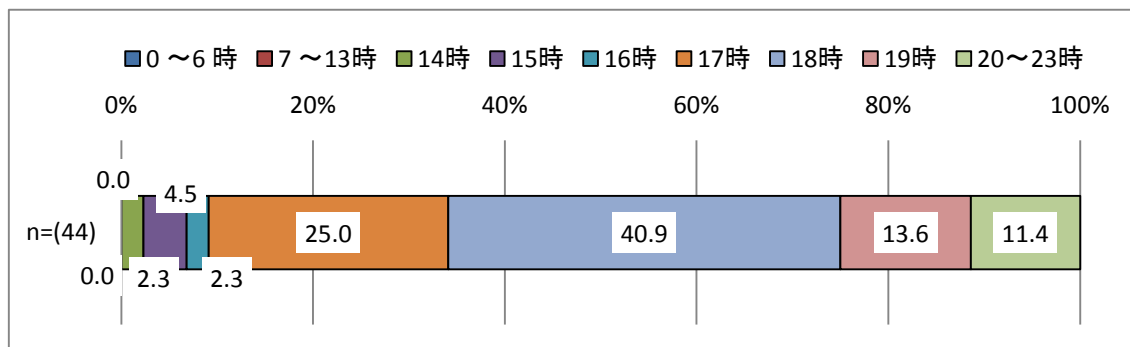
問 38 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか (2) 日曜・祝日



問 38 (2) 日曜・祝日 開始時刻



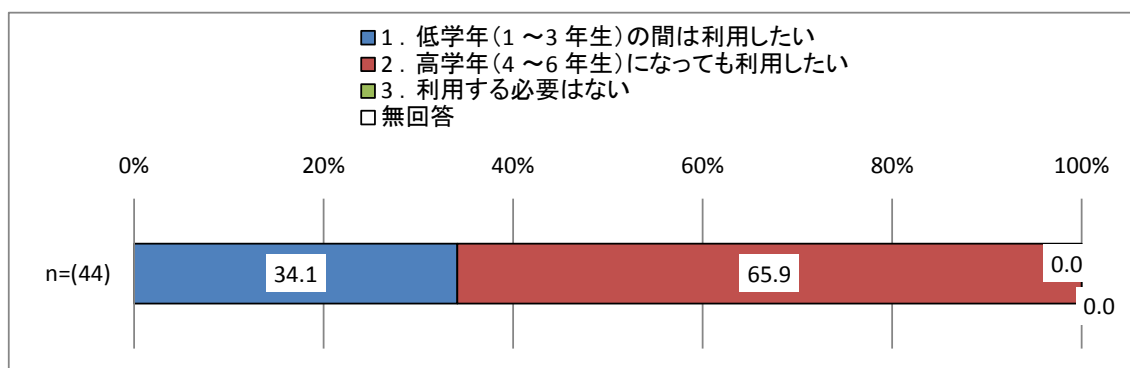
問 38 (2) 日曜・祝日 終了時刻



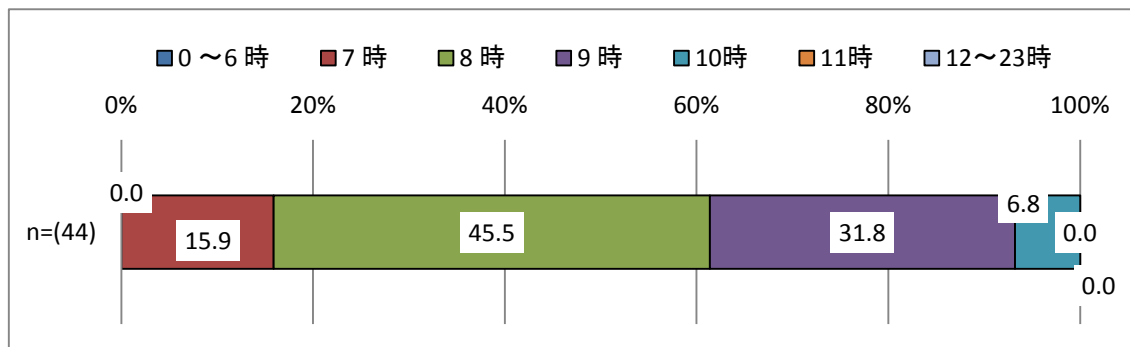
問 38 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか (3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

【分析】

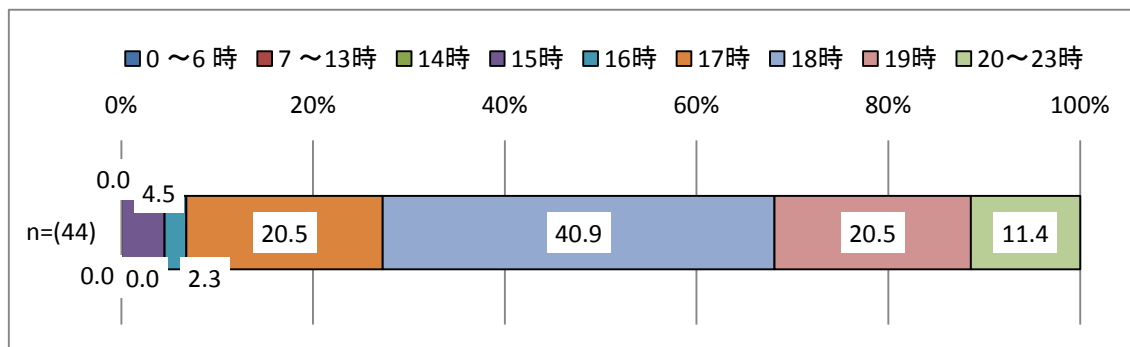
土曜日、日曜日・祝日の「利用する必要はない」の割合は、それぞれ 41.9%、71.6% だったが、長期の休暇期間中は 0% となっており、利用希望は 100% である。



問 38 (3) 長期の休暇期間中 開始時刻



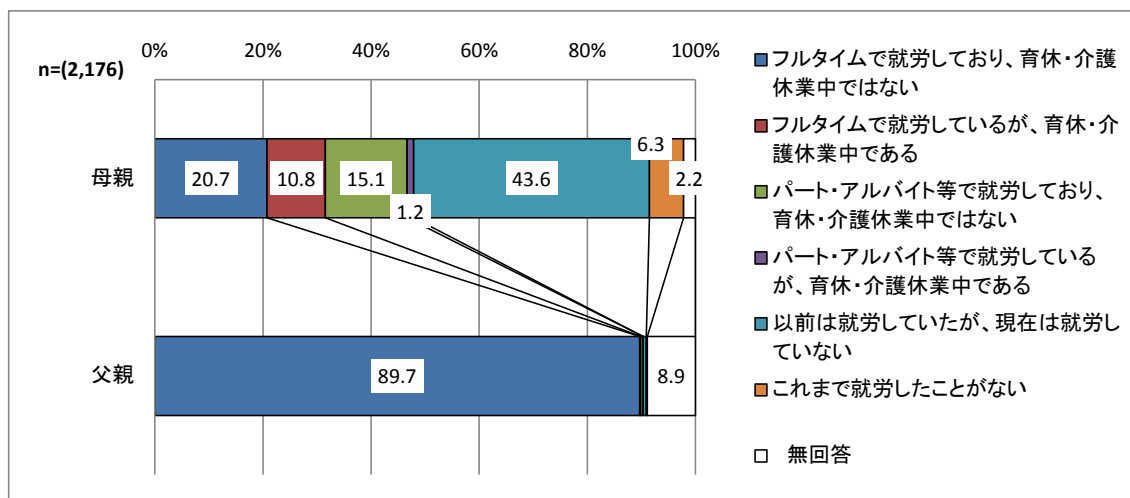
問 38 (3) 長期の休暇期間中 終了時刻



問 39 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

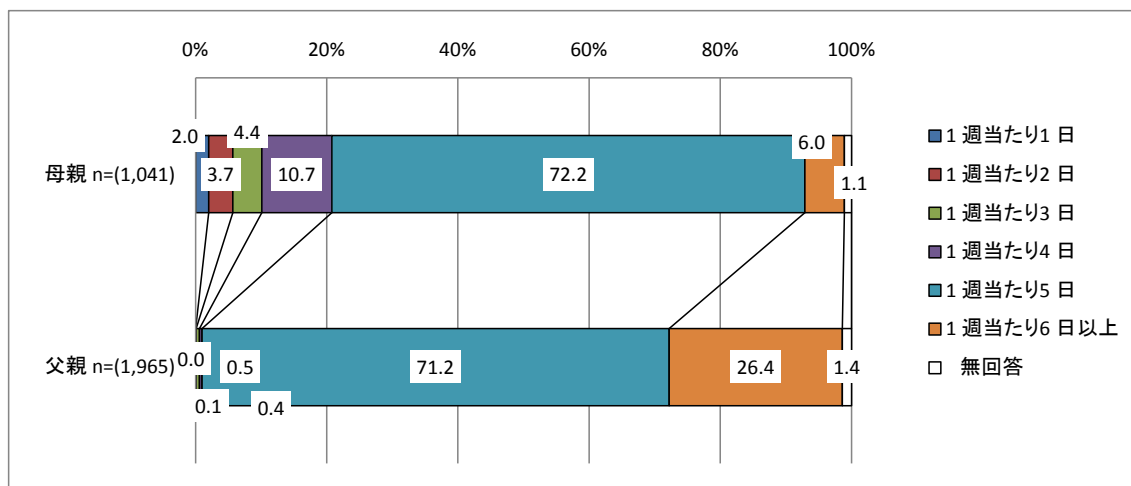
母親の就労率は 47.9% で、フルタイムでの就労率は産休等の休業も含め 31.5% となっている。父親は 89.7% のフルタイム就労率である。



問 39 (1) -1 1 週当たりの「就労日数」

【分析】

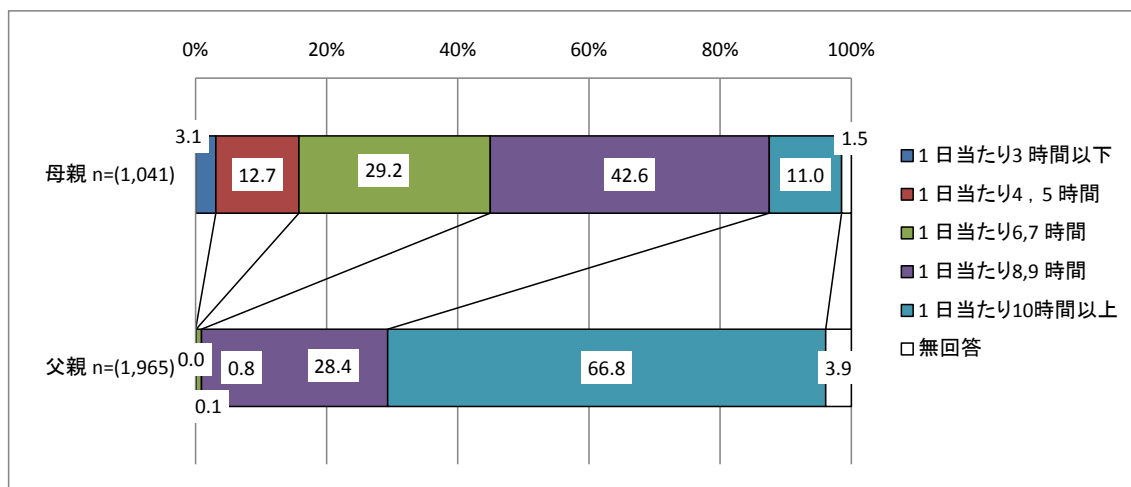
母親と父親で就労日数が週5日の割合は、それぞれ72.2%、71.2%となっておりほぼ同じくらい。



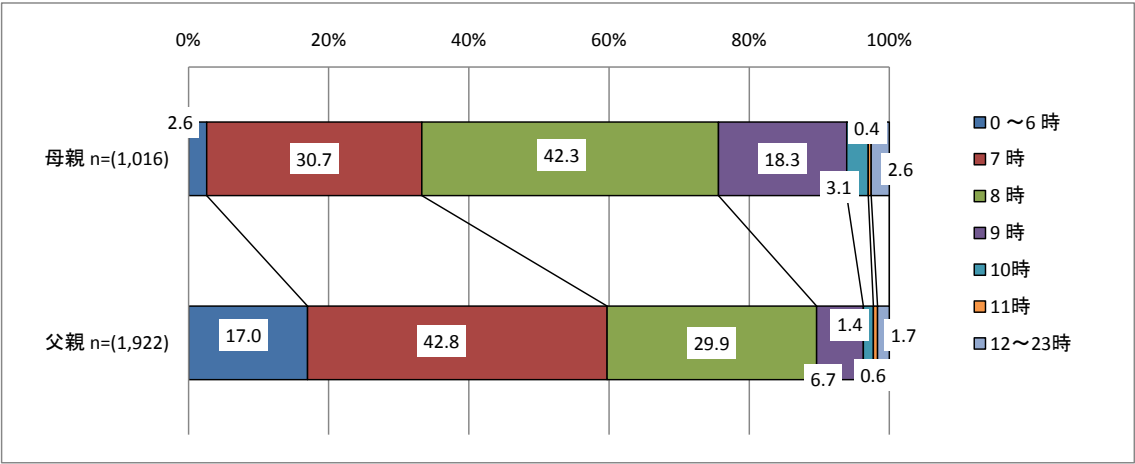
問 39 (1) -1 1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

【分析】

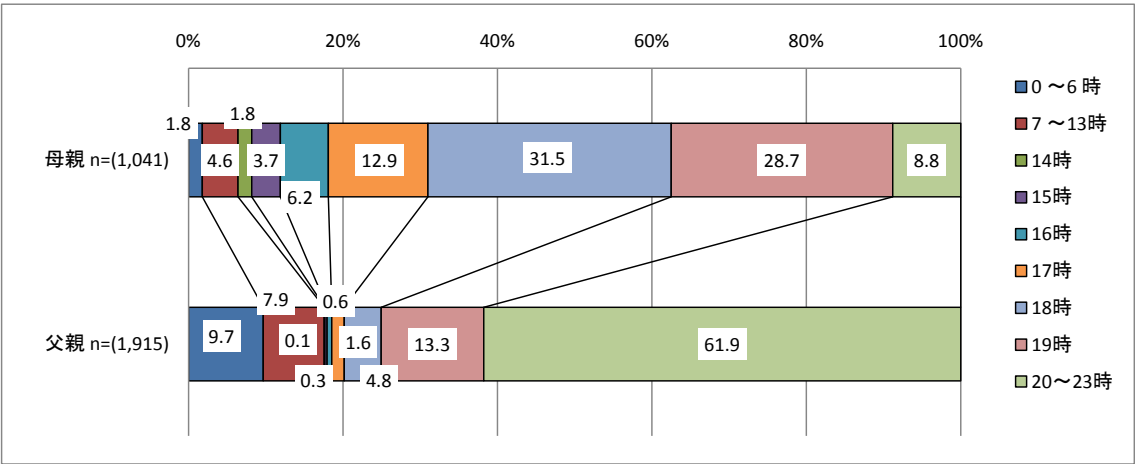
1 日あたりの就労時間は、母親の場合で8 時間以上が53.6%。父親の場合は95.2%となっている。



問 39 (1) -1 開始時刻



問 39 (1) -1 終了時刻



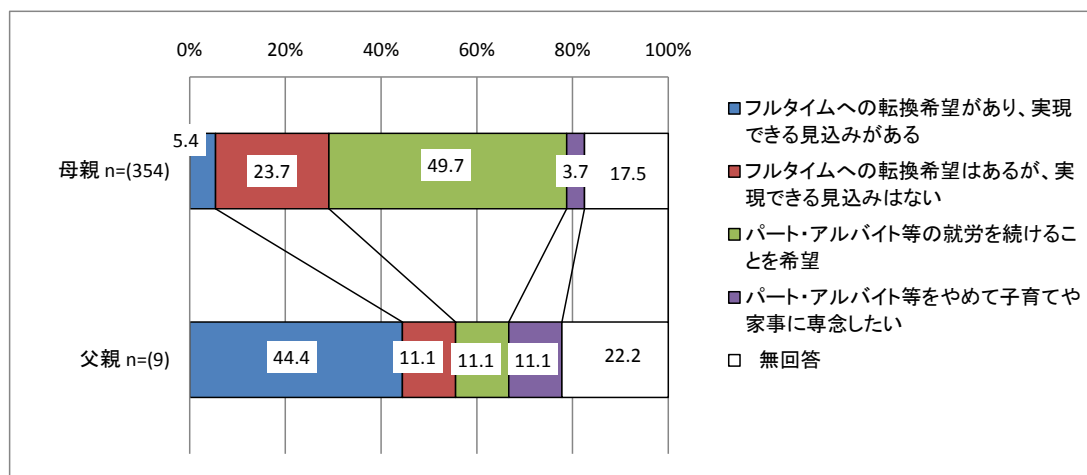
問 40 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

フルタイムへの転換希望の割合は、「母親」で合計 29.1%であった。

パート・アルバイト就労希望の割合は、「母親」が 49.7%で約半数にのぼる。

また「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」割合は、「母親」で 3.7%となっている。

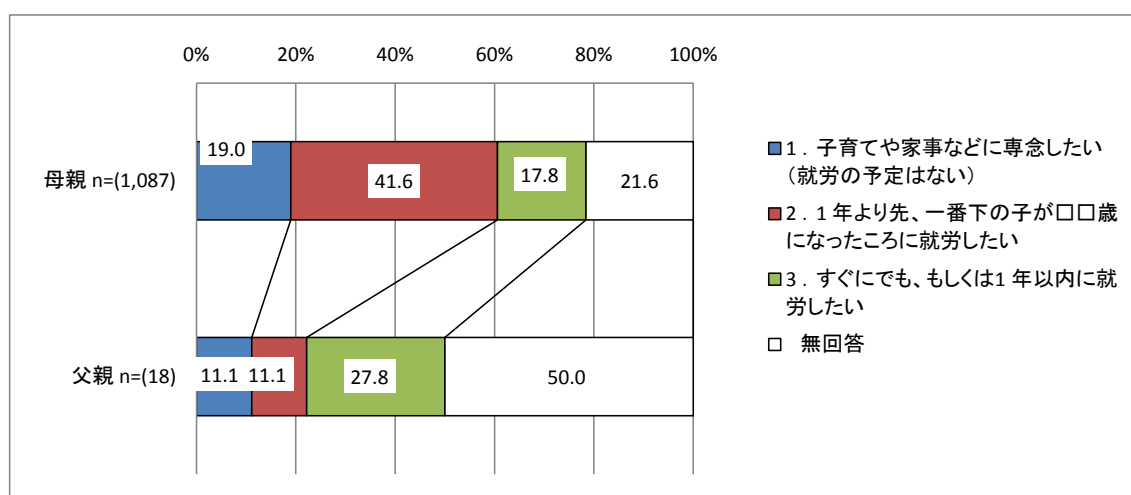


※父親は母数が少ないので参考値

問 41 就労したいという希望はありますか。

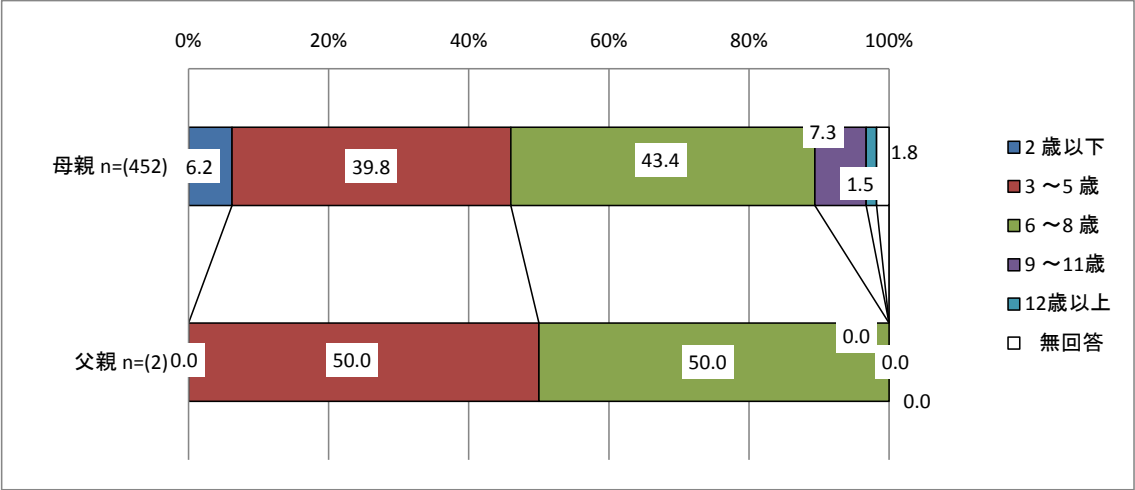
【分析】

母親で就労したいという希望の割合は、合計で 59.4%であった。



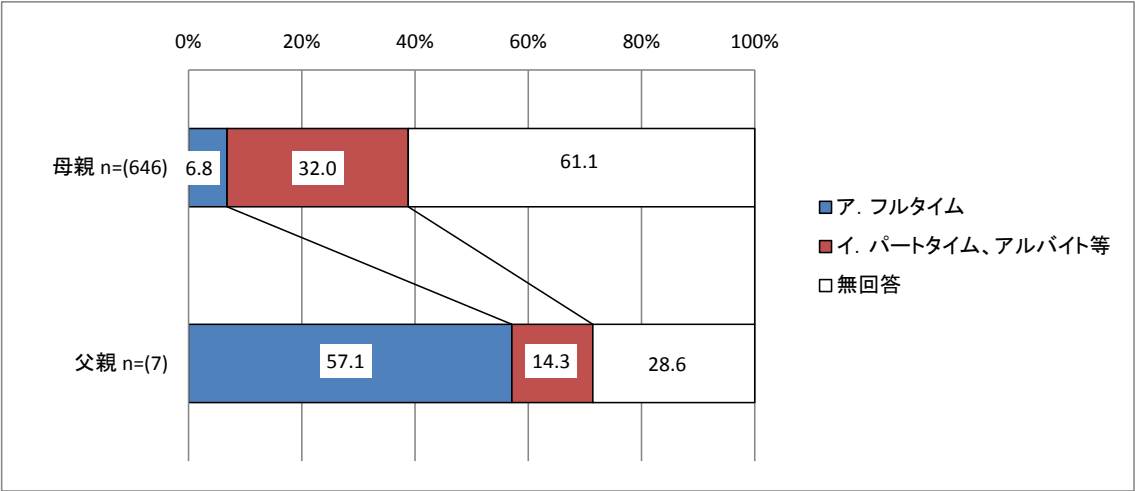
※父親は母数が少ないので参考値

問 41 就労したいという希望はありますか。 1 年より先、一番下の子が□□歳になった
ころに就労したい



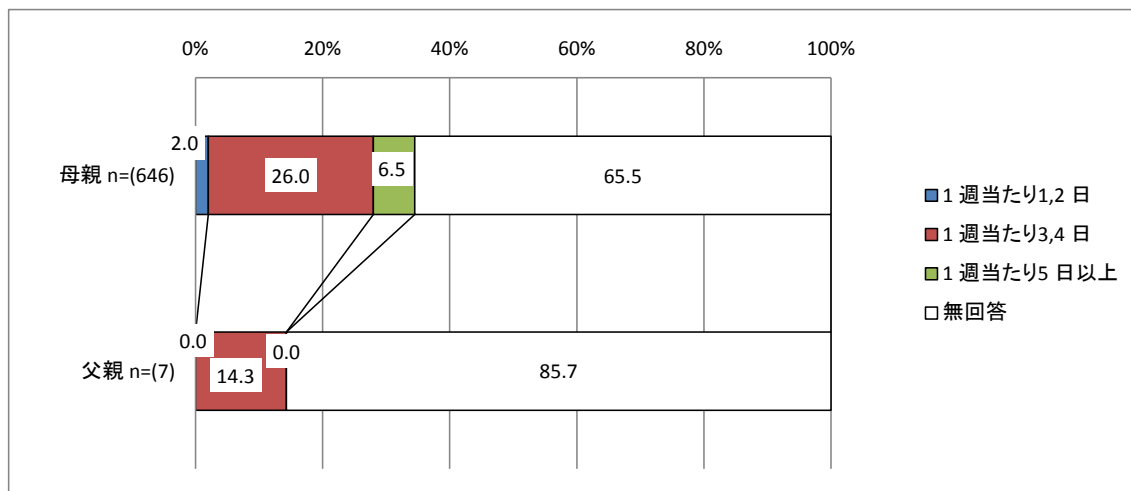
※父親は母数が少ないので参考値

問 41 就労したいという希望はありますか。 希望する就労形態



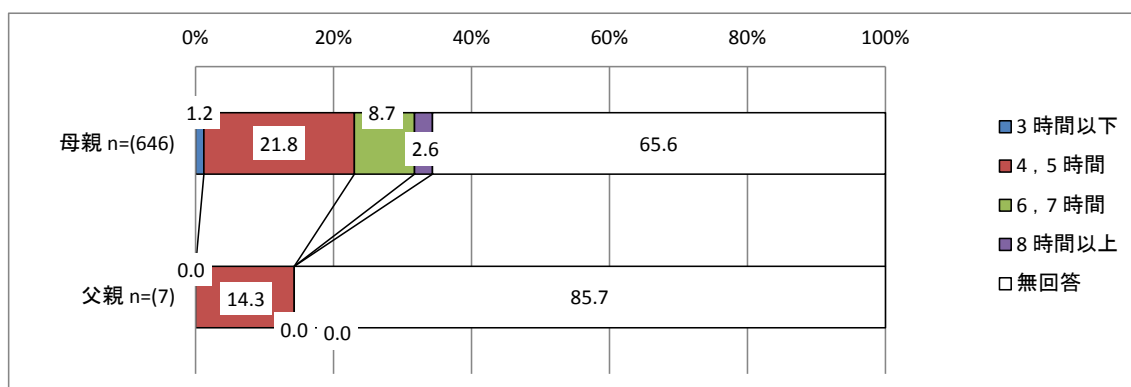
※父親は母数が少ないので参考値

問 41 就労したいという希望はありますか。 1 週間当たり



※父親は母数が少ないので参考値

問 41 就労したいという希望はありますか。 1 日当たり 時間

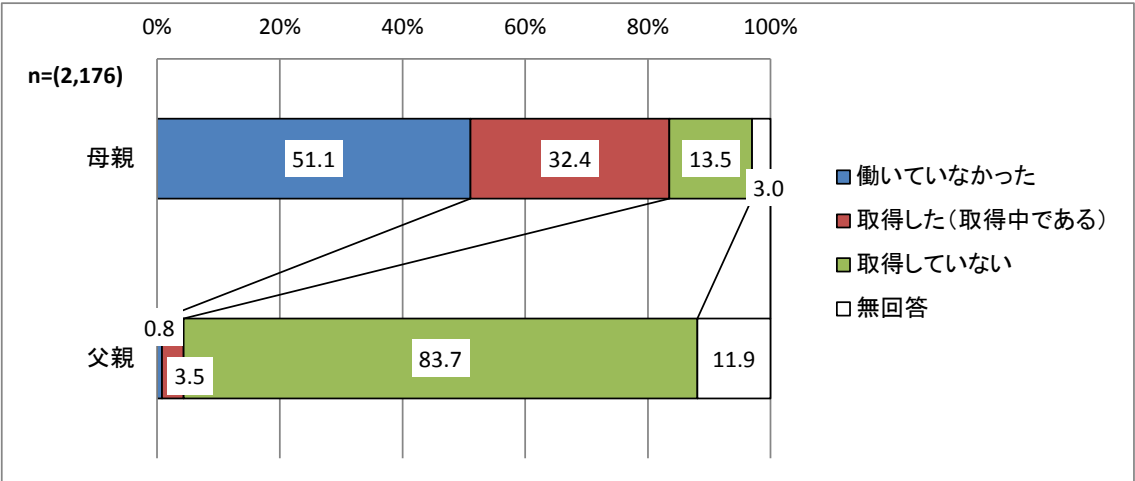


※父親は母数が少ないので参考値

問 42 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。

【分析】

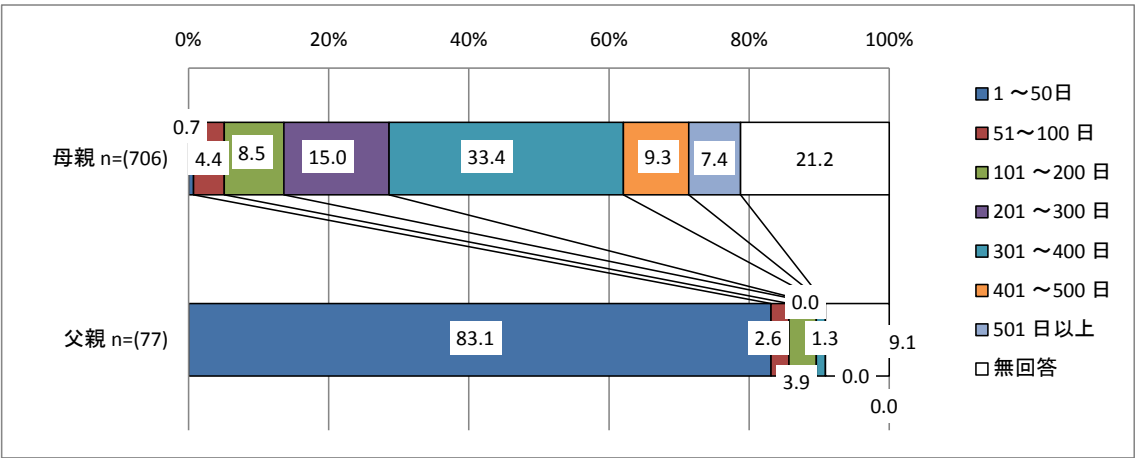
「母親」の「働いていなかった」割合は51.1%で約半数。
育児休業の取得率は、「母親」が32.4%となっており、「父親」よりも約10倍の割合を示している。



問 42 育児休業 取得期間 日

【分析】

育児休業の取得期間の分布は、「母親」の場合は範囲が広く「301～400日」の33.4%が最も多い割合を示している。「父親」の取得期間は大部分を「1～50日」の83.1%で占めている。

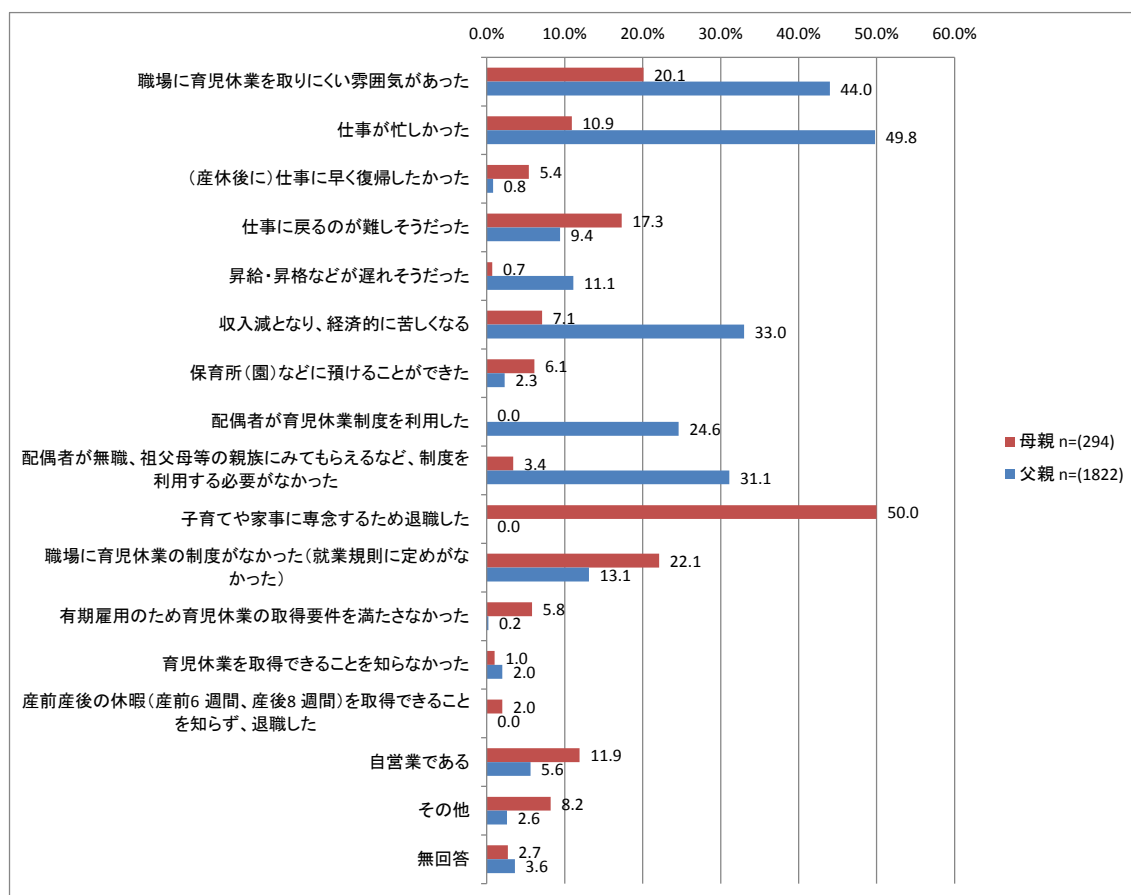


問 42 取得していない理由（すべてに○をつけてください。）（複数回答）

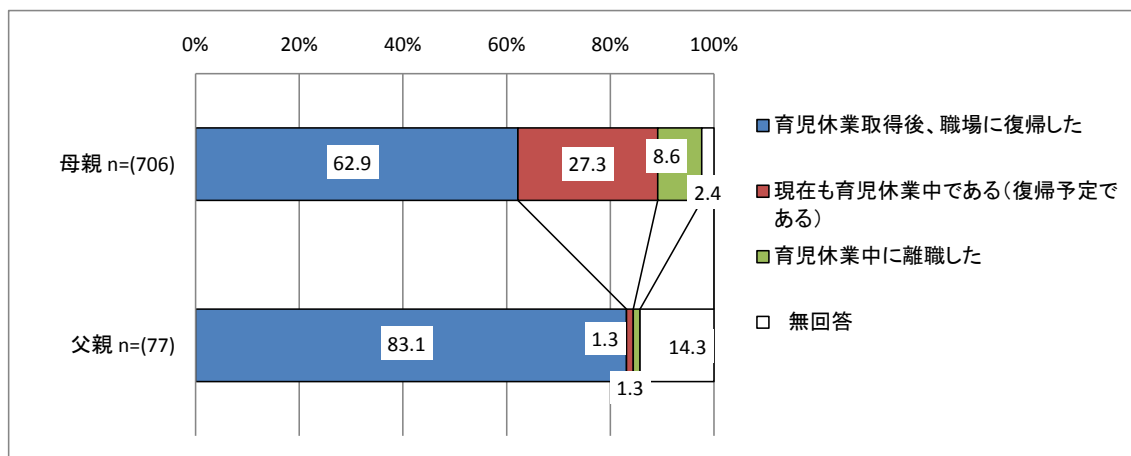
【分析】

取得していない「父親」のうち、職場環境を理由としている割合は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」で44.0%、「仕事が忙しかった」で49.8%となっており、母親の割合よりもかなり高い数字を示している。

取得していない「母親」の半数が「子育てや家事に専念するため退職した」となっている。取得していない「父親」で、取得していない理由に経済的な理由や金銭面の理由、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「昇給・昇格」を挙げる割合は「母親」に比べかなり高い。



問 43 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる欄に○をつけてください。

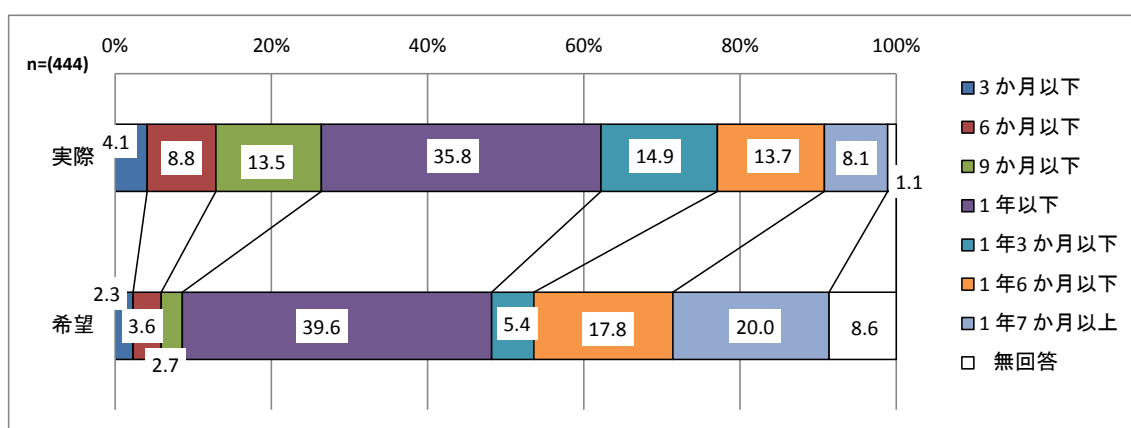


問 44 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。数字でご記入ください。 母親

【分析】

育児休業が「1年以下」の割合は、「希望」のもの（35.8%）と「実際」のもの（39.6%）の割合に大きなひらきはないが、「1年6か月以下」では4.1%、「1年7か月以上」の割合は11.9%のひらきが出ている。

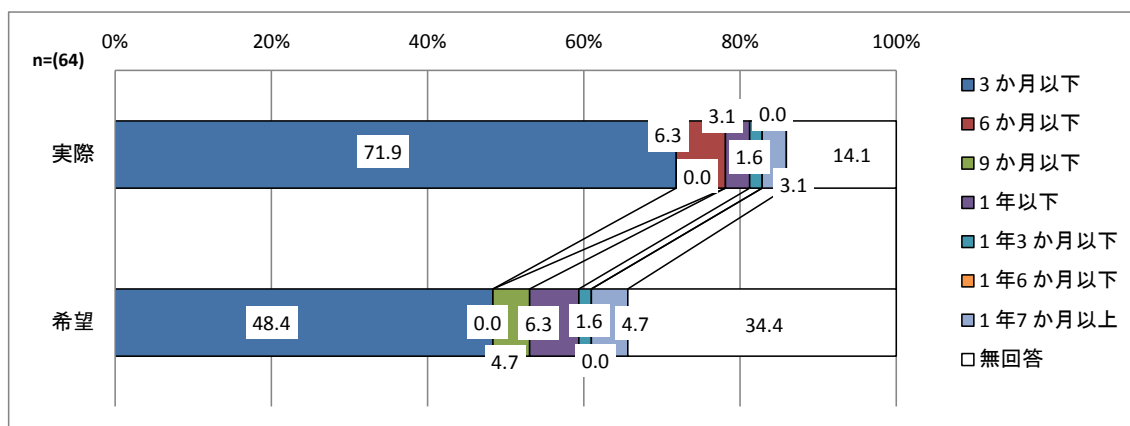
また「3か月以下」「6か月以下」「9か月以下」の割合も、「実際」の方でそれぞれ1.8%、5.2%、10.8%、「希望」との間に差が生じている。



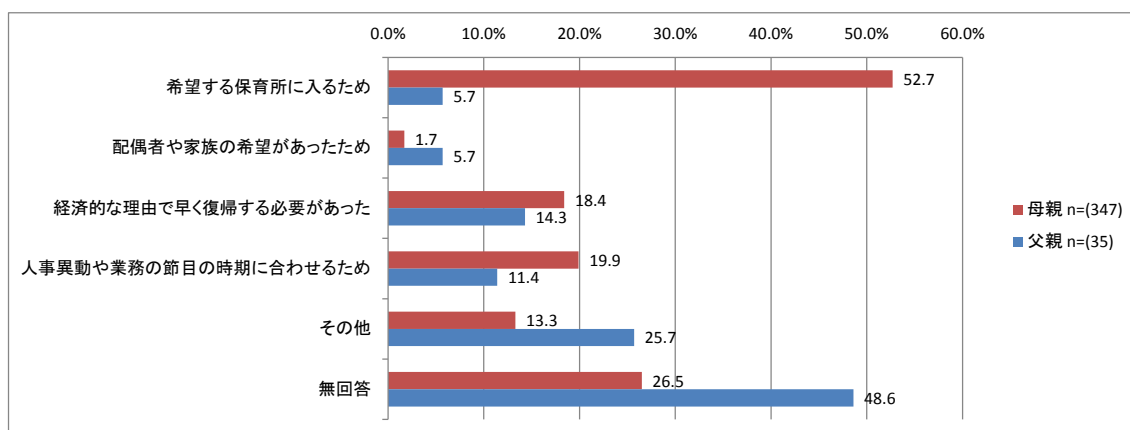
問 44 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。数字でご記入ください。 父親

【分析】

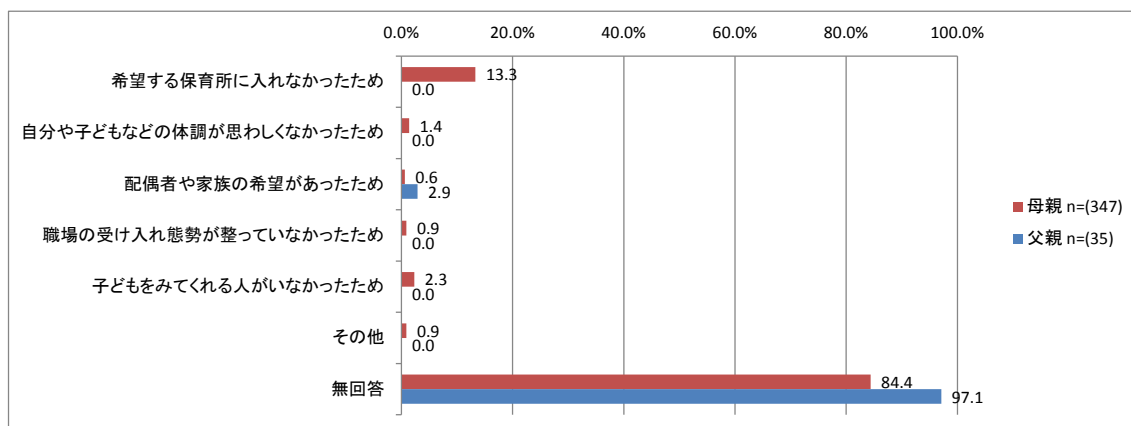
育児休暇期間は「3か月以下」が、「実際」「希望」のそれぞれで71.9%、48.4%となっており、高い割合を示している。「実際」と「希望」の両方で、「母親」よりも「3か月以下」を取得した割合が高い。



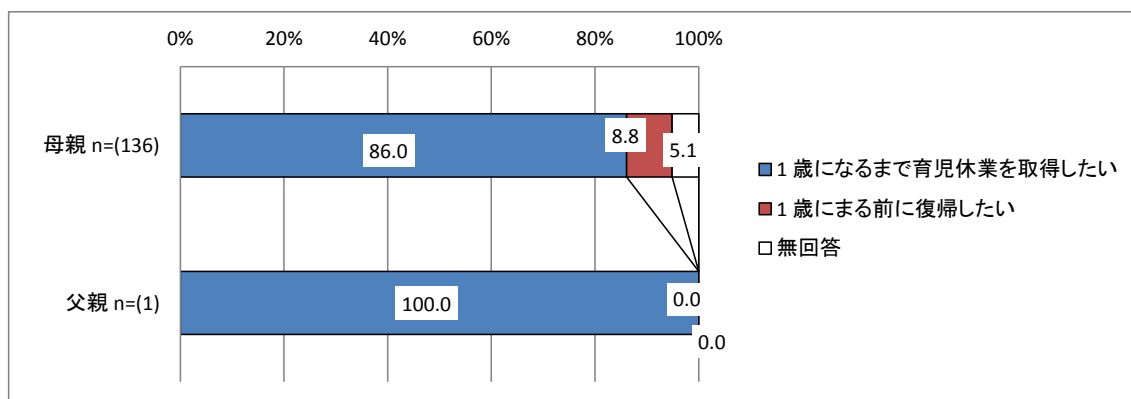
問 45 (1)「希望」より早く復帰した方(複数回答)



問 45 (2)「希望」より遅く復帰した方(複数回答)

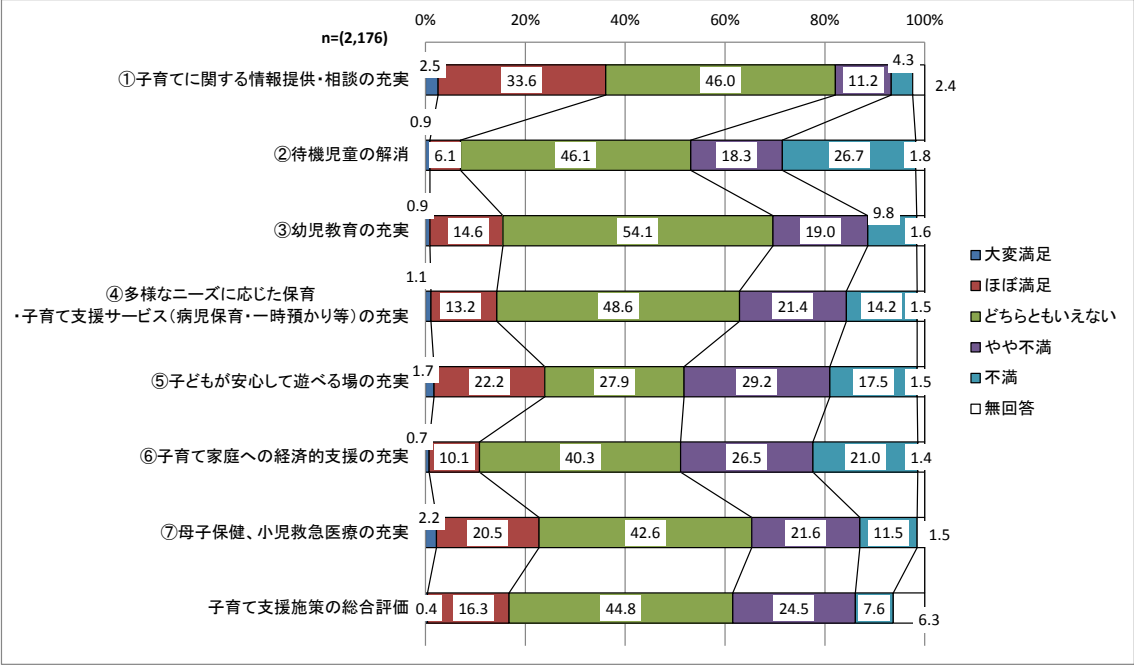


問 46 1 歳になるまで育児休業を取得したい



※父親は母数が少ないので参考値

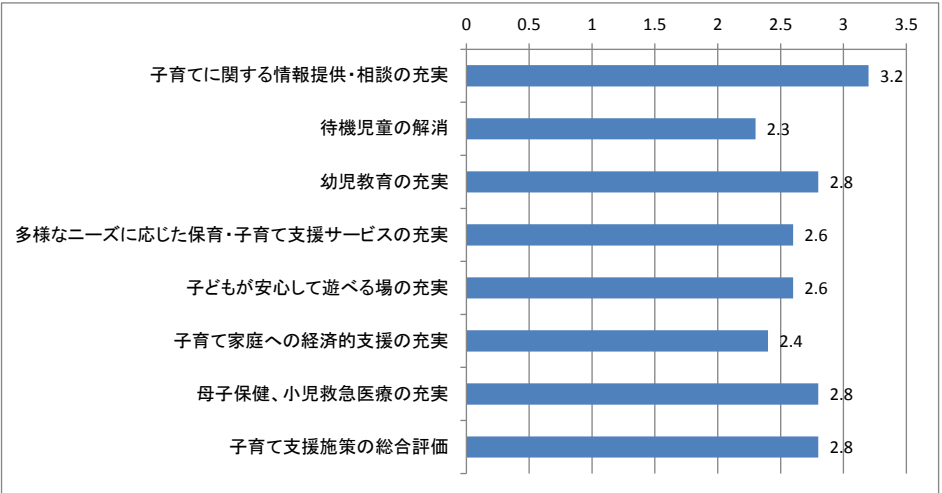
問 47 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 47 市の子育て支援施策に対する満足度

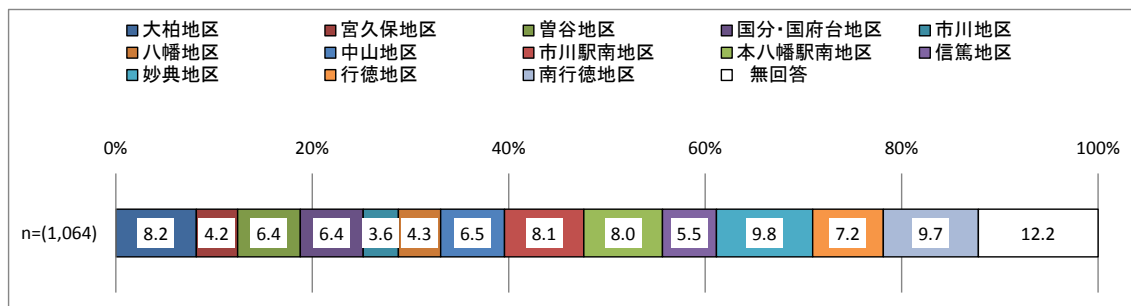
下表の基準により、平均点数を算出

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

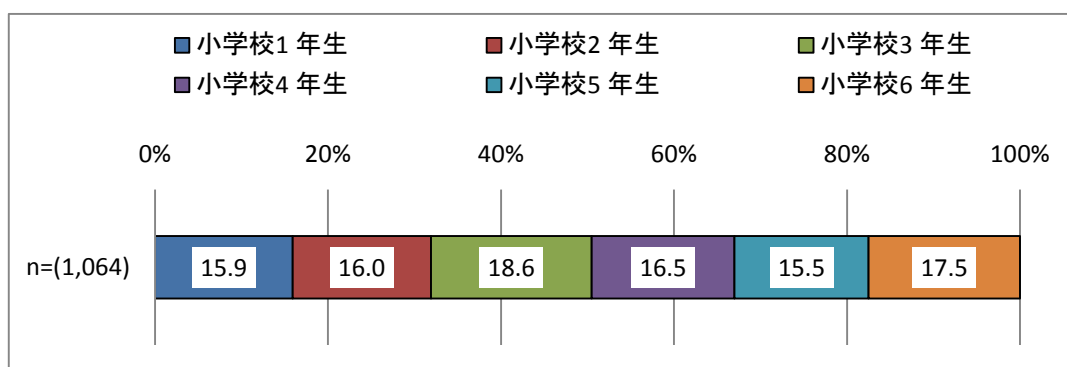


【小学生（１～６年生）】

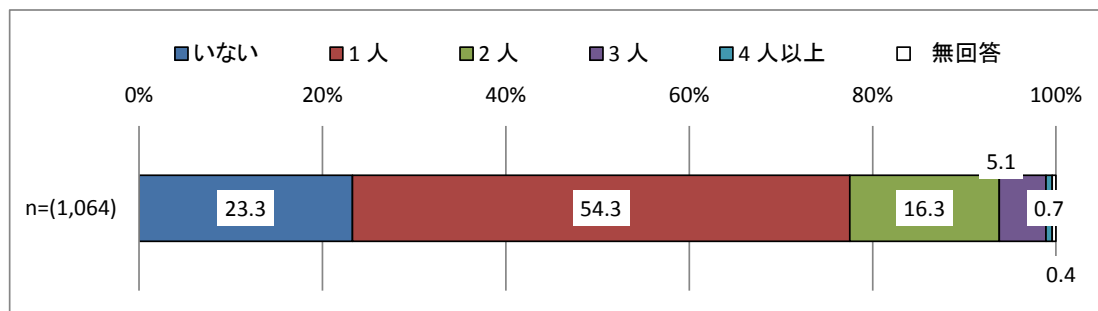
問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



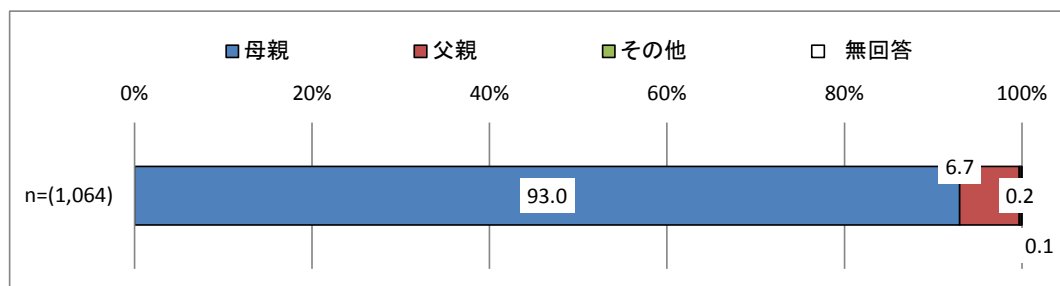
問2 学年区分



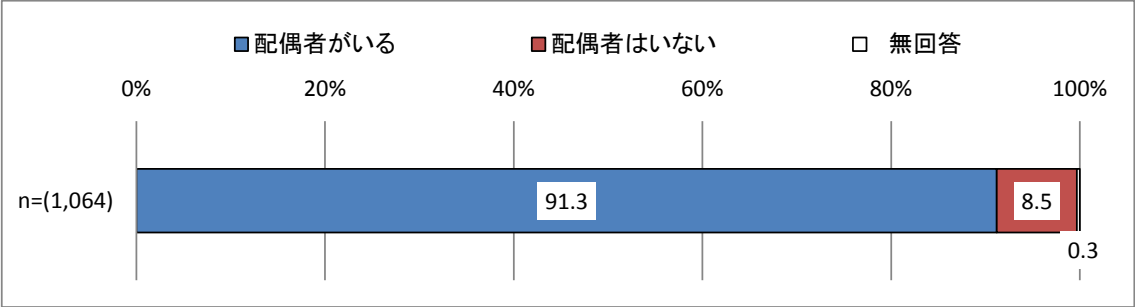
問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



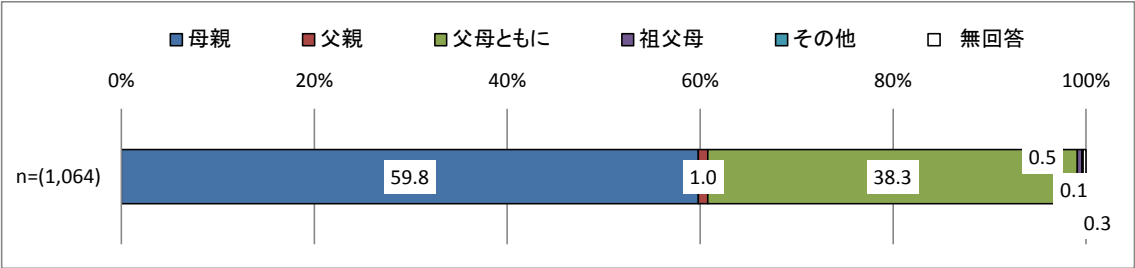
問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



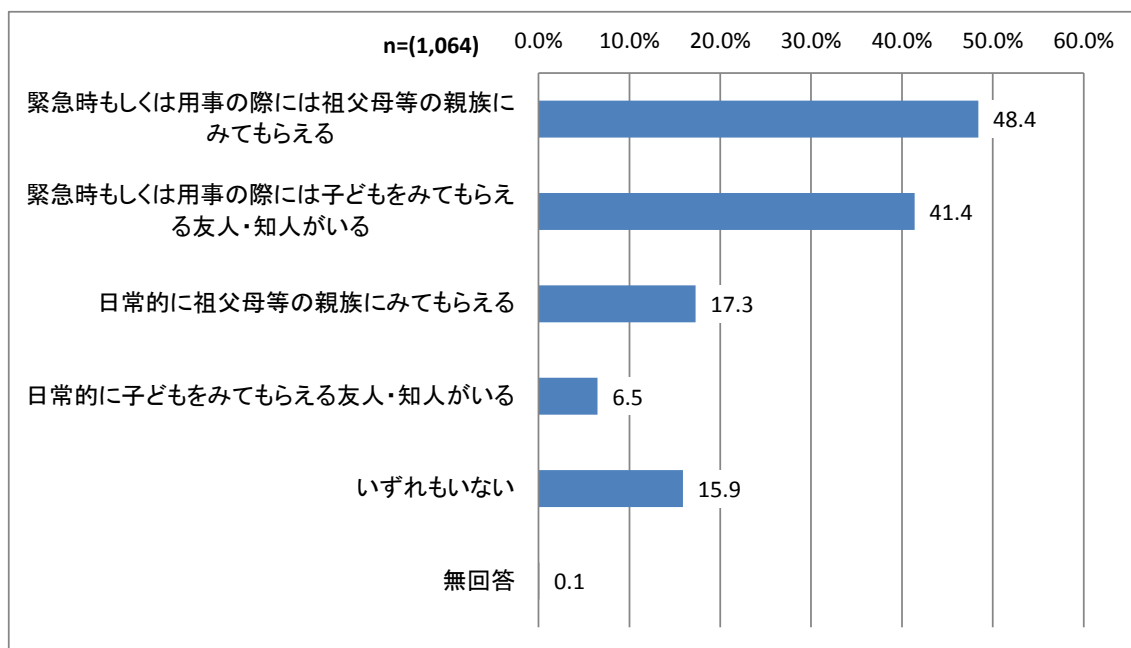
問 6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



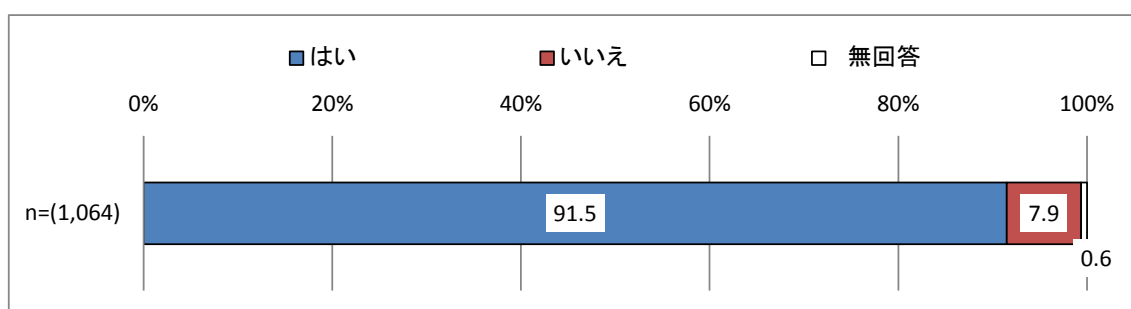
問 7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

緊急時などにみてもらえる「祖父母等の親族」がいる割合は48.4%、次いで緊急時などにみてもらえる「友人知人がいる」割合は41.4%。



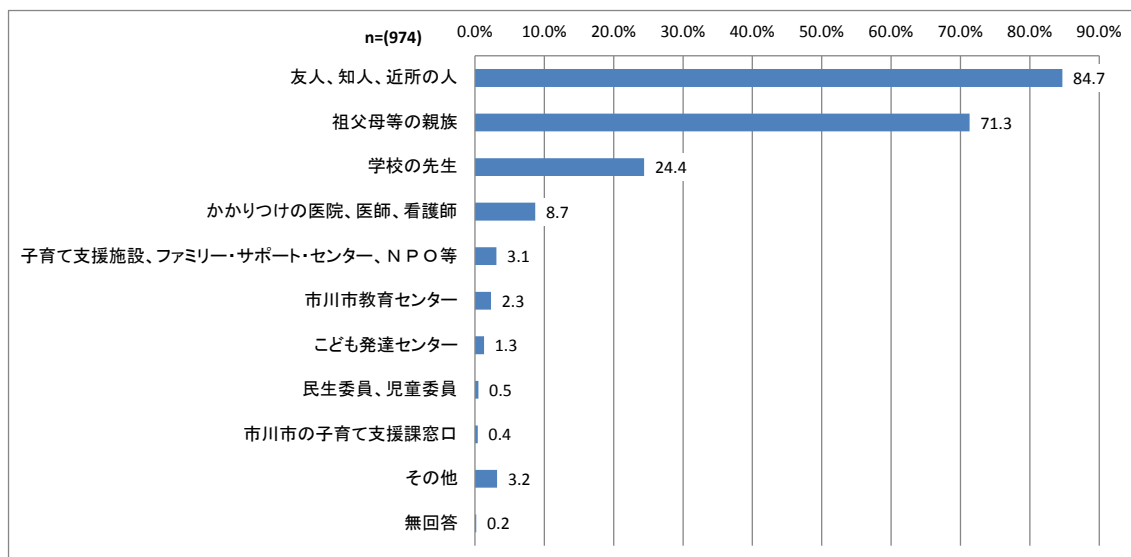
問 8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか（いますか）。当てはまる番号1つに○をつけてください。



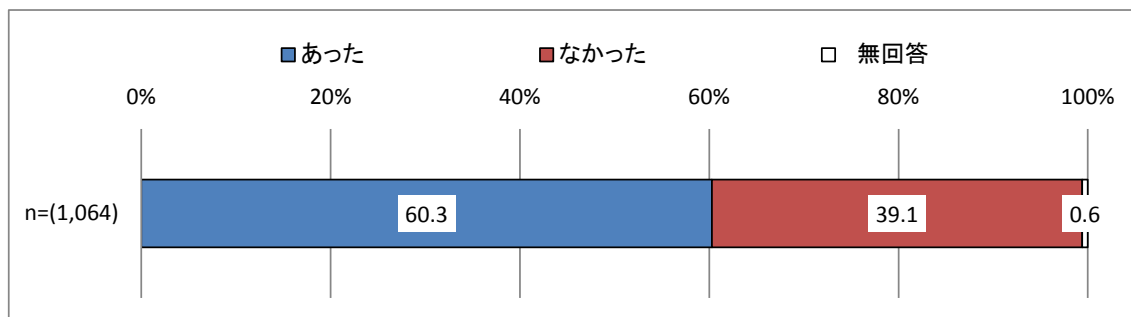
問 9 問 8 で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

気軽に相談できる先として、「友人、知人、近所の人」が84.7%で最も多く、「祖父母等の親族」の割合71.3%を上回っている。



問 11 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

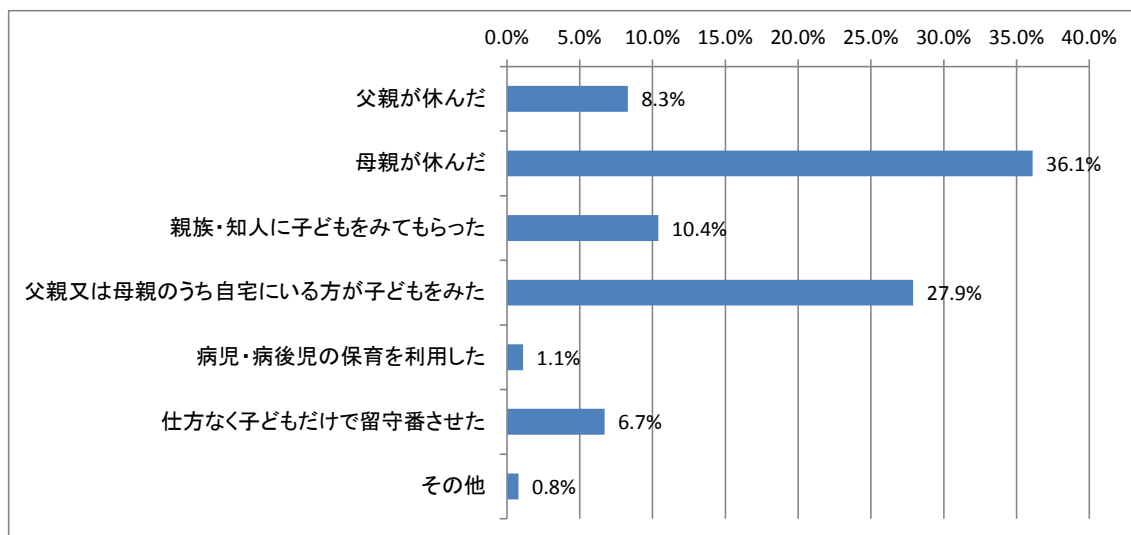


問 12 病気・ケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

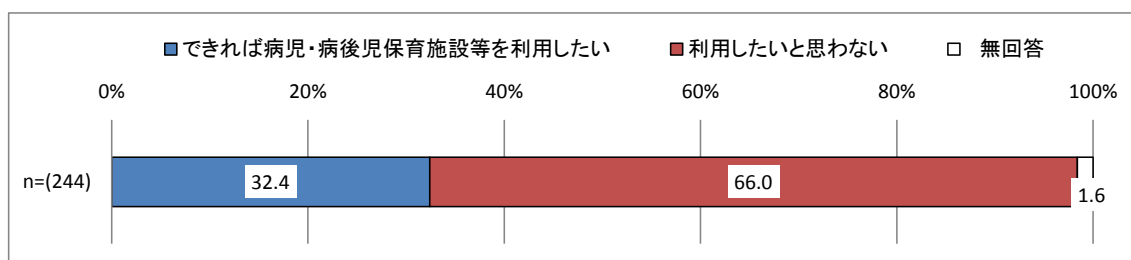
【分析】

教育・保育事業が利用できなかった場合、「母親が休んだ」と答えたのが36.1%、「父親が休んだ」は8.3%。「親族・知人」にみてもらったと答えたのが10.4%。

「病児・病後児の保育を利用した」と答えたのは1.1%。

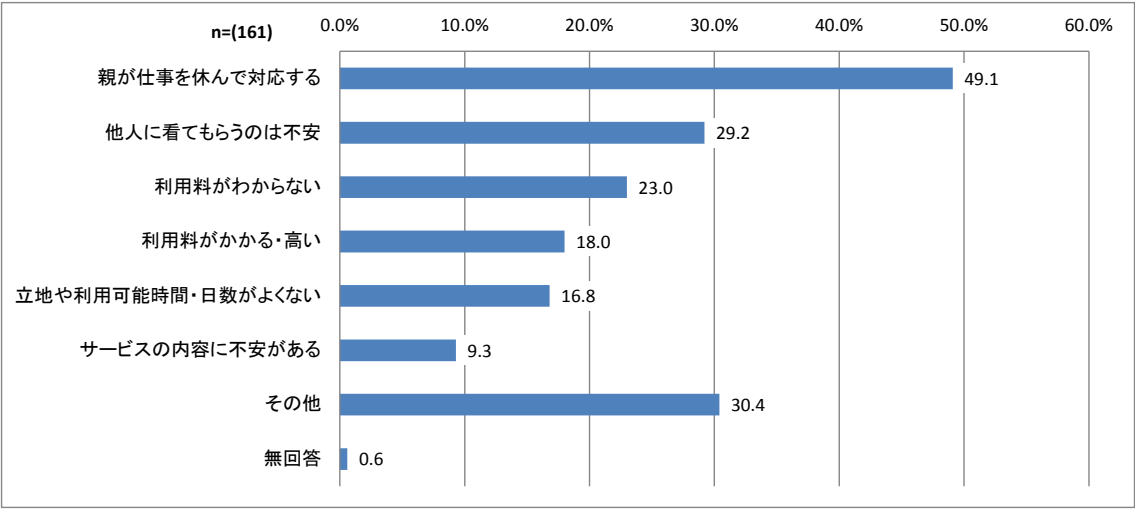


問 13 問 12 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

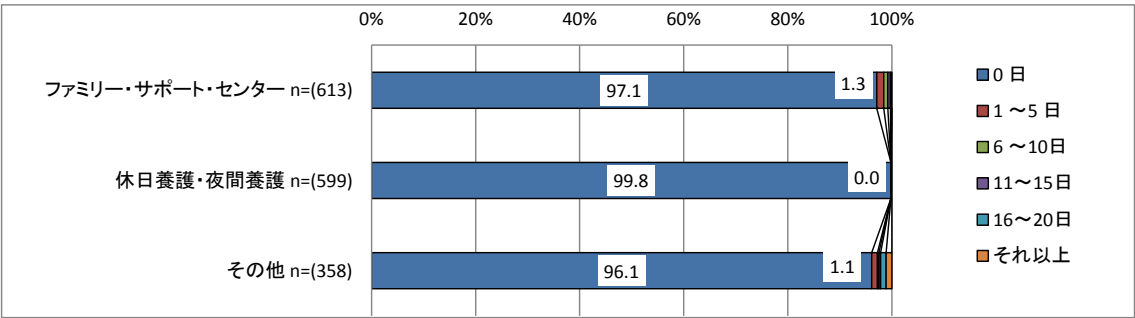


問 14 問 13 で「2 . 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

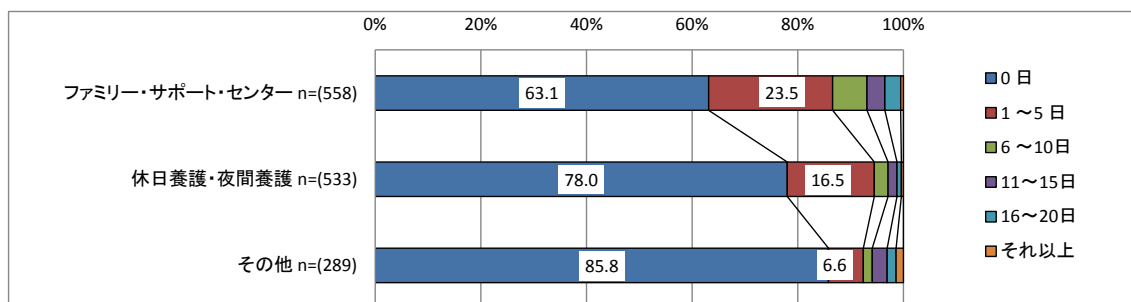
【分析】
「利用したいと思わない」理由として、「親が仕事を休んで対応する」と答えたのは 49.1%で半数に近い。次いで多いのが「他人に看てもらうのは不安」の 29.2%で、全体の約 3 分の 1。



問 15 不定期の一時預かりについて利用している日数（年間） A 欄（現在）



問 15 問 15 休日養護・夜間養護 利用日数（年間）B 欄（希望）

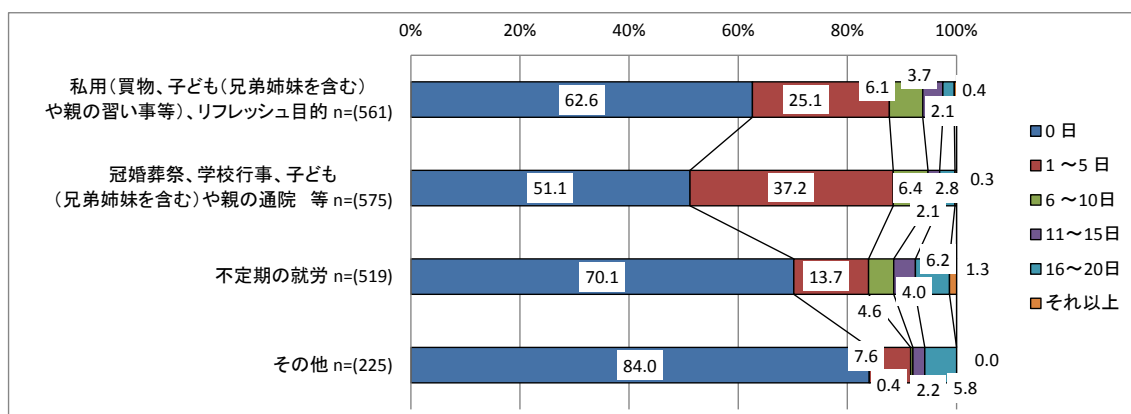


問 16 お子さんを預ける事業についての目的 日数（年間）

【分析】

どの項目も半数もしくはそれ以上の割合で年間利用日数が0日。

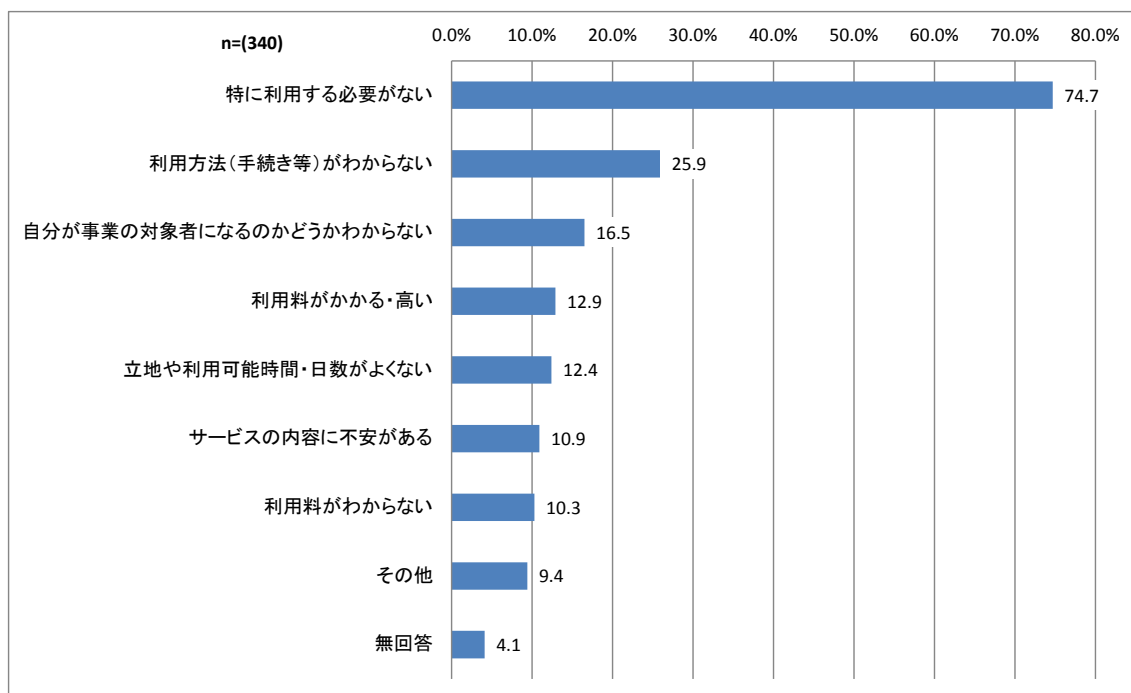
「冠婚葬祭や学校行事、子どもや親族の通院等」の理由で「1～5日」預ける割合は37.2%となっており他の項目と比べ利用日数では一番多い。



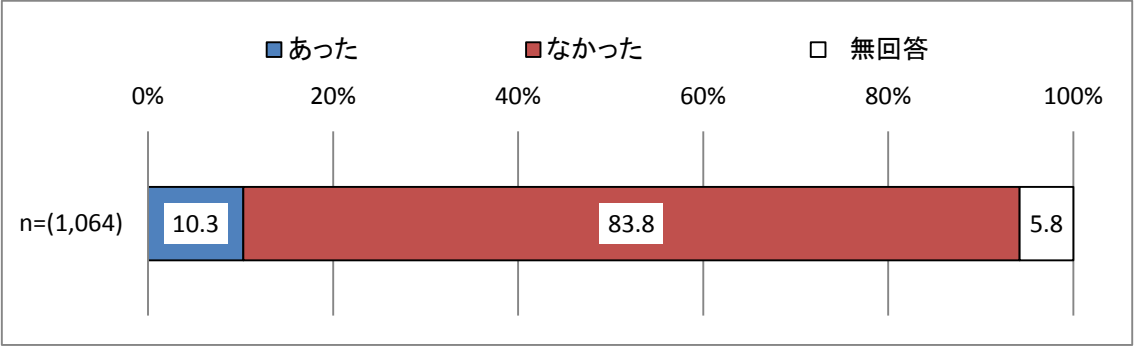
問 17 問 15 の A 欄で全ての項目について「1」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「特に利用する必要がない」を除くと、「利用方法（手続き等）わからない」が 25.9% で最も多い。

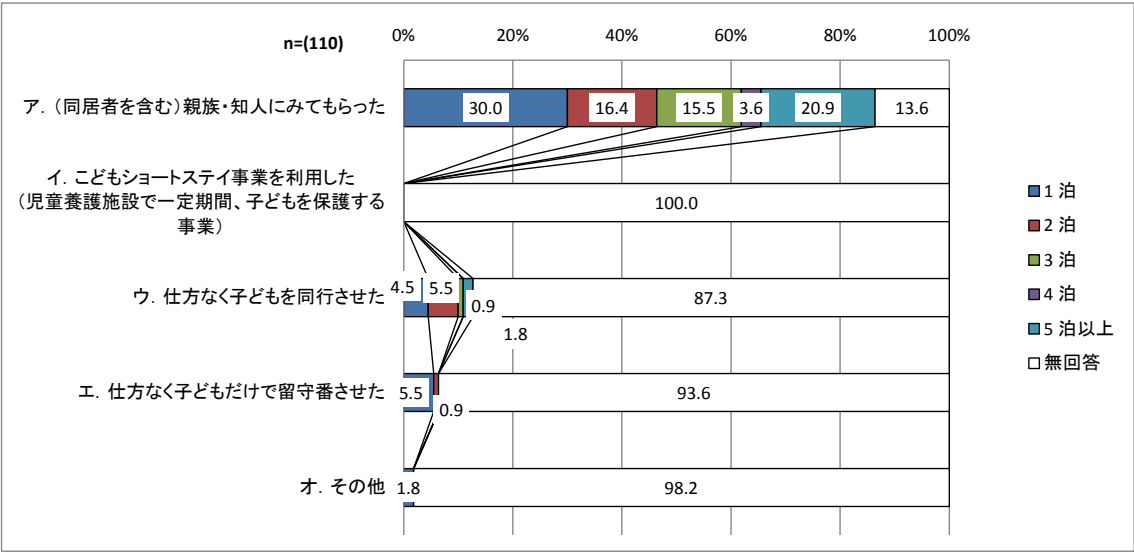


問 18 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。



問 18 保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外に見てもらった日数

【分析】
「親族・知人」に 1～3 泊見てもらった割合は合わせて 61.9%。

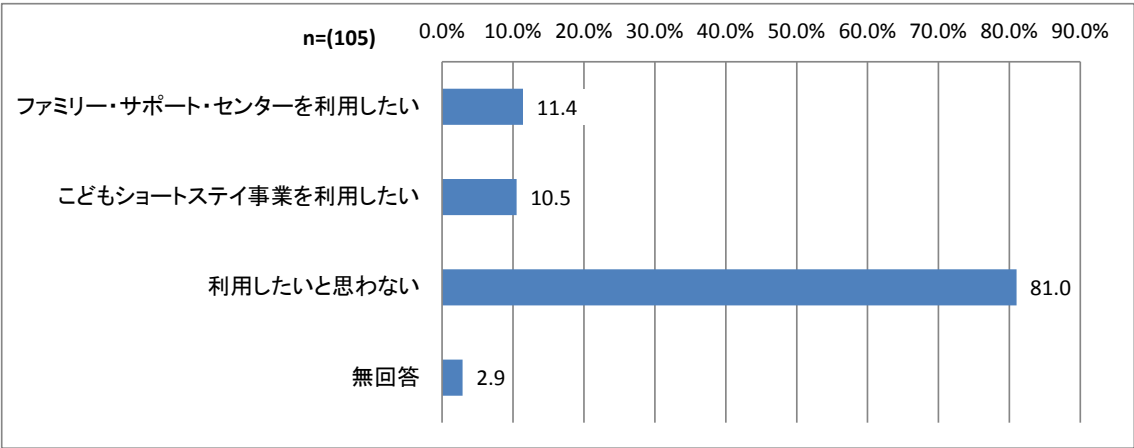


※「こどもショートステイ事業を利用した」は、該当データなし
※「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」、「その他」は、母数が少ないので参考値

問 19 今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

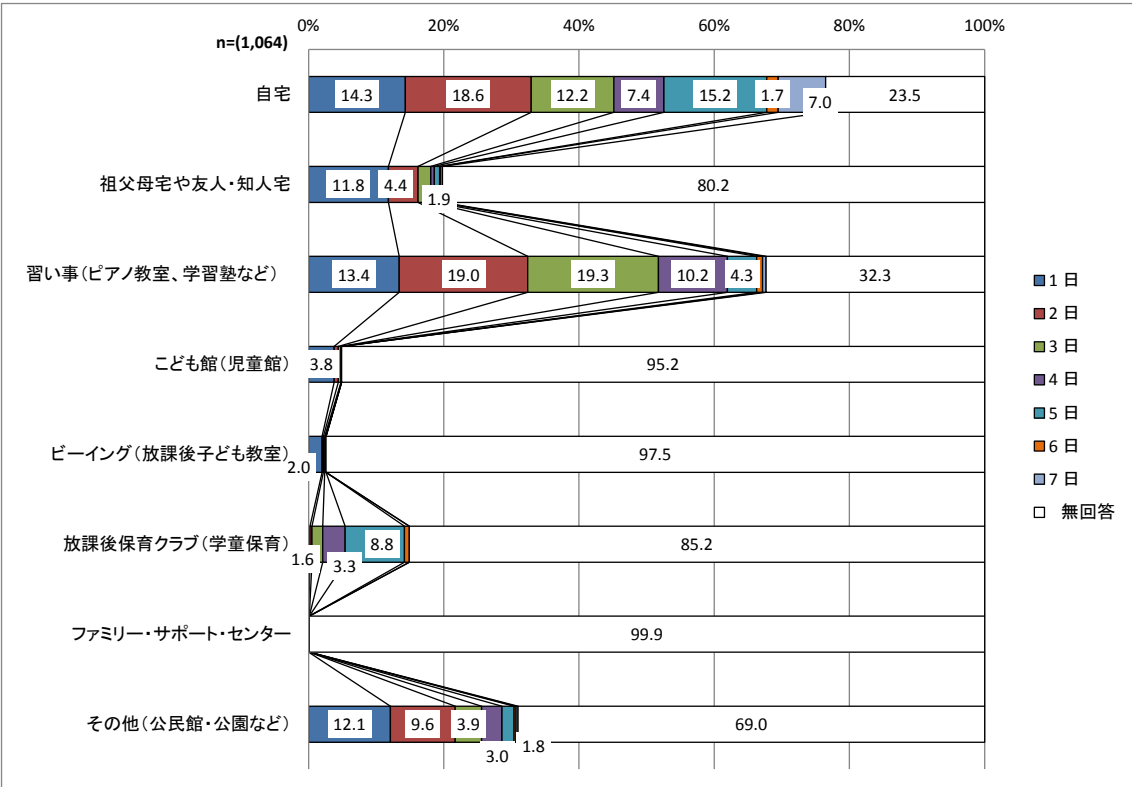
8 1. 0%が「使用したいと思わない」。



問 20 お子さんの放課後の過ごし方（現在の状況）

【分析】

放課後を自宅で過ごす日数が週3日以下は合わせて45.1%。放課後習い事を週3日以上通わせているのは、合わせて35.2%。

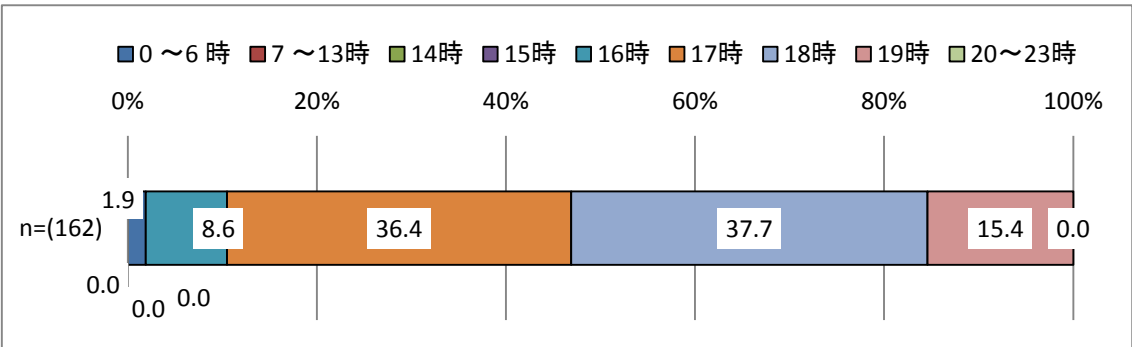


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

問 20 放課後保育クラブ（現在の状況） 終了時刻

【分析】

放課後保育クラブの終了時刻が「18時」以降が53.1%で約半数。

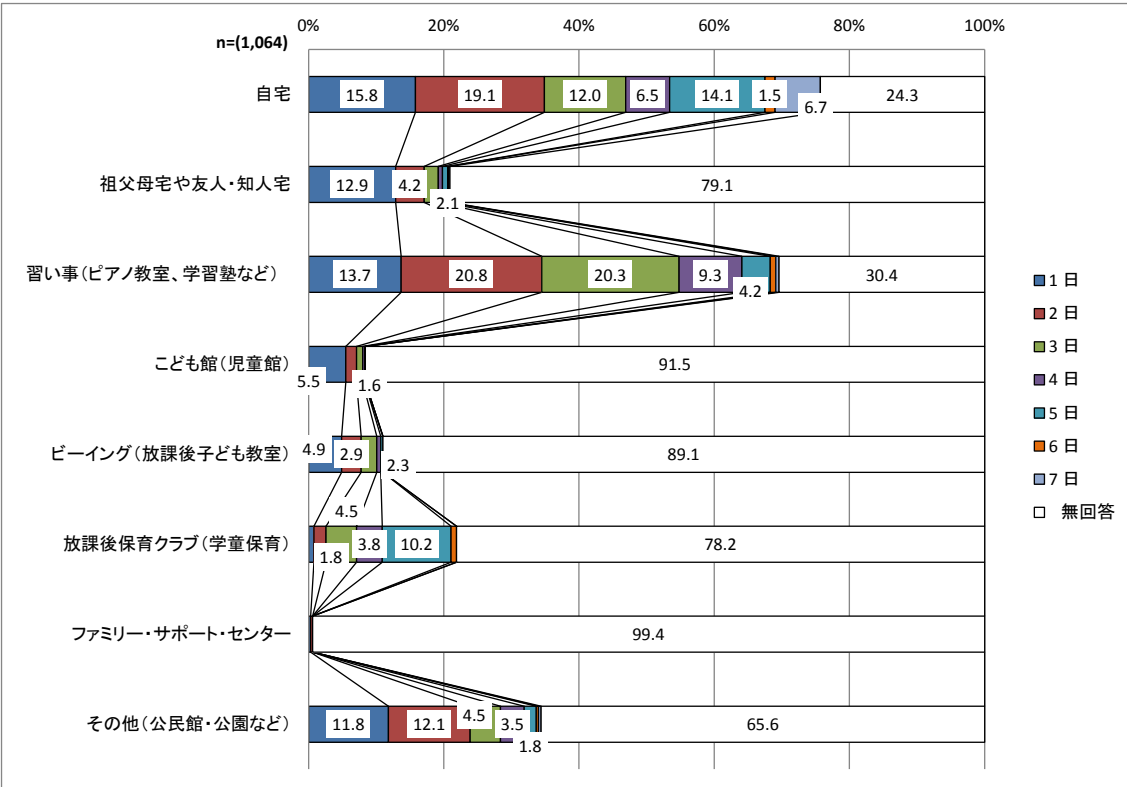


問 20 お子さんの放課後の過ごし方（希望）

【分析】

自宅で1～3日過ごすことを希望する割合は46.9%。

習い事に1～3日通わせたい割合は合わせて54.8%で約半数。

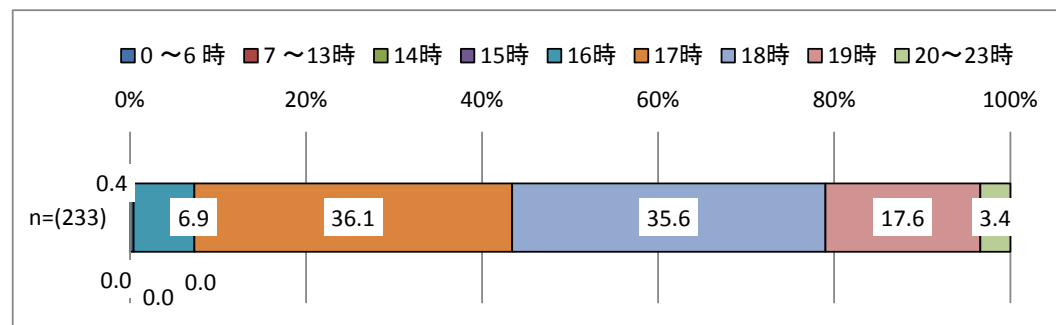


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

問 20 放課後保育クラブ（希望） 終了時刻

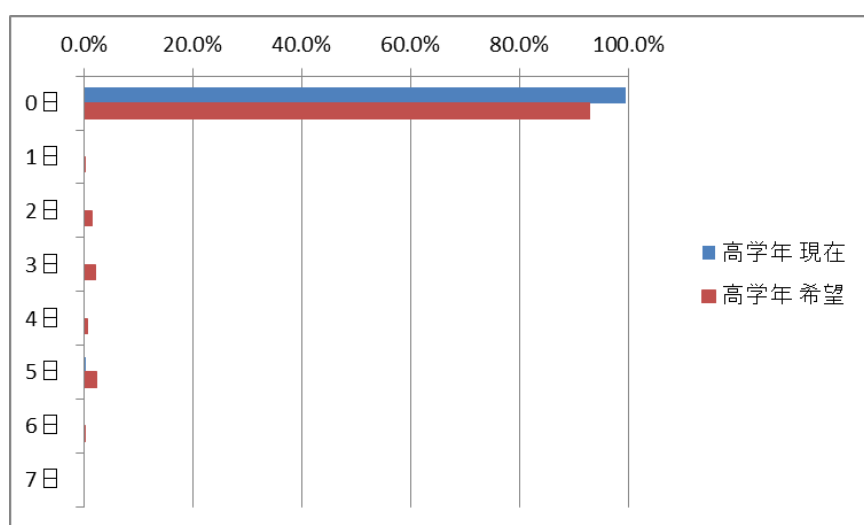
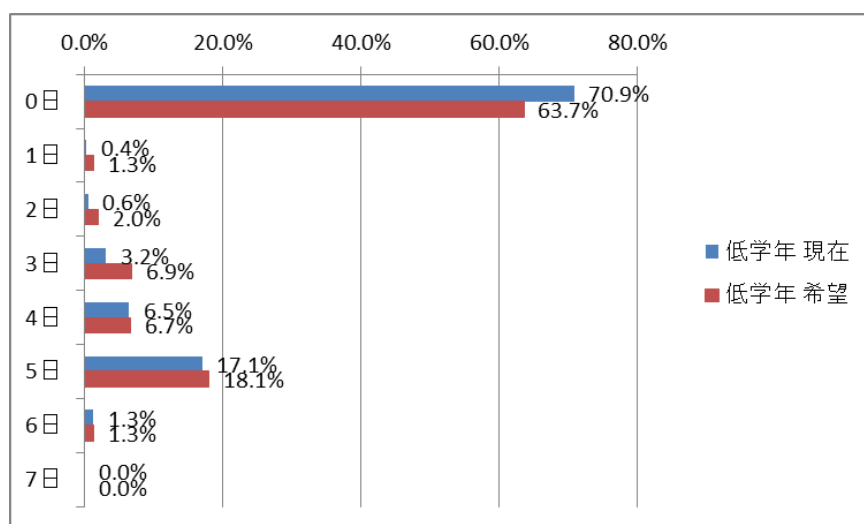
【分析】

終了時刻を17時以降に希望する割合は92.7%、18時以降に希望する割合は56.6%。

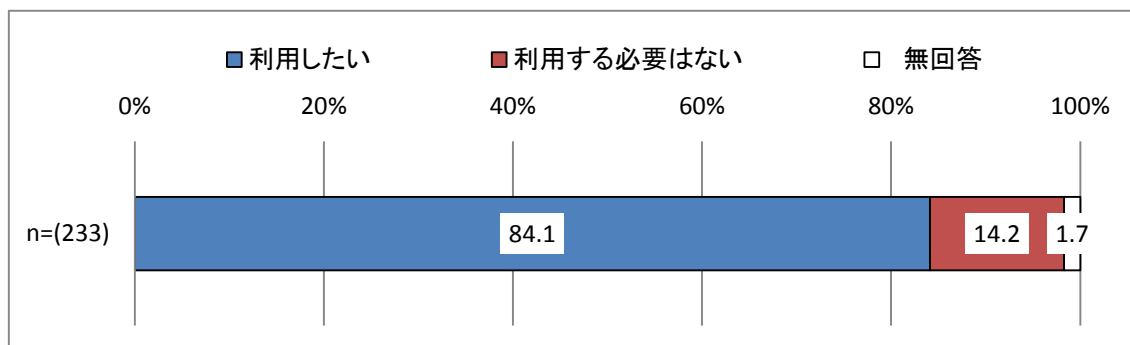


問 20 放課後保育クラブ 低学年・高学年の区分ごとの現在・希望

週あたり日数	低学年 (n=537)		高学年 (n=527)	
	現在	希望	現在	希望
無回答・0日	70.9%	63.7%	99.6%	93.0%
1日	0.4%	1.3%	0.0%	0.2%
2日	0.6%	2.0%	0.0%	1.5%
3日	3.2%	6.9%	0.0%	2.1%
4日	6.5%	6.7%	0.0%	0.8%
5日	17.1%	18.1%	0.4%	2.3%
6日	1.3%	1.3%	0.0%	0.2%
7日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



問 21 お子さんについて、小学校卒業まで放課後保育クラブを利用できるとすれば利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

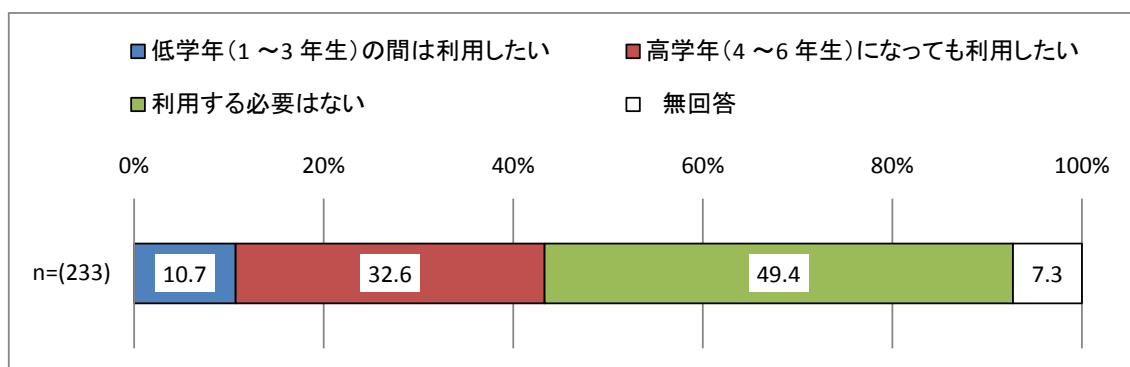


問 22 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか (1) 土曜日

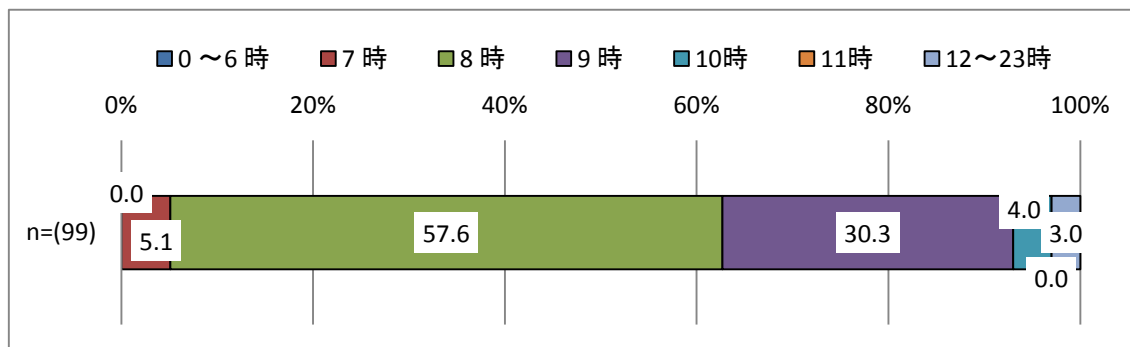
【分析】

「利用したい」の割合は、「低学年の間」「高学年になっても」を合わせて 43.3%。

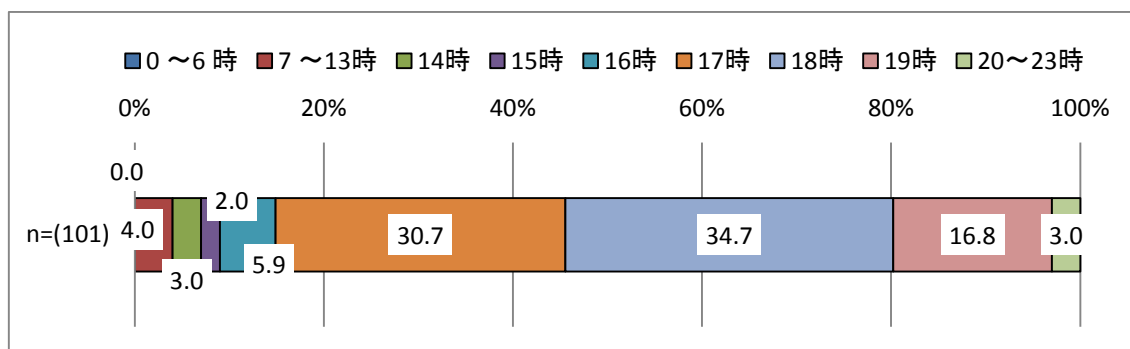
「必要はない」は 49.4% で約半数。



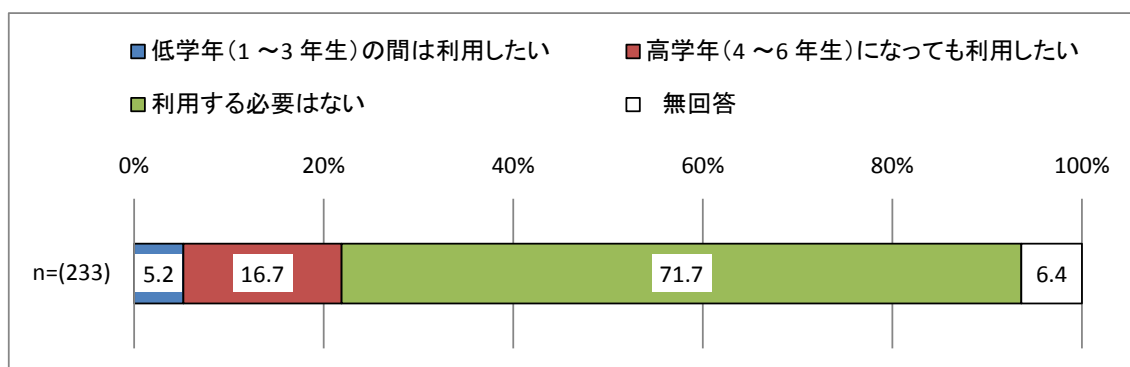
問 22 (1) 土曜日 開始時刻



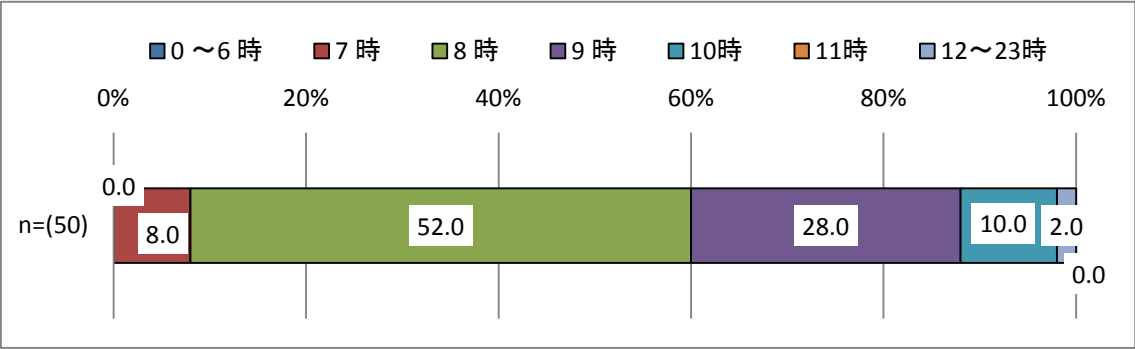
問 22 (1) 土曜日 終了時刻



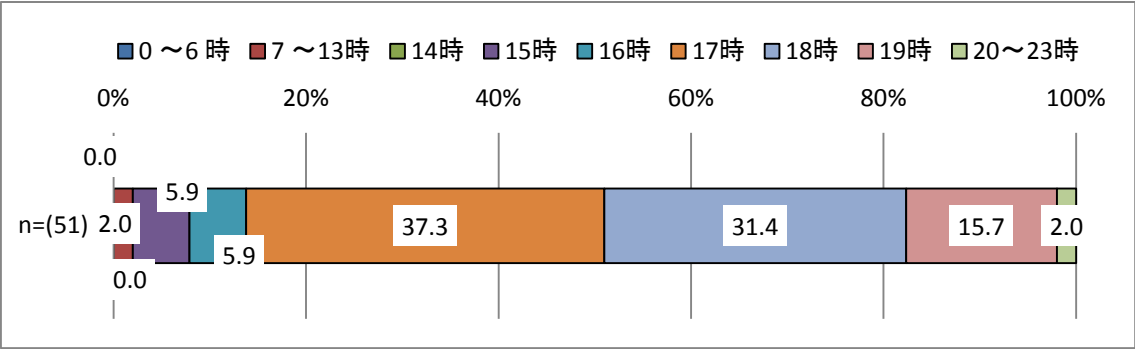
問 22 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか (2) 日曜・祝日



問 22（2）日曜・祝日 開始時刻



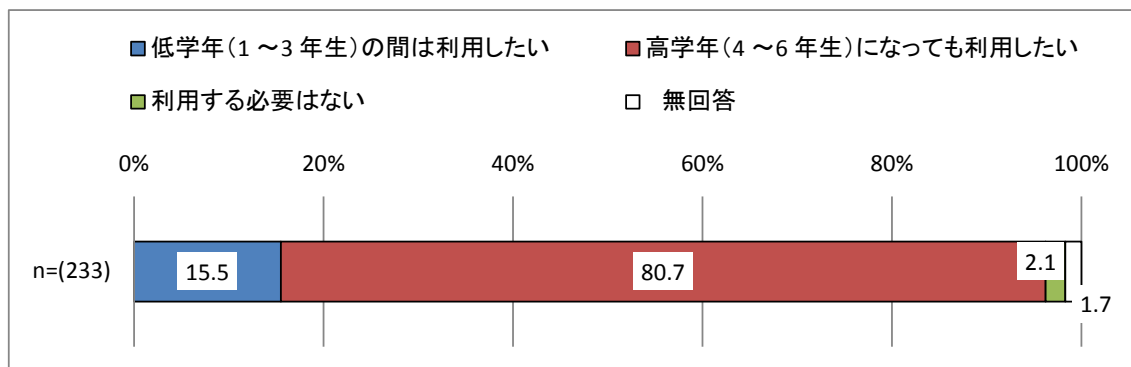
問 22（2）日曜・祝日 終了時刻



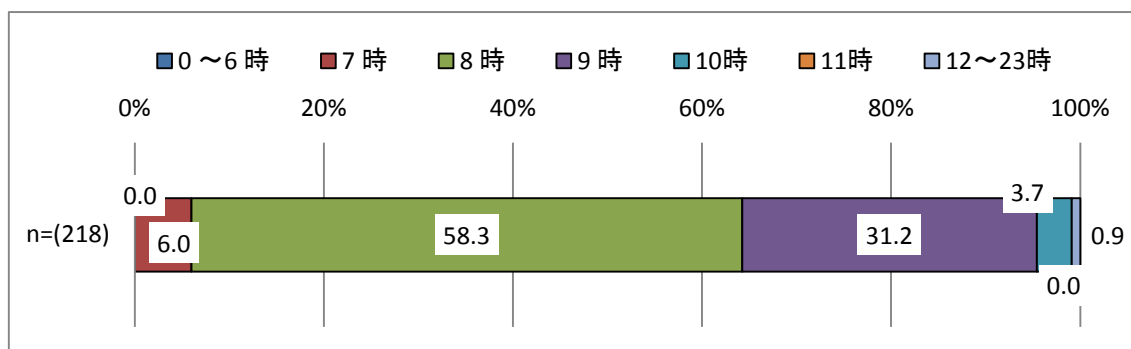
問 22 お子さんについて、土曜日・日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか (3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

【分析】

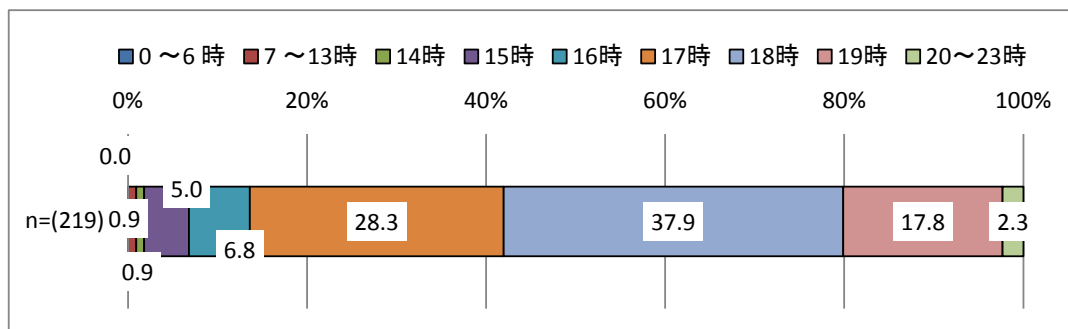
土曜日・日曜日・祝日の「利用する必要はない」の割合は、半数もしくは半数以上だったのに対し、長期の休暇期間中の「必要がない」の割合は2.1%で大幅に減少。



問 22 (3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 開始時刻

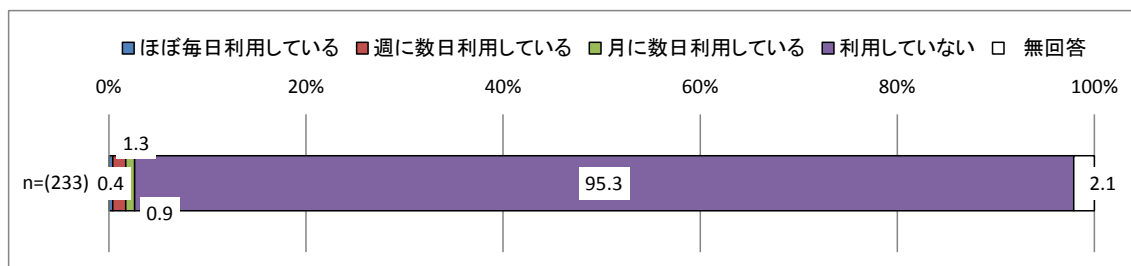


問 22 (3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中 終了時刻

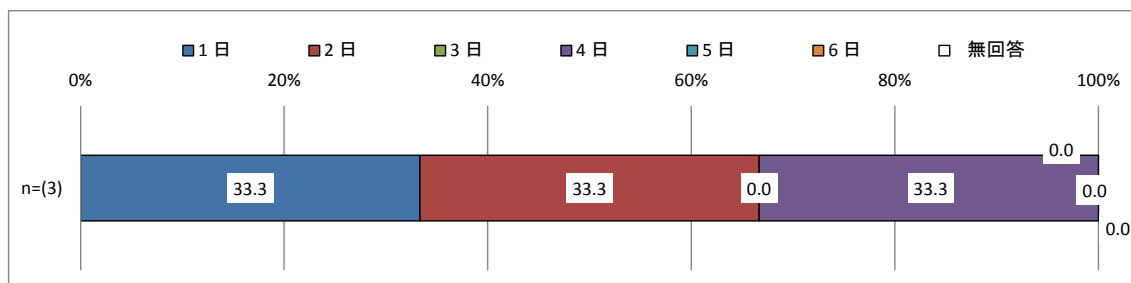


問 23 放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。また利用したいと思いますか。

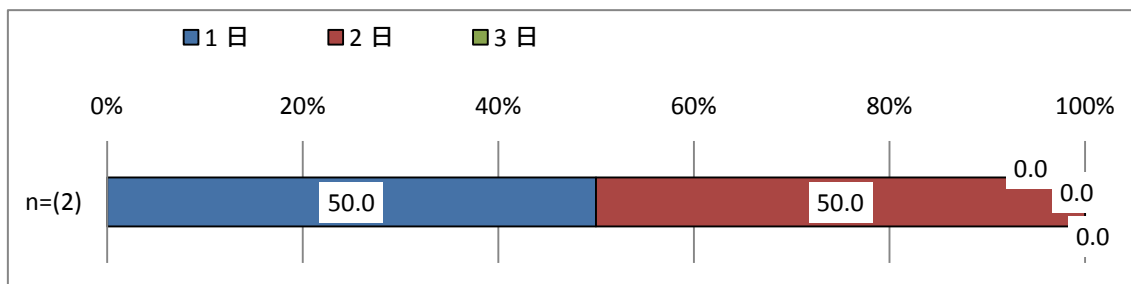
（１）現在利用していますか。



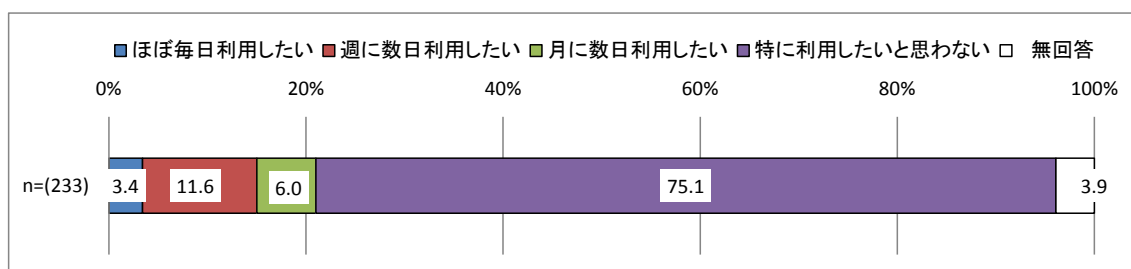
問 23（１）現在利用していますか。 １ 週当たり



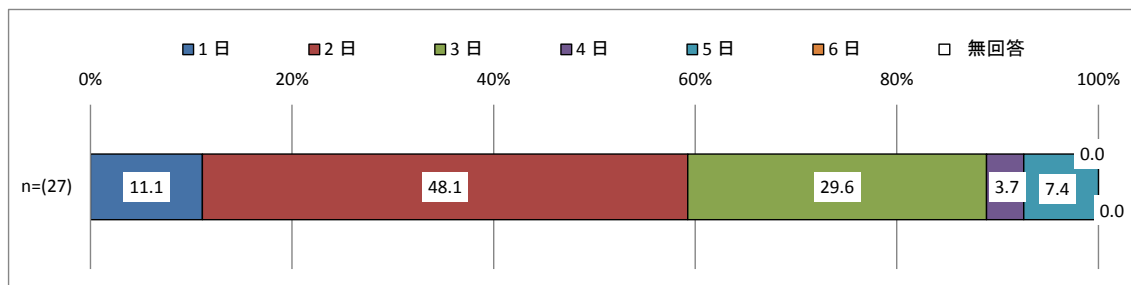
問 23（１）現在利用していますか。 １ 月当たり



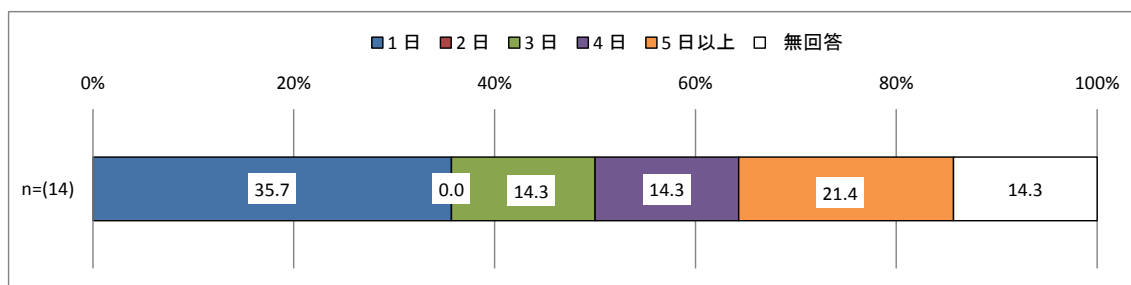
問 23（２）利用したいと思いますか。



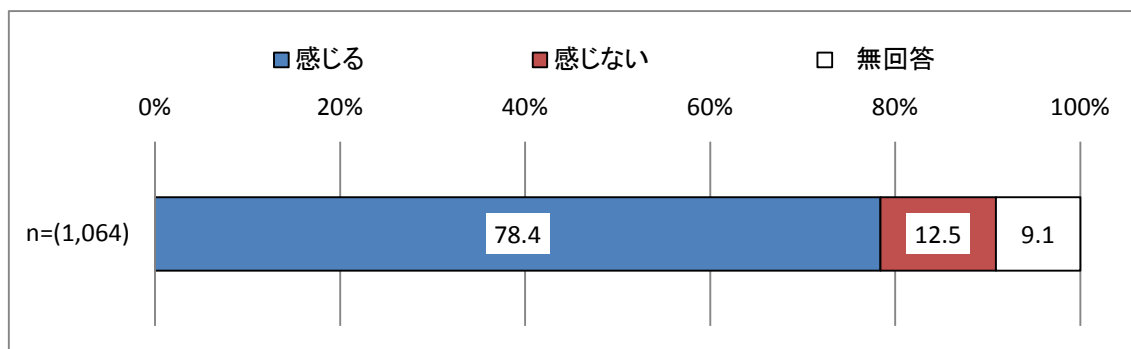
問 23（２）利用したいと思いますか。 １ 週当たり



問 23（２）利用したいと思いますか。 １ 月当たり



問 24 すべての方におうかがいします。小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいでだけで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



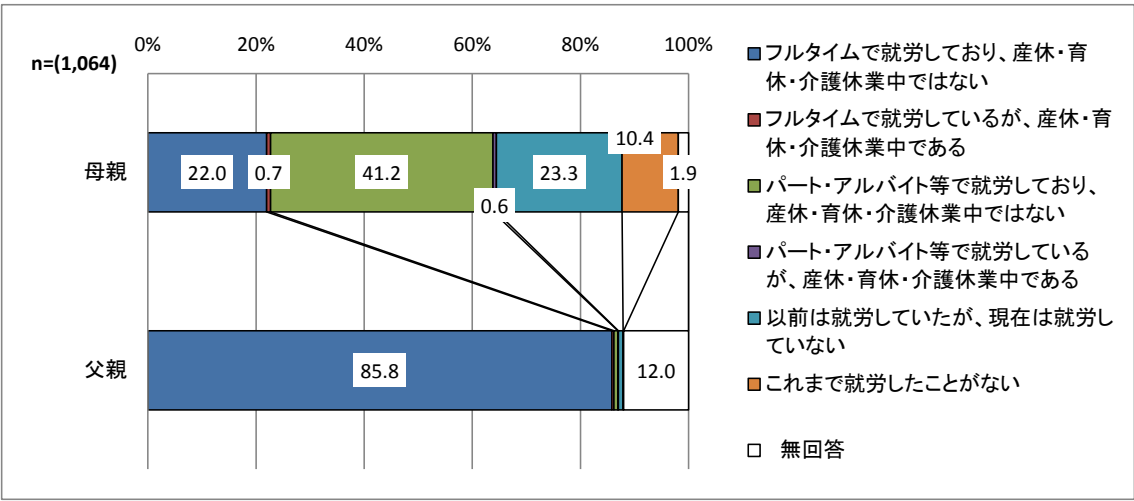
問 25 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

母親の 41.2% は現在パート・アルバイト就労。

現在フルタイム及びパート・アルバイトで就労している母親の割合は、合わせて 63.9%。

父親の場合はフルタイム就労の割合は 85.8% で大部分にのぼる。

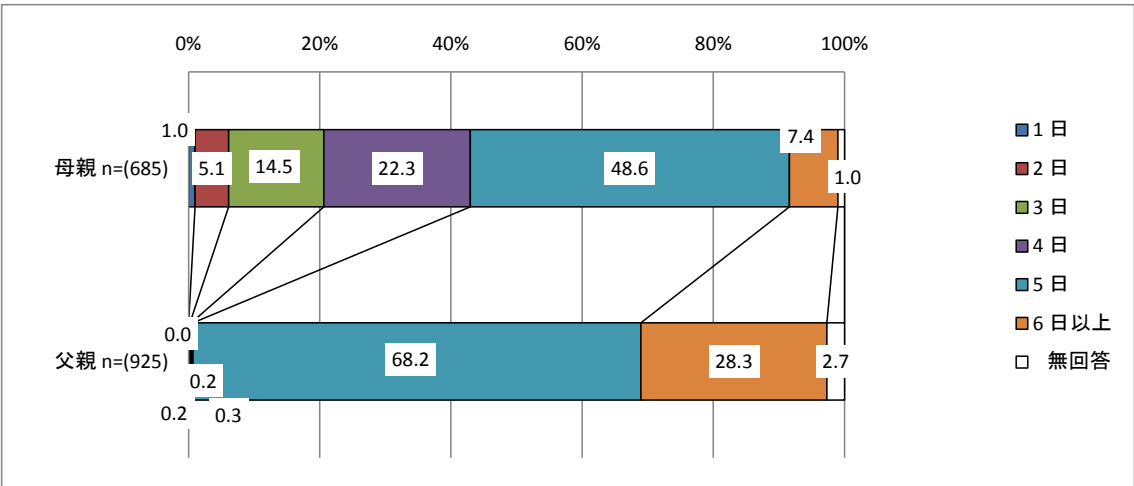


問 25 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。 1 週当たり

【分析】

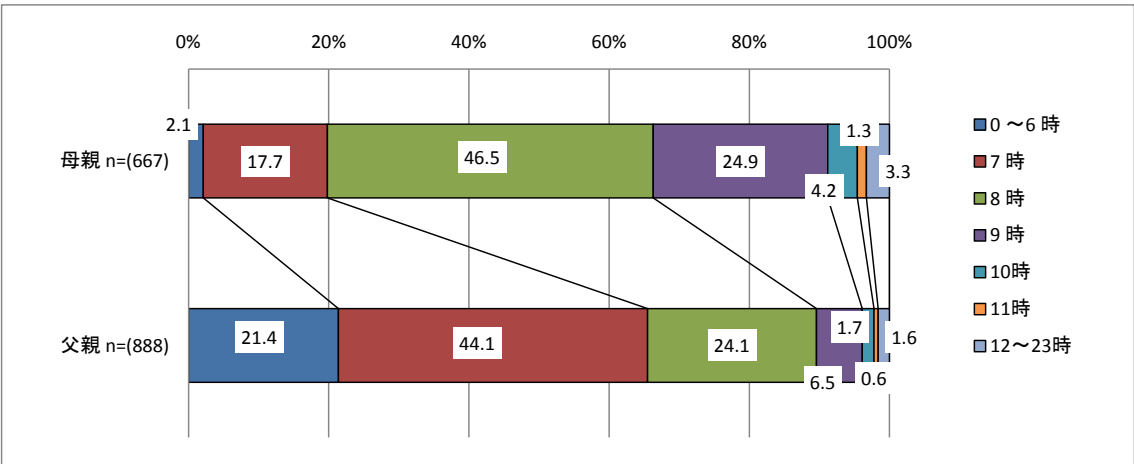
母親の場合、「4 日」の割合が 48.6%で最も多い。週3日以上は合わせて 79.4%。

父親の就労状況は「5 日」が 68.2%で大部分を占めている。



問 25 (1) -1 開始時刻

問 25 (2) -1 開始時刻



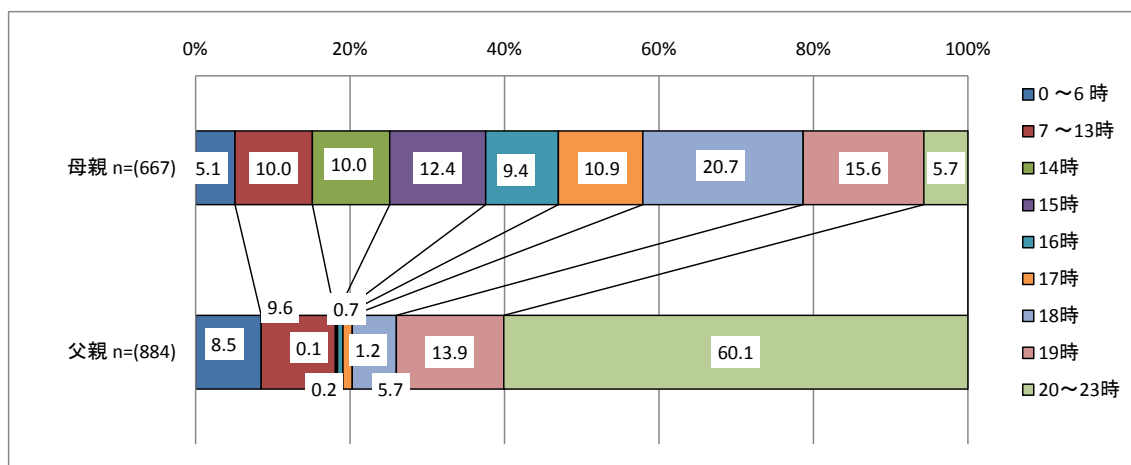
問 25 (1) -1 終了時刻

問 25 (2) -1 終了時刻

【分析】

母親の勤務終了時間は、父親の場合と比べると特に高い割合の時間帯がなく散らばっている。その中では「18時」の割合が20.7%となっており最も多い。

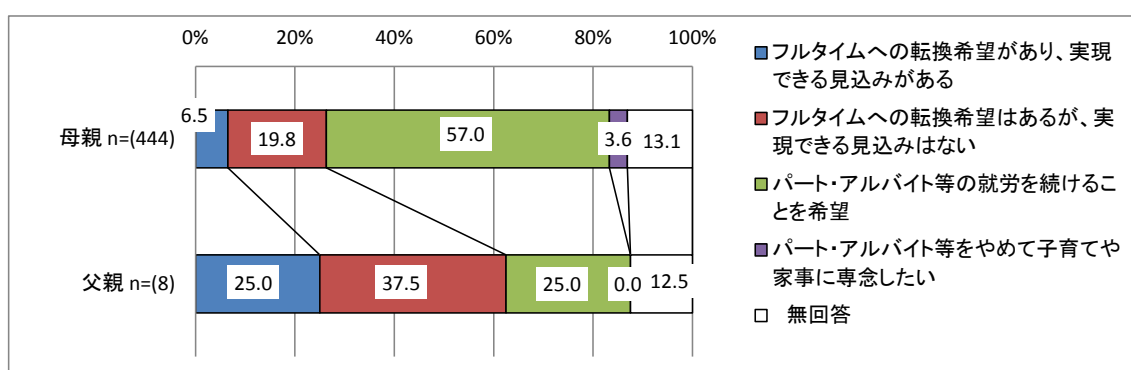
父親の終了時刻は「20～23時」の割合が60.1%で最も高く、18時以降は全体の中で合わせて79.7%を占めている。



問 26 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1 つに○をつけてください。

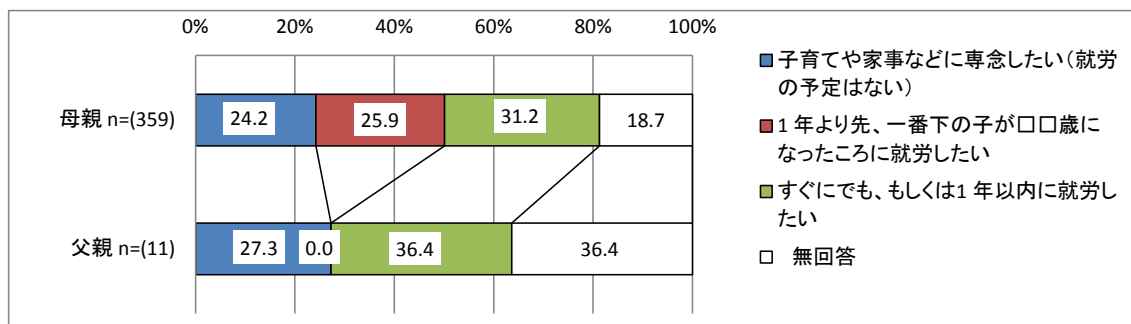
【分析】

フルタイム就労への転換希望の合計は、母親の場合26.3%。

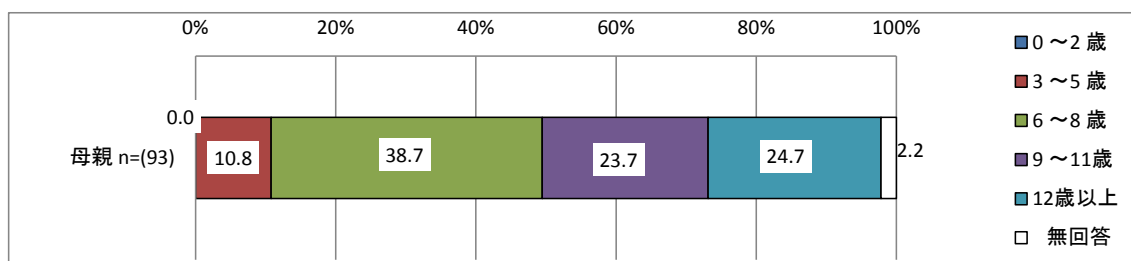


※父親は母数が少ないので参考値

問 27 就労したいという希望はありますか。



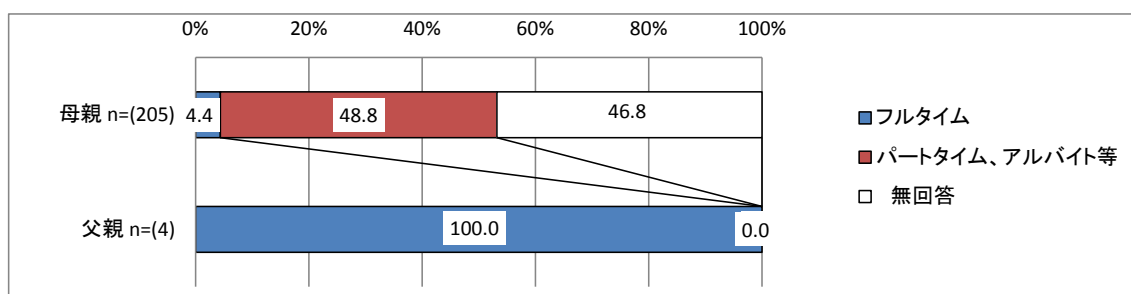
問 27 就労したいという希望はありますか。(1) 母親 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい



※父親は該当データなし

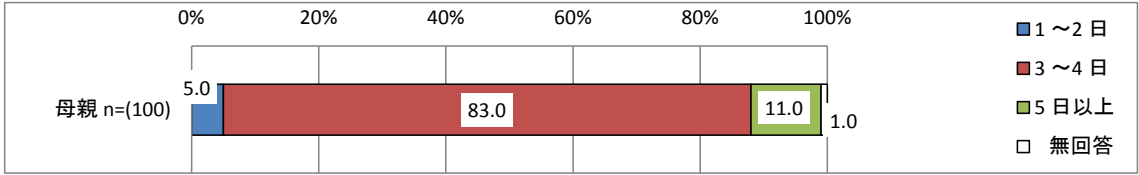
問 27 就労したいという希望はありますか。

(1) 母親 希望する就労形態 (2) 父親 希望する就労形態



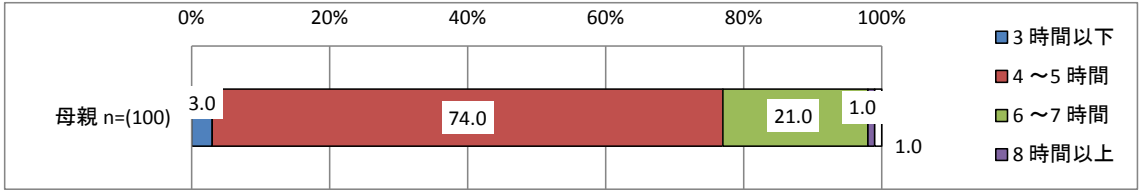
※父親は母数が少ないので参考値

問 27 就労したいという希望はありますか。(1) 母親 希望する就労形態 1 週当たり



※父親は該当データなし

問 27 就労したいという希望はありますか。(1) 母親 希望する就労形態 1 日当たり



※父親は該当データなし

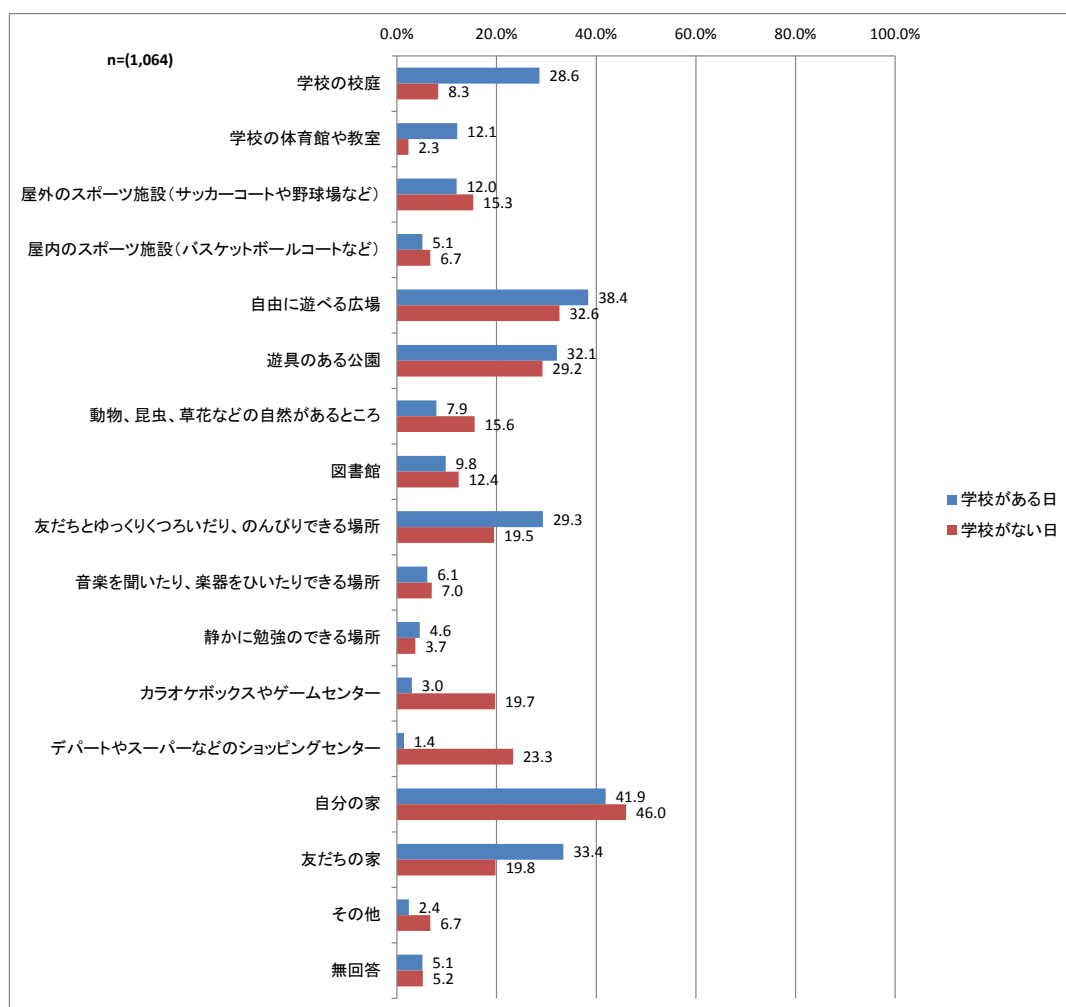
問 28 あなたは、学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。（3つまで） 学校がある日（複数回答）

【分析】

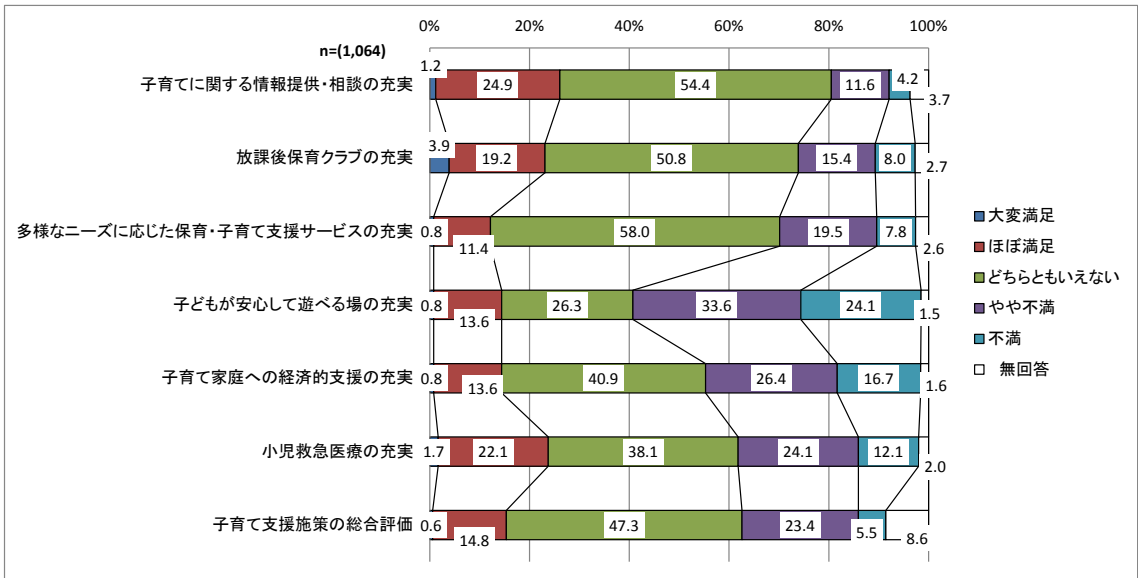
「学校がある日」「学校がない日」、ともに過ごしたいのは「自分の家」と答えた割合が最も多い。

「学校の校庭」「学校の体育館や教室」で過ごしたい割合は、「学校がある日」ではそれぞれ28.6%、12.1%、「学校がない日」ではそれぞれ8.3%、2.3%で、「学校がある日」と「学校がない日」で差が大きい。

「カラオケボックスやゲームセンター」「デパートやスーパーなどのショッピングセンター」それぞれの割合は「学校がない日」の方が「学校がある日」を大きく上回る。



問 29 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。



下表の基準により、平均点数を算出

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

